

Table with multiple columns containing names (e.g., 下井川, 磯崎, 岩澤), numbers, and other identifiers. Includes a section for 農商務大臣 小松原英太郎.

○農商務省告示第二百七十七號 森林法ニ依リ左記ノ保安林ヲ解除ス

明治四十三年五月三十一日

Table listing land parcels with columns for location (e.g., 小長瀬, 大ヶ浦), area, and owner names (e.g., 大田, 山田).

○農商務省告示第二百七十八號 森林法ニ依リ左記ノ保安林ヲ解除ス

明治四十三年五月三十一日

Table listing land parcels with columns for location (e.g., 新瀧原, 屋敷付), area, and owner names (e.g., 赤原, 山).

○逓信省告示第五百七十五號
宮崎縣ニ於テ日向國東臼杵郡細島港ニ左記ノ燈臺ヲ建設シ本年五月十日以後毎夜點火ノ旨同縣ヨリ報告セリ

明治四十三年五月二日

逓信大臣 男爵後藤新平

細島港燈臺

- 一位 北緯三十二度二十五分十五秒、東經百三十一度四十分五十秒（水路部出版第九十一號海圖）
- 一構造及著色 煉瓦石造六角形、白色
- 一燈臺高 一丈四尺四寸
- 一燈臺火高 三十四丈六寸
- 一等級及燈質 無等不動白色
- 一明 磁針方位南三十度西ヨリ西、北ヲ經テ北三十五度東メテ百八十五度間
右方位ハ海上ヨリ燈臺ニ向テ測定ス
- 一光遠距離 晴天ノ夜六浬

○逓信省告示第五百七十六號
郵便局所ニ於テ外國為替金ノ換算ニ適用スヘキ外國貨幣換算割合左ノ如シ

明治四十三年五月三日

逓信大臣 男爵後藤新平

米	貨一タラ	二〇三三九	一圓二付四十九セント六八八
香港洋銀	一タラ	八八八九六	一圓四付四九一
銀	一タラ	八八四七九	一圓三付〇二一

其ノ他ノ貨幣換算割合ハ從前ノ如シ

○逓信省告示第五百七十七號

本月十日限り左記郵便局ヲ廢止ス但シ當該局ニ於テ取扱ヒタル事務ハ下記郵便局之ヲ承繼ス

明治四十三年五月三日

逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第五百七十八號

本月六日ヨリ左記三等郵便局ヲ設置ス但シ郵便物集配事務ヲ取扱ハス

明治四十三年五月三日

逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第五百七十九號

來五月七日ヨリ明治四十一年十一月十一日逓信省告示第千二百六號中「東京丸ノ内局區内東京振替貯金課」ヲ逓信省構内東京振替貯金課ニ改ム

明治四十三年五月三日

逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第五百八十號

本日限り左記郵便局ヲ廢止ス但シ當該局ニ於テ取扱タル事務ハ下記郵便局之ヲ承繼ス

明治四十三年五月五日

逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第五百八十一號

本月六日ヨリ左記三等郵便局ヲ設置ス但シ郵便物集配事務ヲ取扱ハス

明治四十三年五月五日

逓信大臣 男爵後藤新平

大瀨郵便局	山口縣吉敷郡秋穂村大字秋穂本郷(山口縣)	高濱郵便局	廣島縣山縣郡高濱村(山口縣)
小野郵便局	山口縣厚狹郡小野村(山口縣)	坂野郵便局	島根縣津和野郡坂野村(山口縣)

西濃郵便局 島根縣那賀郡西濃村(三編) 口總郵便局 愛媛縣越智郡岡山村(三編) 二名港郵便局 愛媛縣西宇和郡神島名村(三編)

平谷郵便局 長野縣下伊那郡波合村大字平谷(三編) 有掛郵便局 長野縣北佐久郡東長倉村(三編)

○逓信省告示第五百八十二號 本月六日ヨリ左記郵便局ヲ改稱シ郵便物集配事務ヲ開始ス

明治四十三年五月五日 逓信大臣 男爵後藤新平 現名稱 大浦郵便局 改稱 西加世田郵便局 位置 鹿兒島縣川邊郡西加世田村

○逓信省告示第五百八十三號 本月六日ヨリ左記三等郵便局ヲ設置ス

明治四十三年五月五日 逓信大臣 男爵後藤新平 名稱 高江郵便局 位置 鹿兒島縣薩摩郡高江村大字高江

○逓信省告示第五百八十四號 本日限リ左記郵便局ニ於ケル郵便物集配事務ヲ廢止ス但シ當該事務ハ下記郵便局之ヲ承繼ス

明治四十三年五月五日 逓信大臣 男爵後藤新平 局名 小浦郵便局 位置 鹿兒島縣川邊郡西加世田村 承繼局名 西加世田郵便局

久見崎郵便局 鹿兒島縣薩摩郡高江村 高江郵便局

○逓信省告示第五百八十五號 明治四十二年七月逓信省告示第六百二十二號外國電報ノ取扱ニ關スル制限表中「ハネキン」線ノ項ノ次ニ左ノ一項ヲ追加ス

明治四十三年五月五日 逓信大臣 男爵後藤新平 土耳其線「ハネキン」國境ニ至ル土耳其線ヲ經由スル電報ニ付テハ逓送ノ責ニ任セシム

○逓信省告示第五百八十六號 逓信省ハ本日東京市京橋區木挽町八丁目一番地新築廳舎ニ移轉ス

明治四十三年五月五日 逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第五百八十七號 明治四十二年七月逓信省告示第六百二十二號外國電報ノ取扱ニ關スル制限中「コモロ群島」ノ項ノ次ニ左ノ通追加ス

明治四十三年五月七日 逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第五百八十八號 本月十一日ヨリ左記電信取扱所ヲ設置ス但シ其開設期間ハ毎年五月一日ヨリ十月末日迄トシ閉鎖期間中ノ事務ハ下記電信取扱所之ヲ承繼ス

明治四十三年五月九日 逓信大臣 男爵後藤新平 名稱 赤嶺電信取扱所 位置 熊本縣宇土郡橋田村(編田) 赤嶺停車場(鐵道院)

○逓信省告示第五百八十九號 本月十一日ヨリ左記三等郵便局ヲ設置ス但シ郵便物集配事務ヲ取扱ハス

明治四十三年五月十日 逓信大臣 男爵後藤新平 名稱 波佐見金礦郵便局 位置 長崎縣東彼杵郡上波佐見村字湯無田郷(波佐見) 五島黃島郵便局 位置 長崎縣南松浦郡大浦村字黃島郷(大浦)

○逓信省告示第五百九十號 郵便局所ニ於テ外國爲替金ノ換算ニ適用スヘキ外國貨幣換算割合左ノ如シ

明治四十三年五月四日 逓信大臣 男爵後藤新平

明治四十三年五月 告示 逓信省第五百八十六號 第五百八十七號 第五百八十八號 第五百八十九號 第五百九十號

米	貨	一	ダ	ラ	一	ニ〇三三三	一	圓	三	付	四	九	九	セ	ン	ト	六	六	七
香港洋銀	一	ダ	ラ	一	ハ	カ	二	〇	八	一	圓	三	付	九	七	ニ	セ	ン	ト
銀	一	ダ	ラ	一	ハ	カ	七	七	二	一	圓	二	付	一	五	〇	ニ	セ	ン

其ノ他ノ貨幣換算割合ハ従前ノ通

○逓信省告示第五百九十一號

本月十一日ヨリ左記郵便局ニ電話交換業務及電話通話事務ヲ開始シ電報規則第七十五條ニ依ル電話加入者ノ託送電報ヲモ取扱フ

明治四十三年五月十日

逓信大臣 男爵後藤新平

名 稱 洲本郵便局

位 置 兵庫縣津名郡洲本町

○逓信省告示第五百九十二號

明治三十三年ハ逓信省告示第三百十四號電話呼出地域中左ノ通追加シ本月十一日ヨリ施行ス

明治四十三年五月十日

逓信大臣 男爵後藤新平

「攝津國西成郡西中島村」ノ項ノ次ニ

淡路國津名郡洲本町(大字津名町及)洲本町大字物部村字出店町、同木村、同山路、同水車、同中ノ町、同中島、同仲小路、同町大字、同浦村字鹽屋

○逓信省告示第五百九十三號

本年ハ逓信省告示第五百六十二號日英博覽會紀念特殊通信日附印使用ノ件ハ追テ告示スル迄一時延期ス

明治四十三年五月十一日

逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第五百九十四號

明治三十九年ハ逓信省告示第二百六十四號加入區域外通話區域及通常電話料中左ノ通追加シ本月十六日ヨリ施行ス

明治四十三年五月十一日

逓信大臣 男爵後藤新平

加入區域外 通話區域	一通話時ノ 通常電話料	加入區域外 通話區域	一通話時ノ 通常電話料
小千谷加茂間	金 二 十 錢	小千谷寺泊間	金 二 十 錢

○逓信省告示第五百九十五號

明治四十三年ハ逓信省告示第二百九十八號外國無線電報ノ外國海岸料金及船舶料金表中「ユーナイテッド」無線電信會社」ノ項ノ次ニ左ノ一項ヲ追加ス

明治四十三年五月十一日

逓信大臣 男爵後藤新平

「イギリス、フランス、オランダ」會社

〇一五(五) 二〇〇〇(五)

— —

○逓信省告示第五百九十六號

明治四十一年ハ逓信省告示第三百六十一號帝國ト外國郵便爲替ヲ交換スル國等ヲ示ス表「第一 電信爲替」ノ部附註ノ項埃及ニ於ケル電信爲替取扱局名中「ホルト、サイド」ノ次ニ「ホルト、ダウフイク(Port Taufiq)」ヲ加フ

明治四十三年五月十一日

逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第五百九十七號

明治三十九年ハ逓信省告示第二百六十四號加入區域外通話區域及通常電話料中左ノ通追加シ本日ヨリ施行ス

明治四十三年五月十一日

逓信大臣 男爵後藤新平

加入區域外

一通話ノ通

加入區域外

一通話ノ通

若津日田間

金二十五錢

若松(前)唐津間

金四十五錢

若津福島(前)間

金二十五錢

福岡(前)高嶺間

金二十五錢

若津吉井(前)間

金二十五錢

直方唐津間

金四十五錢

若津唐津間

金二十五錢

小天山鹿間

金十五錢

○逓信省告示第五百九十八號
本月十四日ヨリ左記三等電信局ヲ設置シ無線電報ニ限リ之ヲ取扱フ
明治四十三年五月十二日

名 稱 佐渡丸無線電信局

位 置 日本郵船株式會社所屬汽船佐渡丸

逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第五百九十九號
本月十六日ヨリ左記三等郵便局ヲ設置ス但シ郵便物集配事務ヲ取扱ハス
明治四十三年五月十二日

名 稱 國田郵便局

宮城縣刈田郡國田村(前)國田(前)間

逓信大臣 男爵後藤新平

名 稱 越前來郵便局

越前縣來郵便局(前)來(前)間

長岡郵便局

福島縣伊達郡長岡村(前)上(前)間

○逓信省告示第六百號
本年四月逓信省告示第五百六十二號日英博覽會紀念特殊通信日附印使用ニ關スル條件中「五月十二日」ヲ「五月十四日」ニ「五月十二日」ヨリ同日「五月十四日」ヨリ同日「五月二十三日」迄ニ改ム
明治四十三年五月十三日

逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第六百一號
明治四十三年五月六日逓信省告示第六百七號外國電報料金表第一表Africa(亞非利加地方)ノ部中「Congo Free State(コンゴ自由國)」ノ項ノ前ニ左ノ通告加ス
明治四十三年五月十三日

逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第六百二號
本月二十一日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス
明治四十三年五月十四日

名 稱 岩田郵便局

位 置 山口縣熊毛郡岩田村

逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第六百三號
本月二十日限リ左記電信取扱所ヲ廢止ス但シ當該取扱所ニ於テ取扱ロタル事務ハ下記郵便局之ヲ承繼ス
明治四十三年五月十四日

名 稱 岩田電信取扱所

位 置 山口縣熊毛郡岩田村

逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第六百四號
本月十六日ヨリ左記三等郵便局ヲ設置ス但シ郵便物集配事務ヲ取扱ハス
明治四十三年五月十四日

名 稱 磯部郵便局

新潟縣西頸城郡磯部村(前)立(前)間

逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第六百五號
本月十六日ヨリ左記郵便局ヲ改稱ス
明治四十三年五月十四日

名 稱 磯部郵便局

大阪府宮島郡磯部郵便局

逓信大臣 男爵後藤新平

明治四十三年五月 告示 逓信省第六百一號 第六百二號 第六百三號 第六百四號 第六百五號 一〇九七

現名稱 改稱 位置

白子郵便局 千歲郵便局 千歲縣安房郡千歲村

大久保郵便局 白鳥郵便局 千歲縣市原郡白鳥村

○逓信省告示第六百六號
本月十六日ヨリ左記三等郵便局ヲ設置ス但シ郵便物集配事務ヲ取扱ハス
明治四十三年五月十四日
逓信大臣 男爵後藤新平

名 稱 位置

小石川林町郵便局 東京市小石川區林町(小石川局)

日暮里郵便局 東京府北豐島郡日暮里村(下谷局)

○逓信省告示第六百七號
明治三十六年三勅令第四十一號ニ基ク請願ニ依リ本月十六日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス
明治四十三年五月十四日
逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第六百八號
本日限り左記郵便局ヲ廢止ス但シ營業局ニ於テ取扱ヒタル事務ハ下記郵便局之ヲ承繼ス
明治四十三年五月十六日
逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第六百九號
本月二十一日ヨリ左記三等郵便局ヲ設置ス但シ郵便物集配事務ヲ取扱ハス
明治四十三年五月十六日
逓信大臣 男爵後藤新平

名 稱 位置

猪太新市街郵便局 北海道的國此田郡猪太村字其猪太新市街地(猪太局)

○逓信省告示第六百十號
郵便局所ニ於テ外國爲替金ノ換算ニ適用スヘキ外國貨幣換算割合左ノ如シ
明治四十三年五月十七日
逓信大臣 男爵後藤新平

米	貨	一ダラー	三〇・二五
香港洋銀	一ダラー	一圓二付四九	九二・六二
銀	一ダラー	一圓二付八二	八二・〇〇

其ノ他ノ貨幣換算割合ハ従前ノ通

○逓信省告示第六百十一號
本月二十一日ヨリ左記郵便局ノ特設電話加入申請ヲ受理ス希望者ハ明治四十一年九月逓信省令第四十三號特設電話規則ニ依リ加入申請書ヲ差出スヘシ但シ電話交換業務開始ノ日ハ追テ之ヲ告示ス
明治四十三年五月十七日
逓信大臣 男爵後藤新平

名 稱 位置

中之條郵便局 群馬縣吾妻郡中之條町 長野原郵便局

原町郵便局 群馬縣吾妻郡原町 草津郵便局

○逓信省告示第六百十二號
明治四十一年九月逓信省告示第九百十號特設電話加入區域中左ノ追加ス
明治四十三年五月十七日
逓信大臣 男爵後藤新平

監督局 開設局

東京 中之條 群馬縣 吾妻郡 中之條町 大字 中之條 同 伊勢町 (宇小川ヲ除ク)

同 原町 群馬縣 吾妻郡 原町 大字 原町 宇須郷、同前町、同下ノ町、同上ノ町、同新町

同 長野原 群馬縣 吾妻郡 長野原町 大字 長野原(字貝原、同火打花、同久々戸ヲ除ク)
 同 草津 群馬縣 吾妻郡 草津町 大字 草津 字西町、同新田、同東町、同泉水、同瀧
 下田地、同湯ノ湯、同西河原

○逓信省告示第六百十三號
 明治三十六年三月勅令第四十一號ニ基テ請願ニ依リ本月二十一日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス
 明治四十三年五月十八日
 逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第六百十四號
 北山田郵便局 位置 大分縣玖珠郡北山田村
 逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第六百十五號
 石川縣石川郡安原村(今石川郡) 位置 石川縣羽咋郡中庄村(今石川郡)
 逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第六百十六號
 北海通干島國嶽取郡藤取村茂世路 承繼局名 藥取郵便局
 逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第六百十七號
 遼ノ各項ヲ左ノ通改正ス
 逓信大臣 男爵後藤新平

「Argentine Republic (亞然納音共和國)」以下「Uruguay (ウルグアイ)」迄ノ各項ヲ左ノ通改正ス

Chili (智利)	五八〇〇	五八〇〇	五八〇〇	五八〇〇
Bolivia (ボリビア)	五八〇〇	五八〇〇	五八〇〇	五八〇〇
Paraguay (パラグアイ)	五八〇〇	五八〇〇	五八〇〇	五八〇〇
Uruguay (ウルグアイ)	五八〇〇	五八〇〇	五八〇〇	五八〇〇

「Peru (ペルー)」ノ項中「Iquitos (イキトス)」以下「Other places (其ノ他各地)」迄ヲ左ノ通改正ス

Iquitos (イキトス)	五八〇〇	五八〇〇	五八〇〇	五八〇〇
Masisea (マシサー)	五八〇〇	五八〇〇	五八〇〇	五八〇〇
Orellana (オレルナ)	五八〇〇	五八〇〇	五八〇〇	五八〇〇
Requena (レケナ)	五八〇〇	五八〇〇	五八〇〇	五八〇〇
Other Places (其ノ他各地)	五八〇〇	五八〇〇	五八〇〇	五八〇〇

○逓信省告示第六百十七號
 明治四十二年七月逓信省告示第六百二十號外國小包郵便料金表(第一 郵便料金ノ部)中左ノ通改正ス
 明治四十三年五月十八日
 逓信大臣 男爵後藤新平

一「クリート」島ノ項中西比利亞經由ニ關スル項ヲ削ル
 一麻洛哥ノ項逓送線路ノ欄中「アチニア」ヲ削ル
 一塞爾維ノ項ヲ左ノ如ク改ム

名宛國	線送	郵船	郵便		價格表記		代命	小包	引換	金額	制限	附註
			聯合條約	特別條約ニ依ルモノ	金額	制限						
盛爾維	由埃及經	由英國經	由西比利亞經	由日本經	五〇〇	一〇〇	(變更ナシ)

○逓信省告示第六百十八號
本月十九日限り仙臺逓信管理局青森支局ヲ廢止ス

逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第六百十九號
本月二十一日ヨリ左記郵便局ヲ移轉ス

逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第六百二十號
明治四十二年六月逓信省告示第六百六號萬國電信條約書附屬國際業務規則第二十七條第四項中「西班牙」ノ相當語「一ベセタ」九「サンチム」ト「ベセタ」ヲ「一ベセタ」七「サンチム」ト「ベセタ」ト改ム

逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第六百二十一號
明治四十二年七月逓信省告示第六百二十二號外國電報ノ取扱ニ關スル制限中左ノ通改正ス

逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第六百二十二號
本月二十一日ヨリ左記三等郵便局ヲ設置ス但シ郵便物集配事務ヲ取扱ハス

逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第六百二十三號
本月二十六日ヨリ左記郵便局ヲ改稱ス

現名	現稱	現名	現稱
岡山西大寺郵便局	岡山西大寺町	岡山西大寺町	岡山西大寺町
下村郵便局	岡山縣赤磐郡物理村	岡山縣赤磐郡物理村	岡山縣赤磐郡物理村
瀬野郵便局	岡山縣兒島郡琴浦村	岡山縣兒島郡琴浦村	岡山縣兒島郡琴浦村
大庭郵便局	兵庫縣美作郡大庭村	兵庫縣美作郡大庭村	兵庫縣美作郡大庭村
森忠郵便局	岡山縣川上郡日里村	岡山縣川上郡日里村	岡山縣川上郡日里村

○逓信省告示第六百二十四號
内務省ニ於テ福井縣越前國敦賀港改良工事施行中其區域ヲ示ス爲メ左記ノ浮標ヲ設置セリ

逓信大臣 男爵後藤新平

- 一位 燈 金ヶ崎埠頭ノ西方
- 一位 燈 鐵道截頭圓錐形黑色、上部ニ格子製柵ヲ組立テ頂上ニ燈器ヲ掛ク
- 一位 燈 質 九尺五寸
- 一位 燈 質 「アセチリン」瓦斯閃光白色、毎三秒時間ニ一閃光ヲ發ス
- 一明 弧 全度
- 一光 遠距離 晴天ノ夜八哩
- 一水 深 大低潮時約六尋三分ノ二
- 一方 位 該浮標ヨリ測定セル磁針方位ハ左ノ如シ

埠頭燈ハ北八十八度十五分東
測候所ハ南二十九度十五分西
蛭子埼ハ北三十度十五分西

敦賀港假設第一浮標

- 一位 置 金ヶ崎埠頭ノ南西方
- 一構造及著色 鐵造圓錐形紅色、目標三角形
- 一水面上ノ高 一丈一尺
- 一水深 大低潮時約三尋三分ノ一
- 一方 該浮標ヨリ測定セル磁針方位ハ左ノ如シ

埠頭燈ハ北三十九度東
測候所ハ南四十一度二十分西
蛭子埼ハ北二十六度十五分西

敦賀港假設第二浮標

- 一位 置 金ヶ崎埠頭ノ南方
- 一構造及著色 鐵造圓錐形紅色、目標三角形
- 一水面上ノ高 一丈一尺
- 一水深 大低潮時約二尋三分ノ一
- 一方 該浮標ヨリ測定セル磁針方位ハ左ノ如シ

埠頭燈ハ北二十二度五分東
測候所ハ南六十一度三十分西
蛭子埼ハ北二十六度四十分西

○遞信省告示第六百二十五號

明治四十一年九月遞信省告示第九百十號中八幡郵便局特設電話加入區域ニ左ノ追加ハ本月二十六日ヨリ施行ス

明治四十三年五月二十一日

遞信大臣 男爵後藤新平

「福岡縣遠賀郡八幡町大字大藏字勝山」ノ下ニ

字高見町同一條通同三條通同四條通
福岡縣遠賀郡八幡町ノ項ノ次ニ
企救郡板橋村大字梶田字高見町同五條通同六條通同死生田

○遞信省告示第六百二十六號

明治四十二年七月遞信省告示第六百二十二號外國電報ノ取扱ニ關スル制限中「白露」ノ項中第二節ヲ左ノ通改正ス

明治四十三年五月二十一日

遞信大臣 男爵後藤新平

同國「ピウーラ」州各局宛ノ電報ハ「パイタ」局宛ノモノヲ除クノ外普通ノ西班牙語ヲ以テ記載シタルモノニ限リ之ヲ受付ケ且遲延ノ責ニ任セス

○遞信省告示第六百二十七號

明治三十三年ニ遞信省告示第六十四號郵送禁制品目表中「希臘」ノ項ニ「卷煙草、葉卷煙草、」サツカリン、外國ニ於テ發行スル「富饒及之ニ關スル廣告類」ヲ加フ

明治四十三年五月二十一日

遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第六百二十八號

明治四十二年七月十二遞信省告示第千三百四號小包郵便ニ依リ諸外國ニ輸入スルコトヲ得サル物品表中左ノ通改正ス

明治四十三年五月二十一日

遞信大臣 男爵後藤新平

一埃及ノ項中「銀貨、流通スル白銅貨及銅貨」ヲ加フ
一希臘ノ項中「外國ニ於テ發行スル官銀及之ニ關スル廣告類」ヲ加フ
一露西亞ノ項中「銀貨及銅貨」ノ下ニ「露清ノ國境ヨリ輸入スル清國ノ流通銀塊ヲ除ク」ヲ加フ

○逓信省告示第六百二十九號

來六月一日ヨリ明治四十二年六月逓信省告示第六百七號外國電報料金表第一表 America (亞米利加地方)ノ部中「Argentine Republic (亞然的音共和國)」ノ項以下 Peru (白路)ノ項迄ヲ左ノ通改正ス

明治四十三年五月二十一日 逓信大臣 男爵後藤新平

Argentine Republic (亞然的音共和國)	6000	6000	6000	6000	6000	6000	6000	6000
Bolivia (ボリビア)	6000	6000	6000	6000	6000	6000	6000	6000
Chile (チリ)	6000	6000	6000	6000	6000	6000	6000	6000
Paraguay (パラグアイ)	6000	6000	6000	6000	6000	6000	6000	6000
Uruguay (ウルグアイ)	6000	6000	6000	6000	6000	6000	6000	6000
Ecuador (エクアドル)	6000	6000	6000	6000	6000	6000	6000	6000
French Guiana (佛領ギアナ)	6000	6000	6000	6000	6000	6000	6000	6000
French Guiana (佛領ギアナ)	6000	6000	6000	6000	6000	6000	6000	6000
Via Azores (アゾレス)	6000	6000	6000	6000	6000	6000	6000	6000
Other places (其ノ他各地)	6000	6000	6000	6000	6000	6000	6000	6000

香港馬尼刺 倫敦又ハ「エムデン」 里斯本經過 倫敦又ハ「エムデン」 里斯本經過
 緬馬尼刺 里斯本經過 倫敦又ハ「エムデン」 里斯本經過
 直達又ハ「エムデン」 里斯本經過 倫敦又ハ「エムデン」 里斯本經過
 上海「ヤン」 倫敦又ハ「エムデン」 里斯本經過 倫敦又ハ「エムデン」 里斯本經過
 「ブル」 「ガル」 「エム」 里斯本經過 倫敦又ハ「エムデン」 里斯本經過
 倫敦又ハ「エムデン」 里斯本經過 倫敦又ハ「エムデン」 里斯本經過

Pern (巨港)	5000	5000	5000	5000	5000	5000	5000	5000
Iquitos (イキトス)	5000	5000	5000	5000	5000	5000	5000	5000
Manisa (マニサ)	5000	5000	5000	5000	5000	5000	5000	5000
Orellana (オレルアナ)	5000	5000	5000	5000	5000	5000	5000	5000
Reguena (レグエナ)	5000	5000	5000	5000	5000	5000	5000	5000
Other places (其ノ他各地)	5000	5000	5000	5000	5000	5000	5000	5000

○逓信省告示第六百三十號
 來六月一日ヨリ左記三等郵便局ヲ設置ス但シ郵便物集配事務ヲ取扱ハス
 明治四十三年五月二十四日 逓信大臣 男爵後藤新平

名 稱 位 置

下收郵便局 岐阜縣武儀郡下收村(上野町) 櫻村郵便局 三重縣三重郡櫻村(山田町)

朝日郵便局 三重縣三重郡朝日村(朝日町) 小俣郵便局 三重縣度會郡小俣村(山田町)

○逓信省告示第六百三十一號
 郵便局所ニ於テ外國爲替金ノ換算ニ適用スヘキ外國貨幣換算割合左ノ如シ
 明治四十三年五月二十四日 逓信大臣 男爵後藤新平

香港洋銀	一ペラー	八六〇ニ五	一圓ニ付	三二八	「ペラー」十二「セント」
銀	一ペラー	八八九〇	一圓ニ付	四八六	「ペラー」十二「セント」

其ノ他ノ貨幣換算割合ハ従前ノ通
 ○逓信省告示第六百三十二號
 明治四十二年二月逓信省告示第八十八號國際無線電信條約ヲ批准シタル國名中羅馬尼ノ次ニ「露西亞」ヲ追加ス
 明治四十三年五月二十四日 逓信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第六百三十三號
宮崎縣日向國東臼杵郡細島港燈臺ハ燒失ノ旨同縣ヨリ報告セリ
明治四十三年五月二十四日 遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第六百三十四號
明治四十二年七月遞信省告示第六百二十二號外國電報ノ取扱ニ關スル制限中「コモロ」群島ノ項ノ次ニ左ノ通追加ス
明治四十三年五月二十五日 遞信大臣 男爵後藤新平

「コモロ」島 同島宛ノ電報ハ發信人ノ危險ニ於テノミ之ヲ受付ク
○遞信省告示第六百三十五號
明治四十二年六月遞信省告示第六百七號外國電報料金表中左ノ通改正ス
明治四十三年五月二十五日 遞信大臣 男爵後藤新平

第一表 Asia (亞細亞地方)ノ部中「Islands of Turkey in Asia (亞細亞土耳其古内ノ島嶼)」及「Islands of Turkey in Asia (亞細亞土耳其古内ノ島嶼)」ノ二項ヲ左ノ通改メ

Islands of Turkey in Asia (亞細亞土耳其古内ノ島嶼)	14.410	11.410
Chios(キョウキウ)	14.410	11.410
Lemnos(レムノス)	14.410	11.410
Rhodes(ロース)	14.410	11.410
Tenedos(テネドス)	14.410	11.410
Other Islands(其ノ他諸島)	14.410	11.410
Chios	14.410	11.410
Lemnos	14.410	11.410
Rhodes	14.410	11.410
Tenedos	14.410	11.410
Other Islands	14.410	11.410

} (Via Pafo (パフォ) 経由)

同部中「Turkey in Asia (亞細亞土耳其古)」ノ項ノ下「上海線料金欄ニ「11.610」ヲ加フ

第一表 Asia (亞細亞地方)ノ部中「Islands of Turkey in Asia (亞細亞土耳其古内ノ島嶼)」及「Islands of Turkey in Asia (亞細亞土耳其古内ノ島嶼)」ノ二項ヲ左ノ通改メ

Islands of Turkey in Asia (亞細亞土耳其古内ノ島嶼)	14.410	11.410
Chios(キョウキウ)	14.410	11.410
Lemnos(レムノス)	14.410	11.410
Rhodes(ロース)	14.410	11.410
Tenedos(テネドス)	14.410	11.410
Other Islands(其ノ他諸島)	14.410	11.410
Chios	14.410	11.410
Lemnos	14.410	11.410
Rhodes	14.410	11.410
Tenedos	14.410	11.410
Other Islands	14.410	11.410

} (Via Pafo (パフォ) 経由)

同部中「Turkey in Asia (亞細亞土耳其古)」ノ項ノ下「ノースキーン線」料金欄ニ「11.610」ヲ加

第三表 Asia (亞細亞地方)ノ部中「Islands of Turkey in Asia (亞細亞土耳其古内ノ島嶼)」及「Islands of Turkey in Asia (亞細亞土耳其古内ノ島嶼)」ノ二項ヲ左ノ通改メ

Islands of Turkey in Asia (亞細亞土耳其古内ノ島嶼)	14.410	11.410
Chios(キョウキウ)	14.410	11.410
Lemnos(レムノス)	14.410	11.410
Rhodes(ロース)	14.410	11.410
Tenedos(テネドス)	14.410	11.410
Other Islands(其ノ他諸島)	14.410	11.410

Chios
Lemnos
Rhodes
Tenedos
Other Islands

(Via Pafo)
(パフォ経由)

同部中「Turkey in Asia(亞細亞土耳其)」ノ項ノ下「上海線」料金欄ニ「二一六二〇」ヲ加フ

○遞信省告示第六百三十六號

明治三十年月 遞信省告示第三百五十七號電話加入區域中左記箇所ヲ刪除シ來六月一日ヨリ施行ス

明治四十三年五月二十六日

遞信大臣 男爵後藤新平

石川縣石川郡大野村上金石町大野町

○遞信省告示第六百三十七號

明治三十九年月 遞信省告示第二百六十四號加入區域外通話區域及通常電話料左ノ通追加シ來六月一日ヨリ施行ス

明治四十三年五月二十六日

遞信大臣 男爵後藤新平

加入區域外 通話區域	常電話料	加入區域外 通話區域	常電話料	加入區域外 通話區域	常電話料
金石金澤間	金二十五錢	金石大聖寺間	金二十錢	金石高岡間	金二十錢
金石松任間	金二十五錢	金石山津間	金二十錢	金石伏木間	金二十五錢
金石美川間	金十五錢	金石七尾間	金二十五錢	金石岩瀨間	金二十五錢
金石津幡間	金十五錢	金石福井間	金二十五錢	金石新湊間	金二十五錢
金石越前間	金十五錢	金石敦賀間	金二十五錢	金石安宅間	金二十五錢
金石粟崎間	金十五錢	金石三國間	金二十五錢		
金石小松間	金二十錢	金石富山間	金二十五錢		

○遞信省告示第六百三十八號

帆船榮德丸外二十九艘ニ左ノ信號符字ヲ附ス

明治四十三年五月二十六日

遞信大臣 男爵後藤新平

信號符字	番號	種類	船名	船籍港	所有者
JWLP	七九六一	帆船	榮德丸	越中國四方町	越谷竹次郎
LDFO	一〇八八七	汽船	第四斯道丸	長崎	小野原善藏
LGDO	一一一九一	帆船	雄子丸	伯耆國橋津村	島崎久太郎
LGDF	一一九二	帆船	能代丸	伯耆國境町	近藤久太郎
LGDE	一一九三	帆船	明神丸	因幡國賀露村	濱部兵太郎
LGDH	一一九四	帆船	能代丸	淡路國函館區	佐藤永吉
LGPS	一一九五	汽船	第三五十鈴丸	志摩國鳥羽町	合資會社島羽造船所
LFBK	一一九六	汽船	第二號德丸	土佐國湖江村	北代健太郎
LJSG	一一九七	帆船	第八號	高知	澤村右三郎
LJSH	一一九八	帆船	第七日木丸	新潟	淺井德十郎
LJHN	一一九九	帆船	第八號	新潟	日本石油株式會社
LJHP	一二〇〇	帆船	父島丸	新潟	上部通理
LJPD	一二〇一	汽船	快進丸	新潟	神奈川
LJVS	一二〇二	汽船	榮進丸	新潟	平井
LJBF	一二〇三	帆船	春日丸	肥後國志岐村	老松
LJBG	一二〇四	帆船	三島丸	肥後國宮岡町	西川
LJBH	一二〇五	帆船	福角丸	肥後國三島町	小島
LJBK	一二〇六	帆船	若木丸	肥後國立村	川上
LJBM	一二〇七	帆船	若木丸	肥後國阿村	川上

LJBN	13324	帆	辨	肥後國大田村	河
LKCO	13004	帆	天	伊豆國多賀村	乙
LMNJ	13058	帆	吉	備後國田原村	乙
LMNK	13059	帆	丸	安藝國佐江崎村	三
LMNP	13060	帆	丸	安藝國大崎中野村	耶
LMHJ	13084	汽	小	大阪府	元
LMDR	13110	帆	福	大坂商船株式會社	一
LMDS	13111	帆	力	淡海	辰
LMDT	13112	汽	丸	吉岡	辰
LMDV	13114	帆	丸	宇和島運輸株式會社	次
LKJD	13118	帆	三	藤澤	萬
LKJF	13119	帆	號	折居	幸
LKJG	13120	汽	丸	三浦	松
LKJH	13121	帆	丸	大	居
LMNQ	13123	帆	三	馬	光
LMNR	13124	帆	號	小	川
LMNS	13125	帆	丸	沖	水
LMNT	13126	帆	丸	橋	本
LJFS	13127	帆	二	天	滿
LFBM	13141	帆	號	柴	田
LNGS	13500	帆	丸	報	放
LNGT	13501	帆	丸	川	口

○遞信省告示第六百三十九號
來六月一日ヨリ左記郵便局ヲ移轉改稱ス
明治四十三年五月二十六日

現名稱 現在位置 改稱 移轉位置
鏡郵便局 滋賀縣蒲生郡鏡山村 馬淵郵便局 滋賀縣蒲生郡馬淵村

○遞信省告示第六百四十號
明治三十八年十一月十二日遞信省令第八十四號ニ依リ來六月一日ヨリ左記鐵業特設電話所ヲ設置ス
明治四十三年五月二十六日

名稱 高田鐵業特設電話所 位置 福島縣雙葉郡廣野村
○遞信省告示第六百四十一號
本月三十一日限り熊本遞信管理局鹿兒島支局ヲ廢止ス
明治四十三年五月二十六日

○遞信省告示第六百四十二號
明治四十二年七月七號遞信省告示第六百三十九號外國小包郵便料金表(第一)郵便料金ノ部(中左ノ通改正ス
明治四十三年五月二十八日

- 一 白耳義領公果、獨逸經由及佛國經由ノ項告知書ノ枚數「三」ヲ「四」ニ改ム
- 一 「ボリツィア」ノ項英國經由ノ部到達證ノ欄「許(價格表附小)ヲ」ニ改ム
- 一 佛蘭西殖民地ノ部中「セネガル」及其ノ他ノ項附註ノ記載ヲ削リ及「ガドルフ」佛領ギアヌニノ項ヲ左ノ如ク改ム

遞信大臣 男爵後藤新平

名宛國	送附	郵船	郵便料		代金小包各	附註
			聯合條約	特別條約		
カネートン (Guadeloupe) 佛領ギナウ (Guinea Frigate) (Guinea Frigate)	由佛國經日又ハ	佛船	二依ルルノ	三百六十八百四	500	許
大不列顛及愛蘭 (Great Britain and Ireland)	由佛國經佛船	佛船	二依ルルノ	三百六十八百四	500	許
一英國殖民地及屬地 (二) 亞非利加ノ部中「ニアッサラント」保護國ノ項附註欄「ノオルト、シヨント」(Fort Johnson) 「ノノント、ジャンクマン」(Fort Johnson) 「改メ、喜望峯殖民地ノ項名宛國ノ欄括弧内」ボンドランド」(Pondland) 「次ニ「タタコロンヤ」(Tambuland) ヲ加ヘ及「北東ローデシア」ノ項ヲ左ノ如ク改ム	由佛國經佛船	佛船	二依ルルノ	三百六十八百四	500	許

名宛國	送附	郵船	郵便料		代金小包各	附註
			聯合條約	特別條約		
北東「ノークマン」(North East Rhodesia)	由亞丁經佛船	佛船	二依ルルノ	三百六十八百四	500	許
英領西印度 (British India)	由英領西印度經佛船	佛船	二依ルルノ	三百六十八百四	500	許
一白路ノ項ヲ左ノ如ク改ム						

明治四十三年五月 告示 國情第六百四十二號

○遞信省告示第六百四十三號
明治四十二年七月二日遞信省告示第八十八號國際無線電信條約ヲ批准シタル國名中「和蘭」ノ次ニ「波
斯」ヲ追加ス
明治四十三年五月二十八日
遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第六百四十四號
今般「ザンシヤン」國ハ明治三十九年十一月三日獨逸國伯林ニ於テ締結セラレタル國際無線電信條
約ニ又和蘭國ハ其ノ殖民地(Chefoo(クラサオ))ノ爲メ來六月一日ヨリ效力ヲ生スルコトヲ條件
トシテ同條約ニ加入シタリ
明治四十三年五月二十八日
遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第六百四十五號
來六月一日ヨリ左記三等郵便局ヲ設置ス但シ郵便物集配事務ヲ取扱ハス
明治四十三年五月二十八日
遞信大臣 男爵後藤新平

名稱	位置	名稱	位置
篠山兵營前郵便局	兵庫縣多紀郡城北村(兵庫市)	關立郵便局	瀧岡縣三池郡駿馬村(大牟田市)
福岡郵便局	福岡縣久那比郡行幸村(行幸町)	大分郵便局	大分縣下毛郡大崎村(中津市)
湯郷郵便局	岡山縣勝田郡湯郷村(勝田町)	下郷郵便局	大分縣下毛郡下郷村(中津市)
生野郵便局	兵庫縣津名郡生野村(生野町)	志柿郵便局	熊本縣天草郡志柿村(鹿子島)
岡田郵便局	香川縣綾歌郡岡田村(岡田町)		

○遞信省告示第六百四十六號
明治三十六年三月勅令第四十一號ニ基ク請願ニ依リ來六月一日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス
明治四十三年五月三十一日
遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第六百四十七號
明治四十二年七月二日遞信省告示第六百二十號外國小包郵便料金表(第一) 郵便料金ノ部(中馬來聯邦)
項ヲ左ノ通改正ス
明治四十三年五月三十一日
遞信大臣 男爵後藤新平

名宛國	遞送線路	差立郵船	聯合條約ニ依ルモノ	特別條約ニ依ルモノ	金箱	代金	小包	引換	金箱	引換	小包	引換	金箱	引換	小包	引換	金箱	引換	小包	引換
馬來聯邦	香港經海峽殖民地(由山)	日船其(由山)	三六(三三三三三三)	三六(三三三三三三)	三六(三三三三三三)	三六(三三三三三三)	三六(三三三三三三)	三六(三三三三三三)	三六(三三三三三三)	三六(三三三三三三)	三六(三三三三三三)	三六(三三三三三三)	三六(三三三三三三)	三六(三三三三三三)	三六(三三三三三三)	三六(三三三三三三)	三六(三三三三三三)	三六(三三三三三三)	三六(三三三三三三)	三六(三三三三三三)

○遞信省告示第六百四十八號
明治四十年九月九日遞信省告示第五百六十四號外國通常郵便物(價格表)ノ取戻又ハ名宛變更ヲ請
求シ得ル國及請求書ヲ發送スヘキ官署中「濠太刺利聯邦」ノ部「英領新ギネ」ニノ項ヲ左ノ通改正ス
明治四十三年五月三十一日
遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第六百四十九號
郵便局所ニ於テ外國爲替金ノ換算ニ適用スヘキ外國貨幣換算割合左ノ如シ
明治四十三年五月三十一日
遞信大臣 男爵後藤新平

香港洋銀	一ダラー	八八七〇八	一圓二付	「ダラー」十二「セント」
銀	一ダラー	八九六〇四	一圓二付	「ダラー」十一「セント」
				六〇二

其ノ他ノ貨幣換算割合ハ從前ノ通

○統監府告示第六十七號(官報 五月八日)
明治四十三年四月二十二日左記學校組合ノ設立ヲ認可ス

龍岩浦學校組合

地 區 平安北道龍川郡龍岩浦及其ノ附近一里以内ノ地

統監 子爵曾禰荒助

○統監府告示第六十八號(官報 五月八日)
明治四十三年四月三十日限り左記電信取扱所ヲ廢止ス同所ニ於テ取扱ヒタル事務ハ下記郵便電信取扱所之ヲ承繼ス

明治四十三年四月三十日

忠清北道沃川鐵道停車場

統監 子爵曾禰荒助
承繼所名 沃川郵便電信取扱所

○統監府告示第六十九號(官報 五月八日)
明治四十三年五月一日ヨリ左記電信取扱所ノ電報取扱ニ關スル制限ヲ下記ノ通改正ス

明治四十三年四月三十日

直配區區域

其ノ他ノ事項

統監 子爵曾禰荒助

○統監府告示第七十號(官報 五月八日)
明治四十三年五月十一日ヨリ左記電信取扱所ヲ設置ス

明治四十三年四月三十日

直配區區域

其ノ他ノ事項

統監 子爵曾禰荒助

所 名 位 置 直配區區域 其ノ他ノ事項
烏山電信取扱所 京畿道烏山鐵道停車場 九町以内 電報取扱時間外ハ電報ニ關スル一切ノ取扱ヲ爲サス
勿藥電信取扱所 慶尙南道勿藥鐵道停車場 十八町以内 別便配達ヲ爲サス

○統監府告示第七十一號(官報 五月八日)
明治四十一年九統監府告示第百五十九號電話呼出地域中左ノ通改正シ明治四十三年五月十六日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十三年四月三十日

統監 子爵曾禰荒助

一 稷山金礦ノ項ノ次ニ左ノ各項ヲ加フ

大田 (大田本町春日町榮町幸町岐草町松島町小田原町明治町傳馬町壽町未廣町懷德町磯尾方町川邊町大田驛懷德郡外南面ノ内新里新安)
慶州 慶州郡内面ノ内城內左里北里北里東路西新其城北城西門外南其北里七里其南沙正其東面ノ内沙里
永川 永川郡内東面(也史洞望亭洞早橋洞ヲ除ク)内西面
昌原 昌原府内西面(用山里内洞其鳳岩里鳳丁里ヲ除ク)

○統監府告示第七十二號(官報 五月八日)
明治四十三年四月二十七日左記學校組合ノ設立ヲ認可ス

明治四十三年四月三十日

統監 子爵曾禰荒助

○統監府告示第七十三號(官報 五月八日)
左記ノ各地ニ於テ當分ノ内帆船及平水航路ヲ航行スル汽船ニ限り船舶検査ヲ執行ス

明治四十三年四月三十日

統監 子爵曾禰荒助

鎮南浦元山

○統監府告示第七十四號(官報 五月八日)
左記ノ各地ニ於テハ當分ノ内一定ノ時期ニ限り船舶検査ヲ執行ス其ノ検査執行期日ハ別ニ之ヲ告

鏡城羅南間ノ次	鏡城富寧間	鏡城會寧間	清津羅南間ノ次	清津富寧間	清津會寧間	羅南會寧間
金三十錢	金四十錢	金二十錢	金二十錢	金四十錢	金三十錢	金四十錢
金十五錢	金二十錢	金二十錢	金二十錢	金三十錢	金三十錢	金二十錢

○統監府告示第七十九號(官報五月三十一日)
 明治四十三年五月五日左記學校組合ノ設立ヲ認可ス

名稱 江陵學校組合 地區 江原道江陵郡江陵邑及其ノ附近二里以内ノ地
 統監 子爵曾禰荒助

○統監府告示第八十號(官報五月三十一日)
 明治四十三年五月五日左記學校組合ノ設立ヲ認可ス

名稱 於青島學校組合 地區 忠清南道於青島郡於青島
 統監 子爵曾禰荒助

○統監府告示第八十一號(官報五月三十一日)
 明治四十三年五月七日左記學校組合ノ設立ヲ認可ス

名稱 宜川學校組合 地區 平安北道宜川郡宜川邑及其ノ附近一里以内ノ地
 統監 子爵曾禰荒助

○統監府告示第八十二號(官報五月二十八日)
 明治四十三年五月十八日左記學校組合ノ設立ヲ認可ス

名稱 固城學校組合 地區 慶尙南道固城郡固城邑及其ノ附近一里以内ノ地
 統監 子爵曾禰荒助

○統監府告示第八十三號(官報五月二十八日)
 五月二十一日ヨリ當分ノ内統監府特許局特許品陳列所ヲ閉鎖ス

統監 子爵曾禰荒助

○統監府告示第八十四號(官報五月二十八日)
 明治四十三年六月一日ヨリ左記郵便局所ニ於テ明治四十一年九統監府令第三十九號特設電話規則ニ依リ特設電話加入申請ヲ受理ス希望者ハ該規則ニ依リ加入申請書ヲ差出スヘシ但シ電話交換業務開始ノ日ハ追テ之ヲ告示ス

局所名	位	局所名	位
晉州郵便局	慶尙南道晉州郡晉州邑	絕影島郵便所	慶尙南道東萊府沙中面絕影島
海州郵便局	黃海道海州郡海州邑	廣梁郵便所	平安南道三和府乃谷面牛登里
咸興郵便局	咸鏡北道咸興府咸興邑		

○臺灣總督府告示第五十二號(官報五月十日)
 官設埤圳蚶仔埤圳水利組合ハ明治四十三年四月九日ヨリ臺灣總督府土木部長ヲシテ之ヲ管理セシ

明治四十三年四月二十六日 臺灣總督 伯爵佐久間左馬太

○臺灣總督府告示第五十三號(官報五月十日)
 明治四十三年四月告示第五十一號ヲ以テ當分ノ内撤去ノ旨告示シタル南門洲浮標ハ舊位世ニ碇置セ

明治四十三年四月二十六日 臺灣總督 伯爵佐久間左馬太

○臺灣總督府告示第五十四號(官報五月十日)
 臺灣總督府所屬郵便局所ニ於ケル郵便爲替貯金及郵便取立金受拂事務取扱日時左ノ通相定ム

明治四十三年四月二十七日 臺灣總督 伯爵佐久間左馬太

一 郵便爲替郵便貯金及郵便取立金受拂事務

五月一日ヨリ九月三十日迄 午前八時ヨリ正午十二時ニ至ル

十月一日ヨリ翌年四月三十日迄 午前九時ヨリ午後四時ニ至ル

但シ土曜日ニ限リ午後二時迄祭日、祝日(紀元節、天長節ヲ除ク)及日曜日ハ正午十二時迄トス

一月一日、紀元節、天長節及始政紀念日ハ取扱ハス

二 郵便貯金規則及郵便振替貯金規則ニ依ル局待拂事務

五月一日ヨリ九月三十日迄 午前八時ヨリ正午十二時ニ至ル

十月一日ヨリ翌年四月三十日迄 午前九時ヨリ午後四時ニ至ル

但シ年末年首(一月一日ハ取扱ハス)ノ休暇日及土曜日ハ正午十二時迄トス

祭日、祝日、日曜日及始政紀念日ハ取扱ハス

三 必要ト認ムル局所ニ於テハ特ニ取扱時間ヲ延伸スルコトアルヘシ但シ此ノ場合ニ於テハ其ノ取扱時間ハ當該局所ニ之ヲ揭示ス

○臺灣總督府告示第五十五號(官報五月十日)

明治四十三年五月一日ヨリ花蓮港廳下鳳林馬太鞍間輕便鐵道臺車貸下營業ヲ開始ス其ノ哩程左ノ通

明治四十三年五月一日 臺灣總督 伯爵佐久間左馬太

自	馬太鞍
至	花蓮港
花蓮港	二七〇分

○臺灣總督府告示第五十六號(官報五月十七日)

明治三十二年二月告示第二十一號臺灣總督府民政部內務局學務課出版圖書拂下書目中左ノ通追加ス

明治四十三年五月五日 臺灣總督 伯爵佐久間左馬太

一 公學校修身科教授資料卷一

同金六十五錢

○臺灣總督府告示第五十七號(官報五月十七日)

明治三十八年六月告示第八十四號ハ土地登記ノ囑託ニ就キ官吏指定ノ件ナリ

明治三十八年六月告示第八十四號中農事試驗場長ノ次ニ阿里山作業所長ヲ加フ 臺灣總督 伯爵佐久間左馬太

〔參照〕

明治三十八年六月告示第八十四號ハ土地登記ノ囑託ニ就キ官吏指定ノ件ナリ

○臺灣總督府告示第五十八號(官報五月十七日)

明治四十三年四月一日ヨリ明治三十一年八月告示第五十三號臺灣總督府國語學校及同附屬學校名稱

位置中第一附屬學校ヲ附屬公學校ニ、第二附屬學校ヲ附屬女學校ニ改ム 臺灣總督 伯爵佐久間左馬太

明治四十三年五月七日

○臺灣總督府告示第五十九號(官報五月二十一日)

明治三十四年七月告示第七十二號阿片烟膏定價左ノ通改正シ明治四十三年五月十一日ヨリ之ヲ施行

明治四十三年五月十一日 臺灣總督 伯爵佐久間左馬太

一等阿片烟膏 一罐百匁入 金二十一圓

二等阿片烟膏 一罐百匁入 金十三圓

但シ二等阿片烟膏ハ當分賣下ヲ停止ス

○臺灣總督府告示第六十號(官報五月三十一日)

基隆海港檢疫所瀨尾支所ハ明治四十三年四月二十八日ヨリ瀨尾街土名龍目井街四十二番地ニ移轉

明治四十三年五月十三日 臺灣總督 伯爵佐久間左馬太

○臺灣總督府告示第六十一號(官報五月二十六日)

臺灣總督府阿里山作業所官制第八條ニ依リ臺灣總督府阿里山作業所出張所ヲ當分嘉義ニ置ク

明治四十三年五月十五日

臺灣總督 伯爵佐久間左馬太

○臺灣總督府告示第六十二號(官報五月二十六日)

明治四十一年十月告示第四百十四號中左ノ通改正ス

明治四十三年五月十七日

臺灣總督 伯爵佐久間左馬太

第一害蟲ノ種類第八號中(イネノハカシミヅメイガ、イネタテハマキ)ヲ(コブノメイガ)ニ改メ左ノ九號ヲ加フ

十六 黃色螟蟲(カンシヨノシクヒハマキ)

被害作物 甘蔗

十七 二點螟蟲(ウスグロメイガ)

被害作物 甘蔗

十八 條螟蟲(スヂメイガ)

被害作物 甘蔗

十九 蔗龜(クロマルコガネ)

被害作物 甘蔗

二十 綿蚜蟲(カンシヨワタムシ)

被害作物 甘蔗

二十一 甘蔗赤腐病(アカクサリ)

被害作物 甘蔗

二十二 甘蔗外皮病(カンシヨグワイヒビヤウ)

二十三 甘蔗護謨病(カンシヨゴムビヤウ)

被害作物 甘蔗

二十四 甘蔗黑穗病(クロホ)

被害作物 甘蔗

第二驅除豫防ノ方法ニ左ノ九號ヲ加フ

十六 黃色螟蟲

イ 卵塊ハ採集シテ潰殺スヘシ

ロ 成蟲ハ捕殺スヘシ

ハ 心枯又ハ枯葉アル幼莖ハ切り取り燒却スヘシ

ニ 被害甚タシキ蔗園ハ收穫後殘留セル葉莖及刈株ヲ燒却スヘシ

ホ 蔗田切出ノ際ニ生シタル殘屑ハ燒却又ハ埋沒スヘシ

ハ 蔗田ハ被害ナキモノヲ選擇スヘシ

十七 二點螟蟲

驅除豫防ノ方法ハ黃色螟蟲ニ同シ

十八 條螟蟲

驅除豫防ノ方法ハ黃色螟蟲ニ同シ

十九 蔗龜

イ 幼蟲及成蟲ハ捕殺スヘシ

二十 綿蚜蟲

イ 被害葉ハ切り取り燒却スヘシ

- 二十一 甘蔗赤腐病
 - イ 被害甚クシキ甘蔗園ハ株出ヲ爲スヘカラス
 - ロ 病莖ハ切り取り焼却スヘシ
- 二十二 甘蔗外皮病
 - イ 驅除豫防ノ方法ハ甘蔗赤腐病ニ同シ
- 二十三 甘蔗護膜病
 - イ 驅除豫防ノ方法ハ甘蔗赤腐病ニ同シ
- 二十四 甘蔗黑穗病
 - イ 被害株ハ掘取り焼却スヘシ

〔參照〕

明治四十一年十月一日付臺灣總督府令第六十二號ハ害蟲ノ種類及驅除豫防方法ナリ

○臺灣總督府告示第六十三號(官報五月二十六日)
臺南廳下鳳山新興製糖株式會社鐵道鳳山線並林仔邊線ハ線路修理ノ爲本日ヨリ九十日間營業列車ノ運轉休止ヲ認可セリ

明治四十三年五月十七日

臺灣總督 伯爵佐久間左馬太

○臺灣總督府告示第六十四號(官報五月二十六日)
基隆港内ニ碇置セル石花灘浮標及インフレキシブル礁浮標ハ左記ノ通アガ式挂燈浮標ニ變更セリ

明治四十三年五月十九日

臺灣總督 伯爵佐久間左馬太

構造 鐵造圓筒形ニシテ上部ニ三角形標ヲ組立テ紅色ニ塗り頂上ニ燈器ヲ掲ク
石花灘浮標

燈火

全度ヲ照シ毎三秒時間ニ〇・一五秒時間ノ一閃光ヲ發スル閃光紅色ニシテ水面上ノ高さ約十尺其ノ光達距離ハ晴天ノ夜五哩ナリ

インフレキシブル礁浮標

構造

鐵造圓筒形ニシテ上部ニ三角形標ヲ組立テ黑色ニ塗り頂上ニ燈器ヲ掲ク
全度ヲ照シ毎二秒時間ニ〇・二秒時間ノ一閃光ヲ發スル閃光白色ニシテ水面上ノ高さ約十尺其ノ光達距離ハ晴天ノ夜七哩ナリ

○臺灣總督府告示第六十五號(官報五月二十六日)

明治四十三年五月二十日ヨリ明治三十八年五月告示第七十號官鹽賣捌所業務擔當人中左ノ通變更ス

臺灣總督 伯爵佐久間左馬太

苗栗鹽務支館 翁 亨

○臺灣總督府告示第六十六號(官報五月二十六日)

明治三十八年六月告示第八十四號ハ土地登記ノ囑託ニ就キ官吏指定ノ件ナリ

臺灣總督 伯爵佐久間左馬太

明治三十八年六月告示第八十四號中「土木局長ヲ削リ」臨時臺灣工事部長ヲ「土木部長ニ改ム

〔參照〕

明治三十八年六月告示第八十四號ハ土地登記ノ囑託ニ就キ官吏指定ノ件ナリ

○臺灣總督府告示第六十七號(官報五月二十六日)
臺灣製糖株式會社鐵道東港線ノ中北勢庄内關帝廟ニ過溪仔乘降場ヲ阿里港線ノ中溪埔厝九塊厝間ニ武洛溪乘降場ヲ設置ノ件許可セリ其ノ哩程左ノ通

明治四十三年五月二十日

臺灣總督 伯爵佐久間左馬太

自	至
過溪仔	武洛溪
九曲堂	一〇〇

自	至
武洛溪	九曲堂
一〇〇	一七六

○臺灣總督府告示第六十八號 (官報 五月三十一日)
臺灣製糖株式會社鐵道北勢庄潮州間ニ運輸營業開始ヲ許可セリ其ノ哩程左ノ通
明治四十三年五月二十一日
臺灣總督 伯爵佐久間左馬太

北勢庄	三	三九	五三
嶽頂	〇七	三〇	
力社	二三		
湖洲			

○臺灣總督府告示第六十九號 (官報 五月三十一日)
明治四十三年四月十八日北海道釧路千歲郡惠庭村役場火災ニ罹リ書類焼失ニ付同日以前同役場ニ對シ爲シタル照會願伺届等ニシテ應答未済ノモノハ明治四十三年六月三十日迄ニ更ニ相當手續ヲ爲スヘキ旨同願ヨリ通知アリタリ
明治四十三年五月二十二日
臺灣總督 伯爵佐久間左馬太

○關東都督府告示第九十一號 (官報 五月十日)
明治四十二年八月告示第七十五號關東州下水規則施行地域中左ノ通過加ス
明治四十三年四月二十八日
關東都督 子爵大島義昌

○關東都督府告示第九十三號 (官報 五月十二日)
明治四十三年五月一日ヨリ左記郵便所ヲ設置シ各下記ノ事務ヲ取扱フ但シ郵便物集配事務ヲ取扱

ハス又兒玉町、信濃町、若狹町各郵便所ニ於テハ電報配達事務ヲ取扱ハス
明治四十三年四月三十日
關東都督 子爵大島義昌

名	稱	位	區	取扱事務
大連西廣場郵便所	大連西廣場郵便所	關東州大連西廣場		郵便、爲替、貯金、電信、電話通話
大連兒玉町郵便所	大連兒玉町郵便所	關東州大連兒玉町		郵便、爲替、貯金、電信
大連半原郵便所	大連半原郵便所	關東州大連半原		郵便、爲替、貯金、電信
大連信濃町郵便所	大連信濃町郵便所	關東州大連信濃町		郵便、爲替、貯金、電信
大連若狹町郵便所	大連若狹町郵便所	關東州大連若狹町		郵便、爲替、貯金、電信
大連浪速町郵便所	大連浪速町郵便所	關東州大連浪速町		郵便、爲替、貯金、電信
大連吾妻橋郵便所	大連吾妻橋郵便所	關東州大連寺內通		郵便、爲替、貯金、電信、電話通話
小島子郵便所	小島子郵便所	關東州小島子		郵便、爲替、貯金、電信、電話通話
旅順 殿島町郵便所	旅順 殿島町郵便所	關東州旅順殿島町		郵便、爲替、貯金、電信、電話通話

○關東都督府告示第九十四號 (官報 五月十二日)
明治四十三年四月三十日限リ左記郵便局出張所ヲ廢止シ該該郵便局出張所ニ於テ取扱ホタル事務ハ各下記郵便所之ヲ繼承ス
明治四十三年四月三十日
關東都督 子爵大島義昌

出 張 所 名	繼承郵便所名
大連郵便局若狹出張所	大連西廣場郵便所
大連郵便局兒玉町出張所	大連兒玉町郵便所
大連郵便局殿島町出張所	大連浪速町郵便所

○關東都督府告示第九十五號 (官報 五月十二日)
明治四十年九月告示第六十一號中ニ各郵便所ヲ追加シ明治四十三年五月一日ヨリ之ヲ施行ス
明治四十三年四月三十日
關東都督 子爵大島義昌

明治四十三年五月 告示 關東都督府第九十六號

一三三

〔參照〕

明治四十一年九月五日 關東都督府告示第六十一號ハ經費渡切指定ノ通信官署ナリ

○關東都督府告示第九十六號(官報五月十二日)

明治四十三年六月一日以後南滿洲鐵道株式會社ハ大連埠頭構内十四號留區ノ南端同社信號柱ニ暴風雨標ヲ揚卸ス

明治四十三年五月二日

關東都督 子爵大島義昌

信號柱ノ位置

北緯二十八度五十五分五十秒

東經百二十一度三十九分十秒

信號柱ノ高サ六十二尺

4487

○內閣告示第四號

明治四十一年十一月二日內閣告示第五號鐵道管理局ノ名稱位置及管理區域中西部鐵道管理局ノ欄「姫路城崎間」ヲ次ニ岡山宇野間ヲ加ヘ京橋高松間ヲ宇野高松間ト改メ尾道多度津間ヲ削除シ本月十二日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十三年六月九日

內閣總理大臣 侯爵桂太郎

○內閣告示第五號

明治四十一年十一月二日內閣告示第五號鐵道管理局ノ名稱位置及管理區域中中部鐵道管理局ノ欄「濱松町鳥森間」ヲ濱松町有樂町間ニ改メ本月二十五日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十三年六月二十二日

內閣總理大臣 侯爵桂太郎

○鐵道院告示第四十六號

明治四十三年六月十日ヨリ山陰線宍原間並ニ鳥取岩美間鐵道運輸營業ヲ開始ス其哩程左ノ通

明治四十三年六月八日

鐵道院總裁 男爵後藤新平

哩程

共進 七哩五分

鳥取岩美間 十一哩四分

○鐵道院告示第四十七號

明治四十二年十月鐵道院告示第五十四號國有鐵道線路名稱中播但線ノ次ニ宇野線(岡山宇野間)ヲ追加ス

明治四十三年六月九日

鐵道院總裁 男爵後藤新平

○鐵道院告示第四十八號

明治四十三年六月十二日ヨリ宇野線岡山宇野間鐵道運輸營業ヲ開始ス其哩程左ノ通

明治四十三年六月九日

鐵道院總裁 男爵後藤新平

明治四十三年六月 告示 內閣第四號 第五號 鐵道院第四十六號 第四十七號 第四十八號

一三三

哩程

岡山 鹿田間	零哩九分	早島 茶屋町間	一哩九分	由加 八波間	二哩四分
鹿田 妹尾間	四哩二分	茶屋町 味野間	二哩零分	八波 宇野間	三哩九分
妹尾 早島間	二哩二分	味野 白加間	二哩九分		

○鐵道院告示第四十九號
本月十二日ヨリ宇野高松間ノ連絡運航ヲ開始シ同時ニ尾道多度津間及岡山高松間ノ連絡運航ヲ廢止ス

鐵道院總裁 男爵後藤新平

明治四十三年六月九日

○鐵道院告示第五十號

宇野高松間、宇野土庄間、土庄高松間當院連絡船運航開始當日ヨリ該區間ニ於テ一般運輸營業ヲ開始ス營業哩程賃金其他左ノ通

但右開始ト同時ニ尾道多度津間及岡山高松間汽船ノ運輸營業ヲ廢止ス
鐵道院總裁 男爵後藤新平

明治四十三年六月九日

一營業哩程
宇野高松間 十五哩 宇野土庄間 十五哩 土庄高松間 十五哩
一旅客賃金

區間	等級		
	一等	二等	三等
宇野高松間	金八拾錢	金五拾錢	金參拾錢
宇野土庄間	金八拾錢	金五拾錢	金參拾錢
土庄高松間	金八拾錢	金五拾錢	金參拾錢

一手小荷物賃金

明治三十七年十一月十二 遞信省告示第四百八十八號ヲ準用ス

一大貨物ノ等級ハ明治三十四年十一月一遞信省告示第三十七號取扱方其他ハ一般ノ規定ヲ準用ス
一大貨物賃金及料金

甲 一、二、三高級品及斤又ハ噸ニ依リ計算スル級外品ノ運賃

斤ニ依リ計算スルモノ 百斤ニ付 金拾錢

噸ニ依リ計算スルモノ 一噸ニ付 金壹圓貳拾錢

右ノ外發著手數料ヲ徴收セス

乙 斤又ハ噸ニ依リ計算セザル級外品運賃及發著手數料明治三十四年十一月一遞信省告示第三十七號ヲ準用ス但運賃ヲ十五哩ニ相當スルモノヲ徴收ス

丙 一個ノ重量五百斤以上ノ貨物ニハ右運賃ニ左ノ割増ヲ爲ス

五百斤以上ノモノ 二割

七百斤以上ノモノ 四割

丁 運賃料金ノ計算方、速達便扱貨物運賃、増賃金、保管料及留置料ハ明治三十四年十一月一遞信省告示第三十七號及同年六月六遞信省告示第二百五十二號ヲ準用ス

一取扱フヘキ大貨物及連絡驛ニハ制限ヲ付スルコトアルヘシ

一土庄ニ於ケル營業所ハ當院土庄荷取扱店トス

○鐵道院告示第五十一號

明治四十三年六月十二日ヨリ左ノ通驛支所ヲ設ケ大小荷物ノ受付ヲ爲ス

但取扱荷物ノ種類、取扱時間及支所ト停車場間ノ大貨物集貨料金ハ停車場及支所内ニ揭示ス

明治四十三年六月九日

鐵道院總裁 男爵後藤新平

名 稱 岡山驛支所

位 置 岡山縣岡山市船着町

○鐵道院告示第五十二號
 明治四十二年十月鐵道院告示第五十四號國有鐵道線路名稱中山陰本線(鳥取支道間)ヲ山陰本線(岩美莊原間)ニ改ム
 鐵道院總裁 男爵後藤新平

○鐵道院告示第五十三號
 明治四十三年六月二十五日限リ韓國京釜本線増着停車場ヲ閉鎖ス
 鐵道院總裁 男爵後藤新平

○鐵道院告示第五十四號
 明治四十三年七月一日ヨリ韓國馬山線昌原馬山間ニ舊馬山停車場ヲ設置シ一般運輸營業ヲ開始シ同時ニ馬山線ノ哩程ヲ左ノ通改正ス
 鐵道院總裁 男爵後藤新平

明治四十三年六月十一日
 三浪津洛東江間 一哩二分 通永昌原間 八哩四分 釜馬山馬山間 一哩六分
 洛東江進永間 九哩八分 昌原舊馬山間 三哩八分

○鐵道院告示第五十五號
 明治四十三年六月二十日迄トス
 鐵道院總裁 男爵後藤新平

○鐵道院告示第五十六號
 明治四十三年六月二十五日ヨリ東海道本線鳥森有樂町間電車ニ據ル旅客ノ取扱ヲ開始ス但手荷物ハ之ヲ取扱ハス
 旅客取扱區間ハ關係停車場ニ揭示ス

鳥森有樂町間哩程左ノ通

明治四十三年六月二十日

鐵道院總裁 男爵後藤新平

哩程

鳥森有樂町間 零哩七分

○鐵道院告示第五十七號

明治四十一年十月鐵道院告示第四號鐵道管理局內各事務所ノ名稱位置及所管區域中韓國鐵道管理局內鳴鶴江建設事務所ノ次ニ左ノ通追加ス

明治四十三年六月二十日

鐵道院總裁 男爵後藤新平

名	稱	位	置	所	管	區	域
龍山建設事務所	龍山	龍山元山間					
大田建設事務所	大田	大田木浦間及群山支線					

○鐵道院告示第五十八號

明治四十三年六月二十五日ヨリ鹿兒島本線坂本白石間ニ瀬戸石一勝地渡間ニ那良口停車場ヲ設置シ一般運輸營業ヲ開始ス其哩程左ノ如シ
 但シ那良口ハ當分一車積貨物ニ限リ取扱フ

明治四十三年六月二十一日

鐵道院總裁 男爵後藤新平

哩程

坂本瀬戸石間	五哩四分	一勝地那良口間	一哩七分
瀬戸石白石間	六哩三分	那良口渡間	一哩七分

○鐵道院告示第五十九號

明治四十三年六月二十二日ヨリ東海道本線鶴見停車場ニ於テ一般貨物ノ取扱ヲ開始ス
 鐵道院總裁 男爵後藤新平

明治四十三年六月二十二日

鐵道院總裁 男爵後藤新平

○鐵道院告示第六十號
明治四十一年^{十一月}鐵道院告示第四號鐵道管理局內各事務所ノ名稱位置及所管區域中中部鐵道管理局新橋運輸事務所所管區域ノ欄濱松町烏森間ヲ濱松町有樂町間ニ改メ本月二十五日ヨリ之ヲ施行ス
鐵道院總裁 男爵後藤新平

明治四十三年六月二十三日

○鐵道院告示第六十一號

明治四十二年^{十月}鐵道院告示第五十四號國有鐵道線路名稱中東海道本線括弧內烏森ヲ有樂町ニ改メ
鐵道院總裁 男爵後藤新平

明治四十三年六月二十三日

○鐵道院告示第六十二號

明治四十三年七月一日ヨリ山陽本線船木小野田間ニ宇部停車場ヲ設置シ一般運輸營業ヲ開始ス其
鐵道院總裁 男爵後藤新平

明治四十三年六月二十八日

哩程

宇部小野田間 二哩二分

○鐵道院告示第六十三號

明治四十三年七月一日ヨリ讚岐線高松停車場ノ位置ヲ變更シ同年六月三十日限り高松棧橋待合所ヲ廢止ス
鐵道院總裁 男爵後藤新平

明治四十三年六月二十九日

哩程

三哩八分

高松丸番間

○鐵道院告示第六十四號

明治三十四年^{十一月}遞信省告示第三十七號鐵道作業局大貨物運賃手數料及等級表中左ノ通追加シ明治四十三年七月十五日ヨリ施行ス
鐵道院總裁 男爵後藤新平

明治四十三年六月三十日

一大貨物運賃ノ部級外品第三種車輛類中小兒用車ノ次ニ左ノ通追加ス

自動自轉車 一車一哩ニ付 金貳錢五厘

自動自轉車 同 金拾五錢

一同上獲著手數料ノ部級外品第三種車輛類中小兒用車ノ次ニ左ノ通追加ス

自動自轉車 一車ニ付(獲著各) 金貳錢

自動自轉車 同 (同) 金五拾錢

○鐵道院告示第六十五號

明治三十七年^{十一月}遞信省告示第四百八十八號託送手荷物、小荷物、死體、貴重品、小動物ノ運賃、保管料及其取扱手續中左ノ通改正シ明治四十三年七月十五日ヨリ施行ス
鐵道院總裁 男爵後藤新平

明治四十三年六月三十日

一第十二條本文中人力車ノ前ニ「自動自轉車」ヲ追加シ同條記載ノ賃金ヲ左ノ通改正ス

一哩ニ付 最低運賃

馬車 金貳拾錢

自動自轉車 金四圓

人力車 金參錢 金六拾錢

自轉車 金貳錢 金四拾錢
 商品運搬車 金貳錢 金貳拾錢
 小兒車 金貳錢
 一第二十四條第四號中「人力車」ノ前ニ「自動自轉車」ヲ追加ス

○外務省告示第三號
 在莫斯科帝國領事館ヲ帝國總領事館ニ改定セリ
 明治四十三年六月十七日
 外務大臣 伯爵小村壽太郎

○內務省告示第八十六號
 一長思短言 全一册
 右出版物ハ安寧秩序ヲ妨害スルモノト認ムルヲ以テ出版法第十九條ニ依リ明治四十三年六月二日
 發賣頒布禁止及刻版並印本差押ノ處分ヲ爲シタリ
 東京市本郷區本伊東芳次郎 發行
 一丁目九番地

○內務省告示第八十七號
 明治四十三年六月一日京都府下ニ於テ發行スル丹州時報第七百八十八號ハ風俗ヲ害スルモノト
 認ムルヲ以テ新聞紙法第二十三條ニ依リ同年同月四日其發賣及頒布ヲ禁止シ之ヲ差押フ
 內務大臣 法學博士男爵平田東助

○內務省告示第八十八號
 明治四十三年六月五日東京市ニ於テ發行スル東京第七十八號ハ風俗ヲ害スルモノト認ムルヲ以テ
 新聞紙法第二十三條ニ依リ同年同月同日其發賣及頒布ヲ禁止シ之ヲ差押フ
 內務大臣 法學博士男爵平田東助

○內務省告示第八十九號
 郡市ノ區域ニ依ラサル警察署管轄區域表中兵庫縣ノ部ニ豐岡警察署及村岡警察署ヲ加ヘ明治四十
 三年六月十日ヨリ之ヲ施行ス
 明治四十三年六月七日
 內務大臣 法學博士男爵平田東助

署名	管轄區域
豐岡警察署	城崎郡(長井村字久斗山村ヲ除ク)
村岡警察署	美力郡(一圓城崎郡ノ内、長井村字久斗山村)

○內務省告示第九十號
 一婦人繪葉書 一種一枚
 但「東京今川橋青雲堂製」トアルモノ
 右出版物ハ風俗ヲ壞亂スルモノト認ムルヲ以テ出版法第十九條ニ依リ明治四十三年六月七日發賣
 頒布禁止及刻版並印本差押ノ處分ヲ爲シタリ
 發行者未詳

○內務省告示第九十一號
 明治四十三年六月八日
 內務大臣 法學博士男爵平田東助

○內務省告示第九十一號
 郡市ノ區域ニ依ラサル警察署管轄區域表中愛知縣熱田水上警察署ノ部左ノ通り改メ明治四十三年
 六月十五日ヨリ之ヲ施行ス
 明治四十三年六月十一日
 內務大臣 法學博士男爵平田東助

署名	管轄區域
熱田水上警察署	嶺進川、堀川、縣下海上全部

○内務省告示第九十二號
 當省ニ於テ福井縣敦賀港改良工事トシテ突堤築造ノ爲メ金ヶ崎埠頭端ヨリ其西方假設挂燈浮標ニ至ル間一直線ニ干潮面以下約十五尺ノ深迄突堤基礎ノ沈石ニ著手セルヲ以テ附近航通ノ船舶ハ注意スヘシ

明治四十三年六月十七日

内務大臣 法學博士男爵平田東助

○内務省告示第九十三號
 明治四十三年六月二十日東京市ニ於テ發行中學世界增刊學生俱樂部第十三卷第八號ハ風俗ヲ害スルモノト認ムルヲ以テ新聞紙法第二十三條ニ依リ同年同月二十三日其ノ發賣及頒布ヲ禁止シ之ヲ差押フ

明治四十三年六月二十五日

内務大臣 法學博士男爵平田東助

○内務省告示第九十四號
 一未婚者ニ衛生 全一册
 右出版物ハ風俗ヲ壞亂スルモノト認ムルヲ以テ出版法第十九條ニ依リ明治四十三年六月二十四日發賣頒布禁止及刻版並印本差押ノ處分ヲ爲シタリ

明治四十三年六月二十五日

内務大臣 法學博士男爵平田東助

○内務省告示第九十五號
 明治四十三年六月二十八日青森縣下ニ於テ發行スル奥南新報第二百九十二號ハ風俗ヲ害スルモノト認ムルヲ以テ新聞紙法第二十三條ニ依リ同年同月二十九日其ノ發賣及頒布ヲ禁止シ之ヲ差押フ

明治四十三年六月三十日

内務大臣 法學博士男爵平田東助

○大藏省告示第八十二號
 明治四十三年七月一日ヨリ同月三十一日マテ稅關ニ於テ外國貨幣ノ換算ニ適用スル内外貨幣比較表左ノ通之ヲ定ム

但本表所掲ノ外國貨幣ト日本金貨トノ比較ハ從前ノ通

明治四十三年六月一日

大藏大臣 侯爵桂太郎

内外貨幣比較表

外國貨幣	日本金貨	
	上海一兩	天津一兩
清國兩	一	二六〇
暹羅一兩	二二四	—
墨西哥銀	一ドルヲル	八八八
英吉利銀	一ドルヲル	八九〇
香港銀	一ドルヲル	八九〇
英領印度貨	一ルーピー	六五八
暹羅貨	一チカル	七六〇

○大藏省告示第八十三號
 一大日本帝國政府四分利公債證書(第三)見本
 右各國債事務取扱店ニ配置ス

明治四十三年六月六日

大藏大臣 侯爵桂太郎

○大藏省告示第八十四號
東京稅務監督局管内忍稅務署ヲ明治四十三年六月十九日埼玉縣北埼玉郡忍町大字忍七十三番地ニ移ス

明治四十三年六月十四日
大藏大臣 侯爵桂太郎
○大藏省告示第八十五號
大阪稅務監督局管内東稅務署ヲ明治四十三年六月二十日大阪市東區北新町一丁目^四地ニ移ス
大藏大臣 侯爵桂太郎

明治四十三年六月十六日
○大藏省告示第八十六號
本年^二大藏省令第三號本年^三同第七號及本年^五同第二十三號ニ依リ發行スル國債ノ内本年五月
中甲種國債登錄簿ニ登錄シ及日本銀行ニ交付シタル國債證券ノ額面高左ノ如シ
大藏大臣 侯爵桂太郎
明治四十三年六月十七日

明治四十三年發行
一第一回四分利公債額面四千三百貳拾四萬五千圓
一第二回四分利公債額面千六百六拾萬四千六百圓

○大藏省告示第八十七號
明治三十九年^六大藏省告示第七百三十六號國債事務取扱店ノ位置及名稱中廣島出張所所屬江田島
派出所ノ位置ヲ廣島縣安藝郡江田島村字久保道リニ變更ス
大藏大臣 侯爵桂太郎
明治四十三年六月二十三日

○大藏省告示第八十八號
一 大藏省證券額面貳千貳拾萬圓

但大藏省證券條例ニ依ル分
仕拂期日 明治四十三年九月二十二日
一 大藏省證券額面六百八拾萬圓
但明治三十八年^二法律第十七號ニ依ル分
仕拂期日 明治四十三年九月二十二日
右割引ノ方法ヲ以テ本月二十五日之ヲ發行セリ
大藏大臣 侯爵桂太郎
明治四十三年六月二十七日

○大藏省告示第八十九號
京都稅務監督局管内小濱稅務署ヲ明治四十三年七月一日福井縣遠敷郡小濱町津島百十番地ニ移ス
大藏大臣 侯爵桂太郎
明治四十三年六月二十八日

○大藏省告示第九十號
明治三十九年^六大藏省告示第七百二十八號國債ノ種別及國債證券ノ名稱中左ノ通改正ス
大藏大臣 侯爵桂太郎
明治四十三年六月二十九日
一 五分利公債備考中「及」ヲ削リ「國庫債券整理規程」ノ下ニ「及同四十三年大藏省令第二十一號沖繩
縣諸祿公債規程」ヲ加フ

○陸軍省告示第十六號
日本赤十字社條例第五條ニ依リ左記日本赤十字社救護員服制ヲ認可セリ
陸軍大臣 子爵寺內正毅
海軍大臣 男爵齋藤實
明治四十三年六月二十七日

日本赤十字社救護員服制
一 男救護員服制圖例

形	製	地	鈕	帽				名	職
				形	製	地	鈕		
圓ノ如シ	長袖ノ附著ス 胸ノ上端ヨリ下ルコト六寸 袖ノ長 胸ノ上端ヨリ袖ノ全周ニ縫 寸法位置圖ニ示ス	茶褐絨 深緑絨	銀色金屬	圓ノ如シ	黒綵革 黒綵革 黒綵革 黒綵革	黒綵革 黒綵革 黒綵革 黒綵革	救護員 救護員 救護員 救護員	救護員 救護員 救護員 救護員	
圓ノ如シ	長袖ノ附著ス 胸ノ上端ヨリ下ルコト六寸 袖ノ長 胸ノ上端ヨリ袖ノ全周ニ縫 寸法位置圖ニ示ス	茶褐絨 深緑絨	銀色金屬	圓ノ如シ	黒綵革 黒綵革 黒綵革 黒綵革	黒綵革 黒綵革 黒綵革 黒綵革	救護員 救護員 救護員 救護員	救護員 救護員 救護員 救護員	

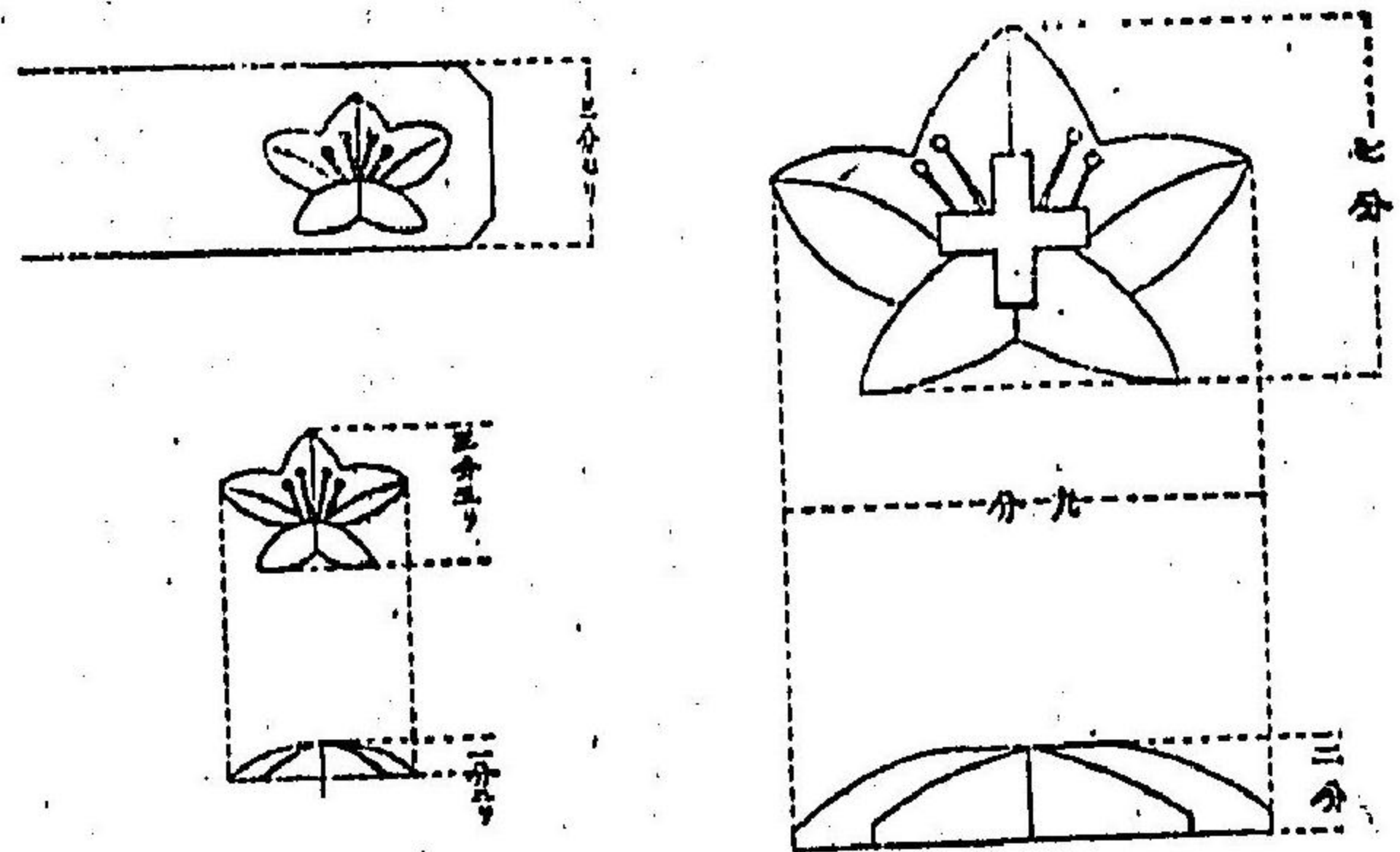
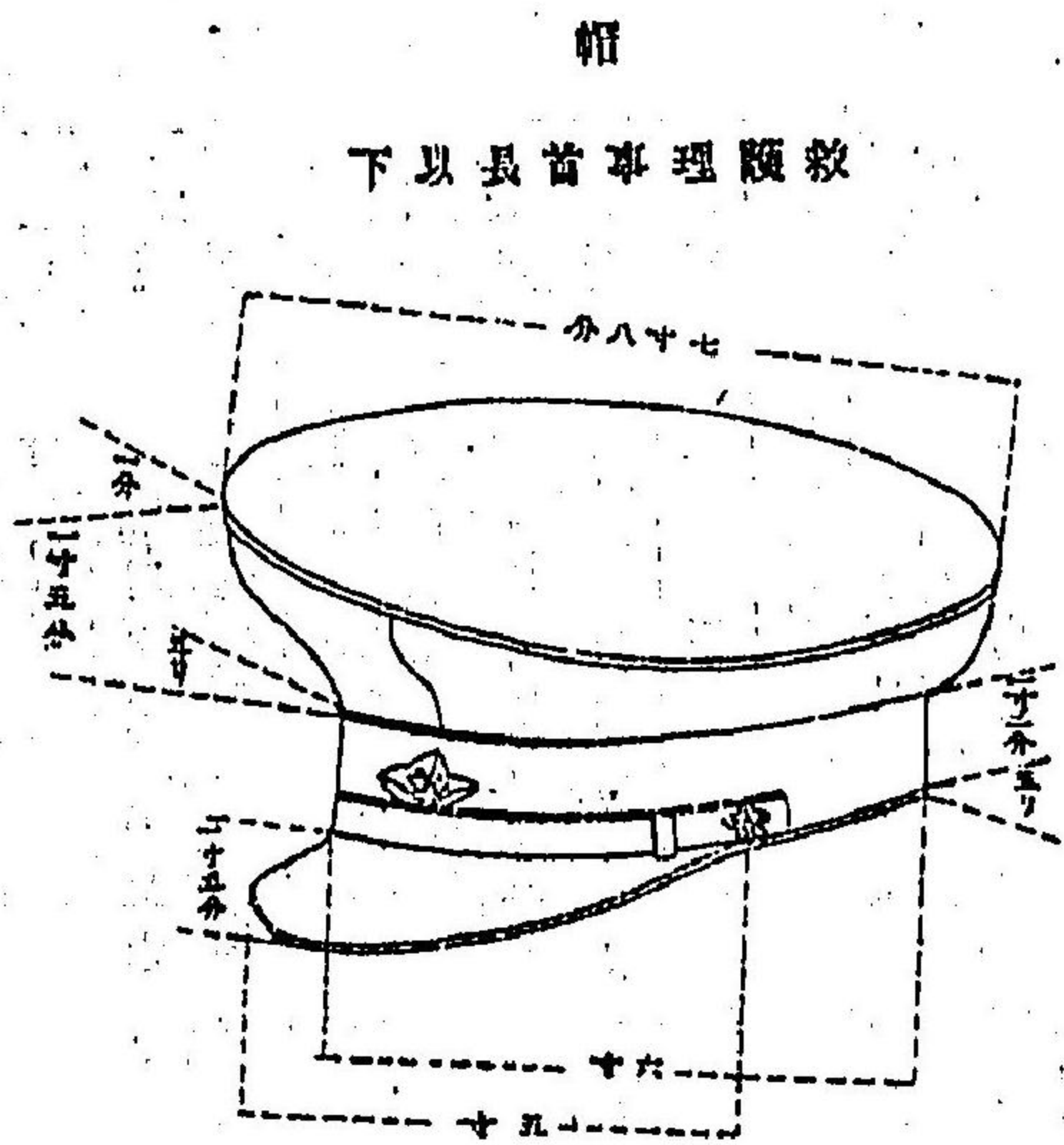
形	製	地	鈕	袴				名	職
				形	製	地	鈕		
圓ノ如シ	長袖ノ附著ス 胸ノ上端ヨリ下ルコト六寸 袖ノ長 胸ノ上端ヨリ袖ノ全周ニ縫 寸法位置圖ニ示ス	茶褐絨 深緑絨	銀色金屬	圓ノ如シ	黒綵革 黒綵革 黒綵革 黒綵革	黒綵革 黒綵革 黒綵革 黒綵革	救護員 救護員 救護員 救護員	救護員 救護員 救護員 救護員	
圓ノ如シ	長袖ノ附著ス 胸ノ上端ヨリ下ルコト六寸 袖ノ長 胸ノ上端ヨリ袖ノ全周ニ縫 寸法位置圖ニ示ス	茶褐絨 深緑絨	銀色金屬	圓ノ如シ	黒綵革 黒綵革 黒綵革 黒綵革	黒綵革 黒綵革 黒綵革 黒綵革	救護員 救護員 救護員 救護員	救護員 救護員 救護員 救護員	

桐花章		線章		桐花章		肩章		領章	
形	式	形	式	形	式	形	式	形	式
桐花章	銀色ノ金屬ニシテ救護理事官長ハ三箇、 救護理事員、救護副官長、救護醫長ハ二 箇、救護理水、救護醫員以下ハ一箇	線章	救護理事官長ハ、 救護理事員、救護醫長、 救護副官長、救護醫員 以下ハ	桐花章	金色金屬一箇	肩章	救護理事官長ハ、 救護理事員、救護副官長、 救護醫長、救護醫員 以下ハ	領章	救護理事官長ハ、 救護理事員、救護副官長、 救護醫長、救護醫員 以下ハ
桐花章ヲ附セス		上ニ同シ		上ニ同シ		上ニ同シ		上ニ同シ	

二 女救護員制服圖例

名		袴		衣		袴		靴	
形	式	形	式	形	式	形	式	形	式
名稱/職名	救護看護婦監督及救護看護婦長、救護看護婦	袴	前 地 質 徑二分五厘ノ赤色十字ヲ附ス	衣	前 地 質 黒煉地徑四分五厘	袴	前 地 質 黒煉地徑四分五厘	靴	前 地 質 黒煉地徑四分五厘
形	圓ノ如シ	形	圓ノ如シ	形	圓ノ如シ	形	圓ノ如シ	形	圓ノ如シ
式	前金具 字ヲ形ス	式	前金具 字ヲ形ス	式	前金具 字ヲ形ス	式	前金具 字ヲ形ス	式	前金具 字ヲ形ス
狀	圖ノ如シ	狀	圖ノ如シ	狀	圖ノ如シ	狀	圖ノ如シ	狀	圖ノ如シ

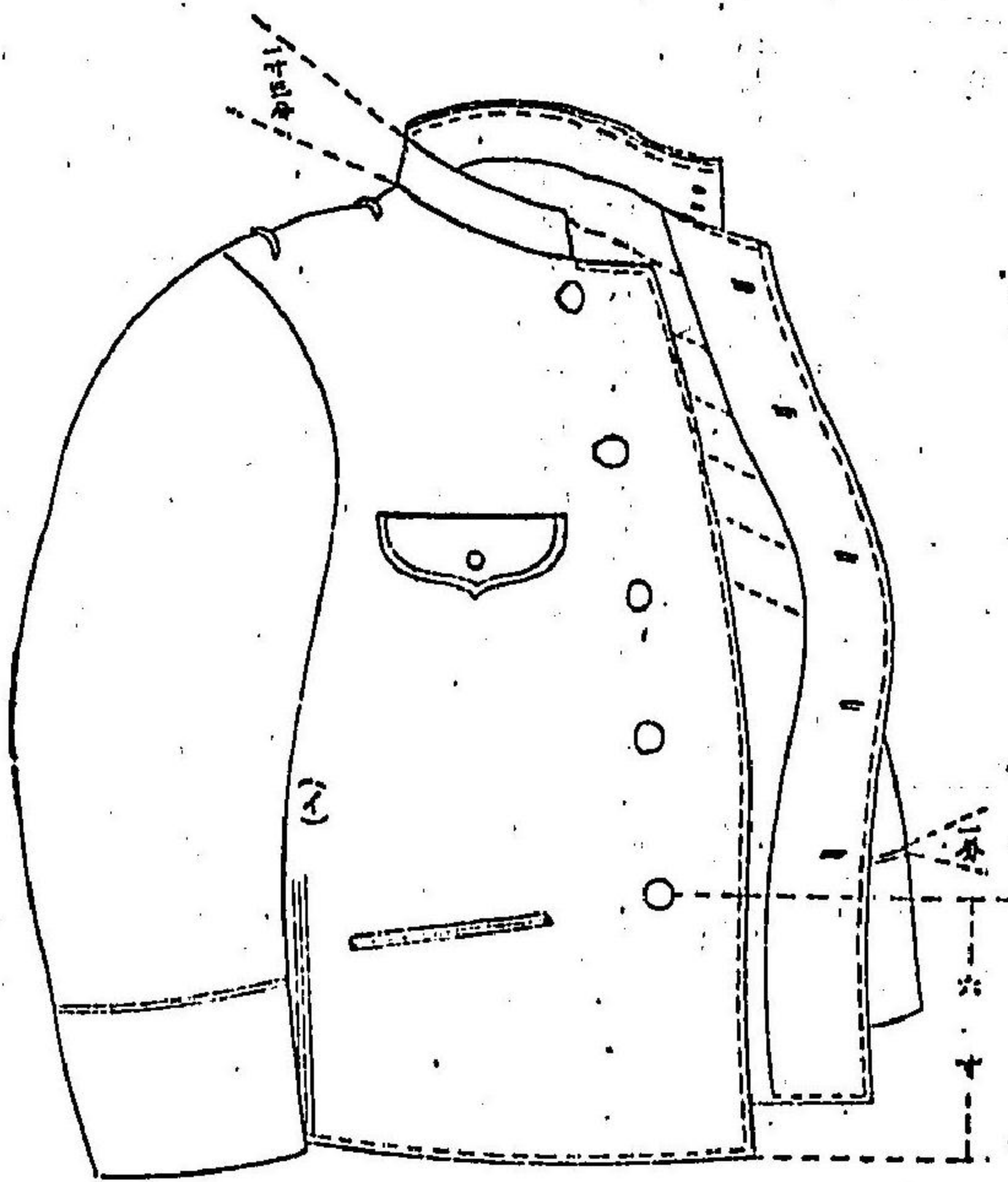
一 男救護員服制圖

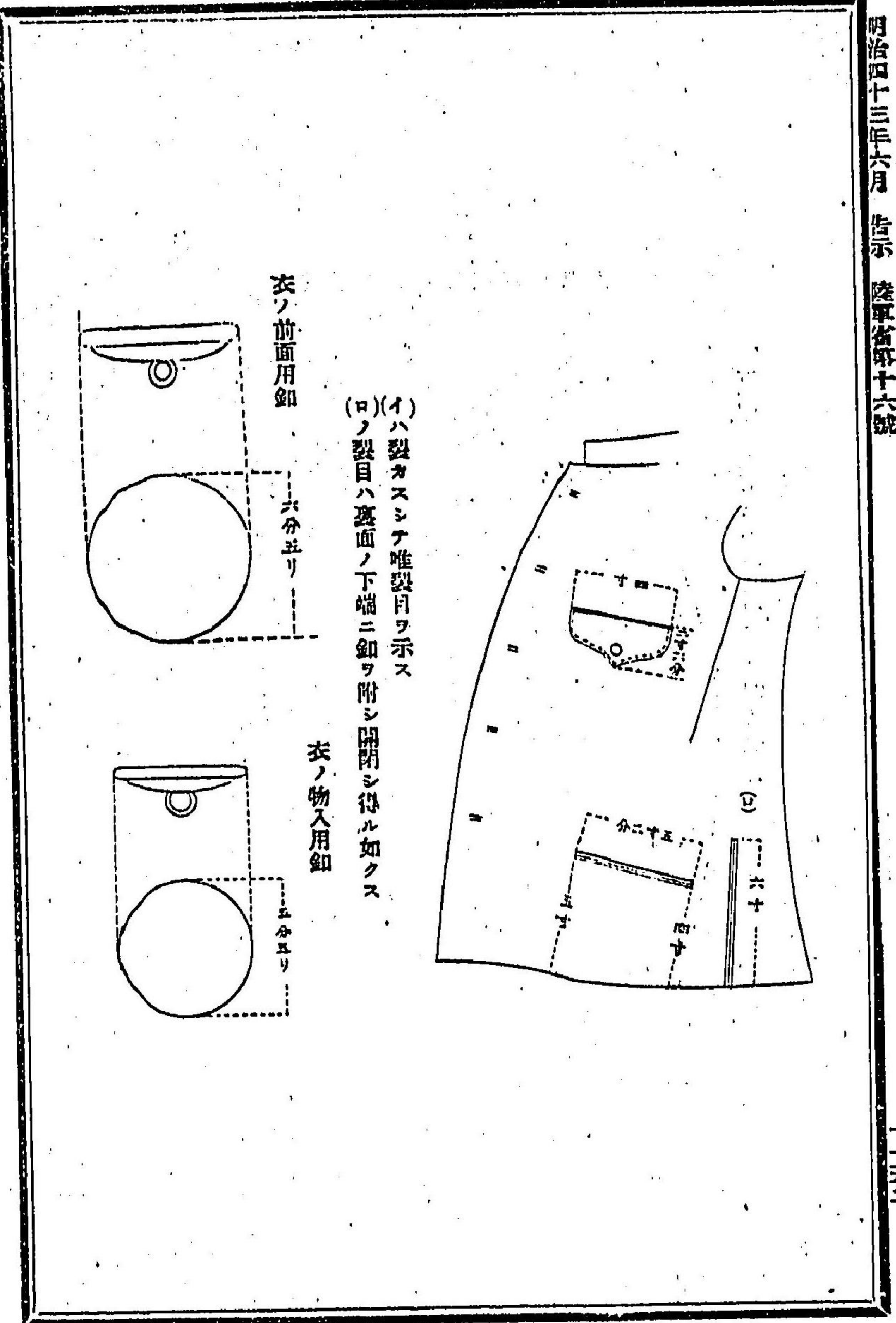
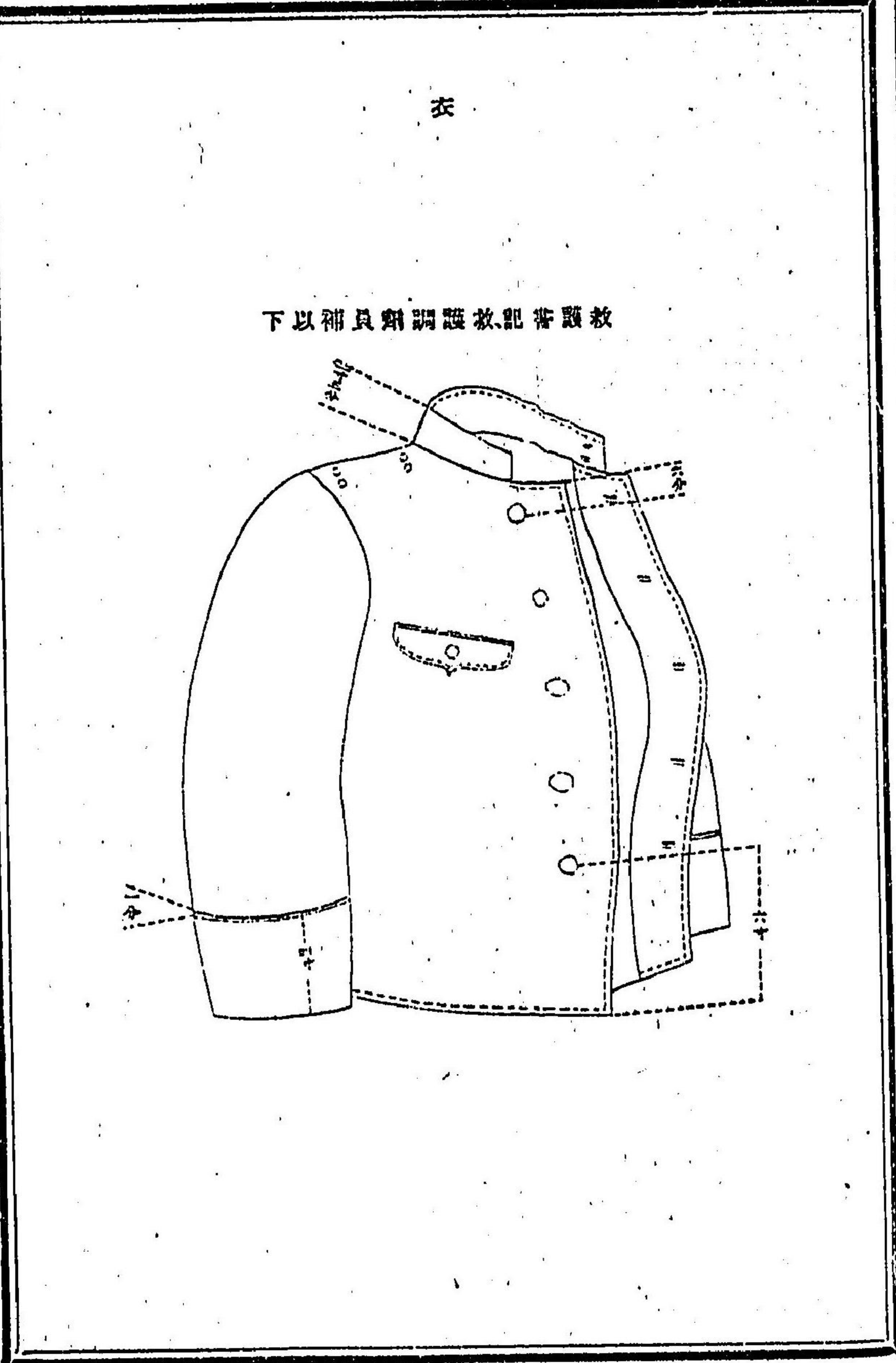


衣

上以長刺綳股救事理副國教

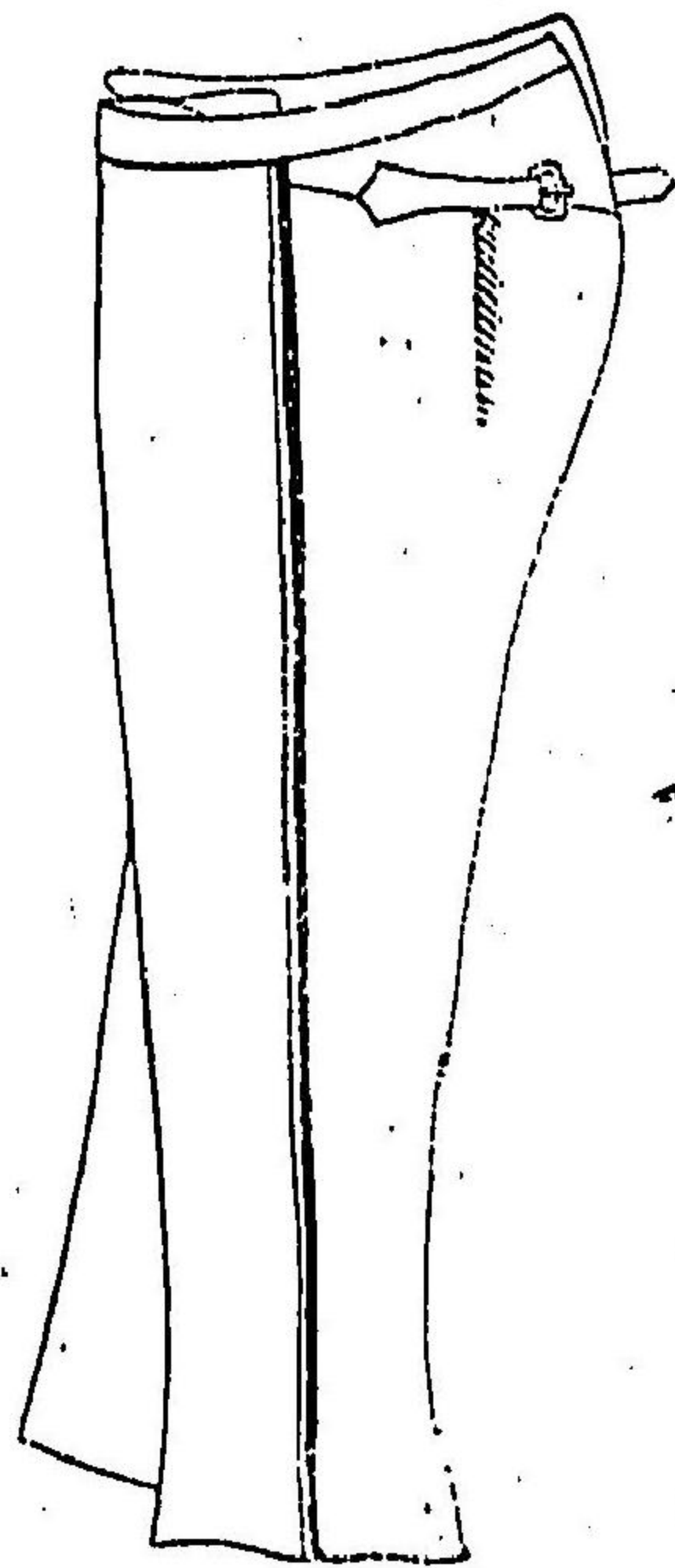
下部ノ物入レニハ蓋ヲ附スルモ鈕ヲ附セス



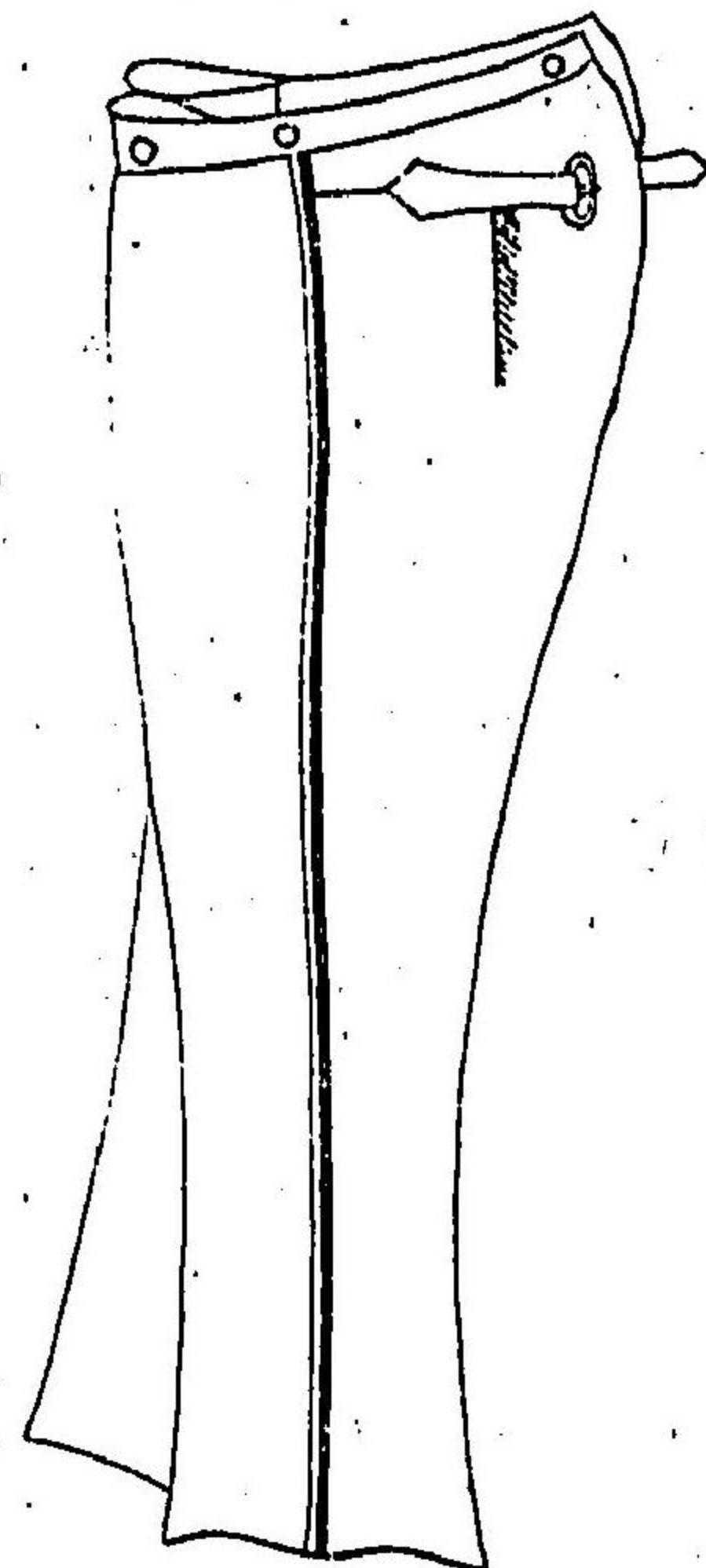


袴

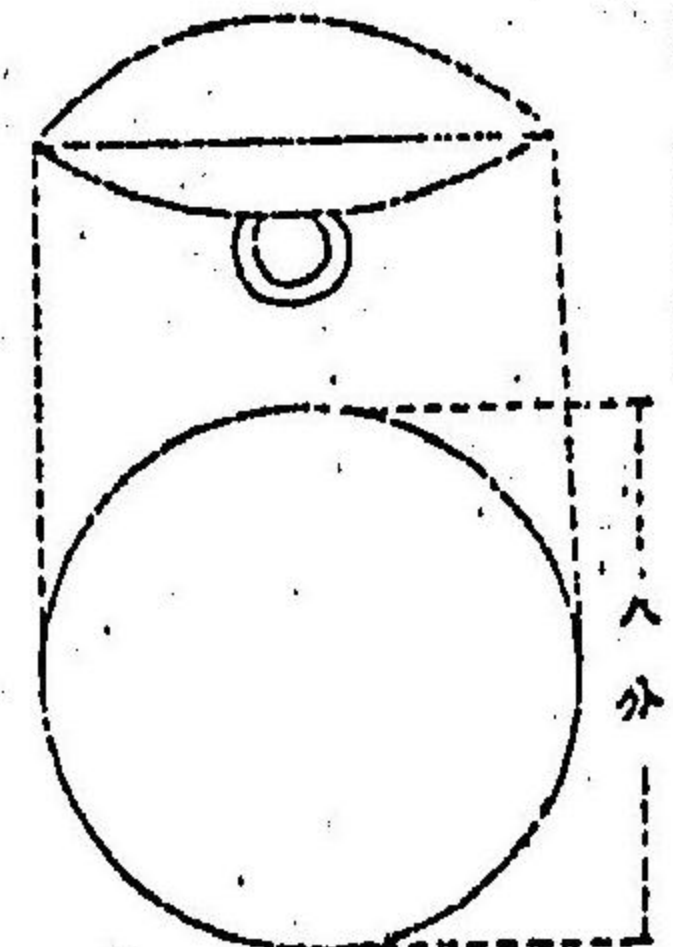
下以裨員刺調護救、記番護救



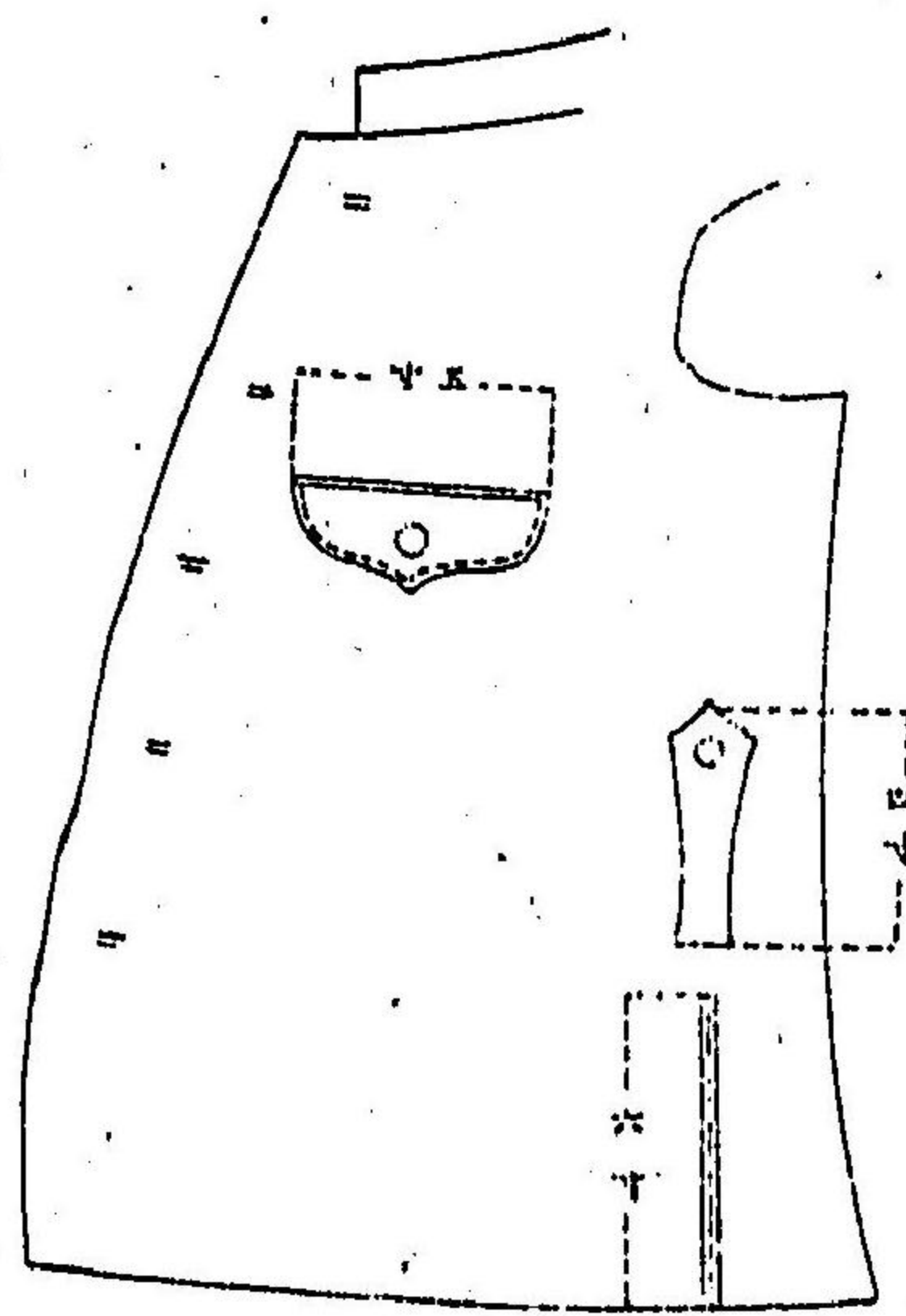
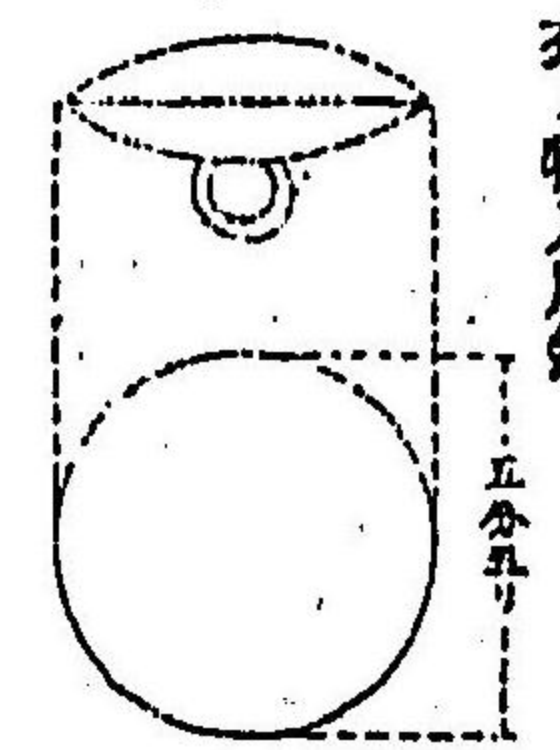
上以員刺調護救、事理副護救

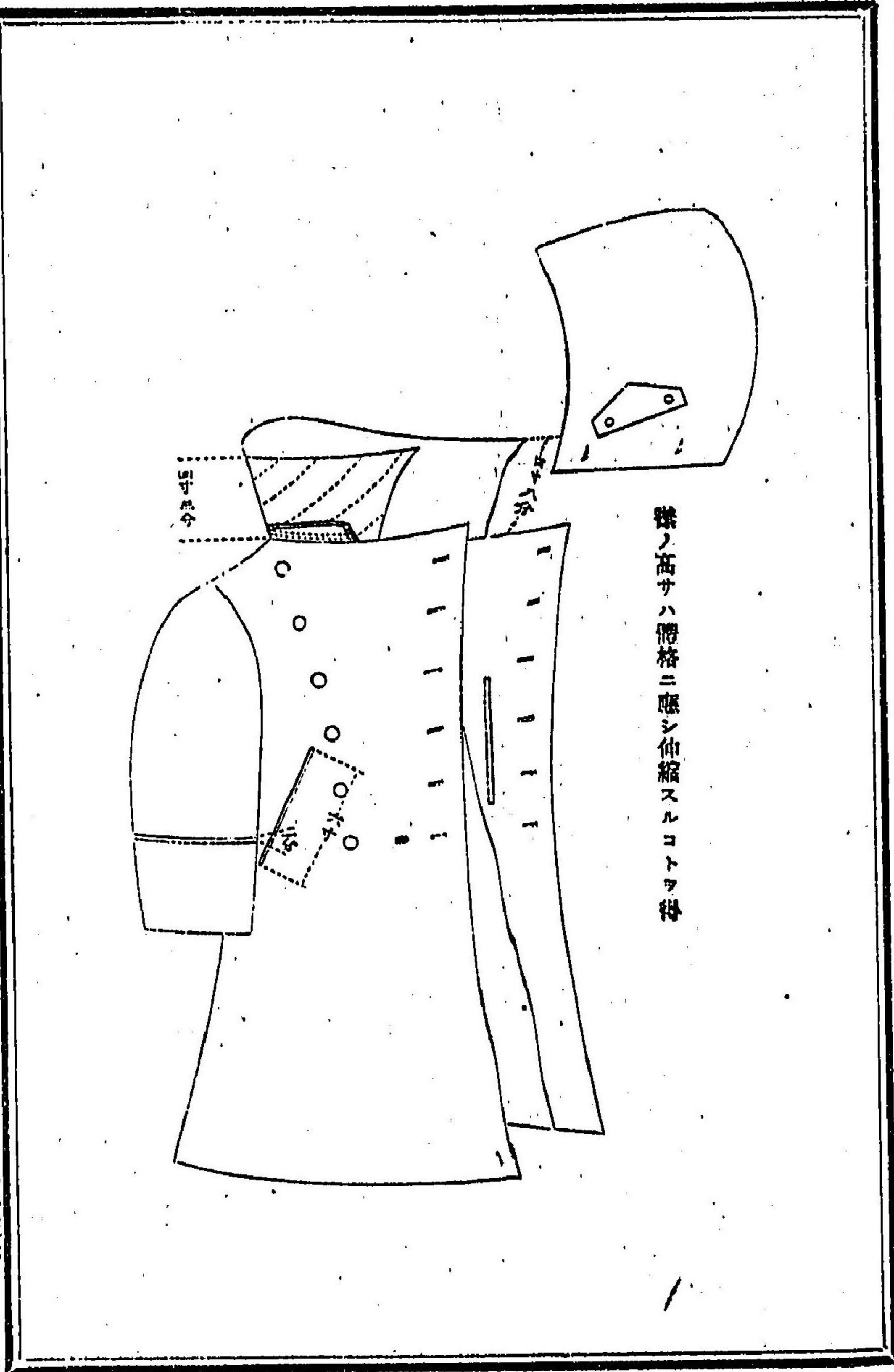


衣ノ前用鈕



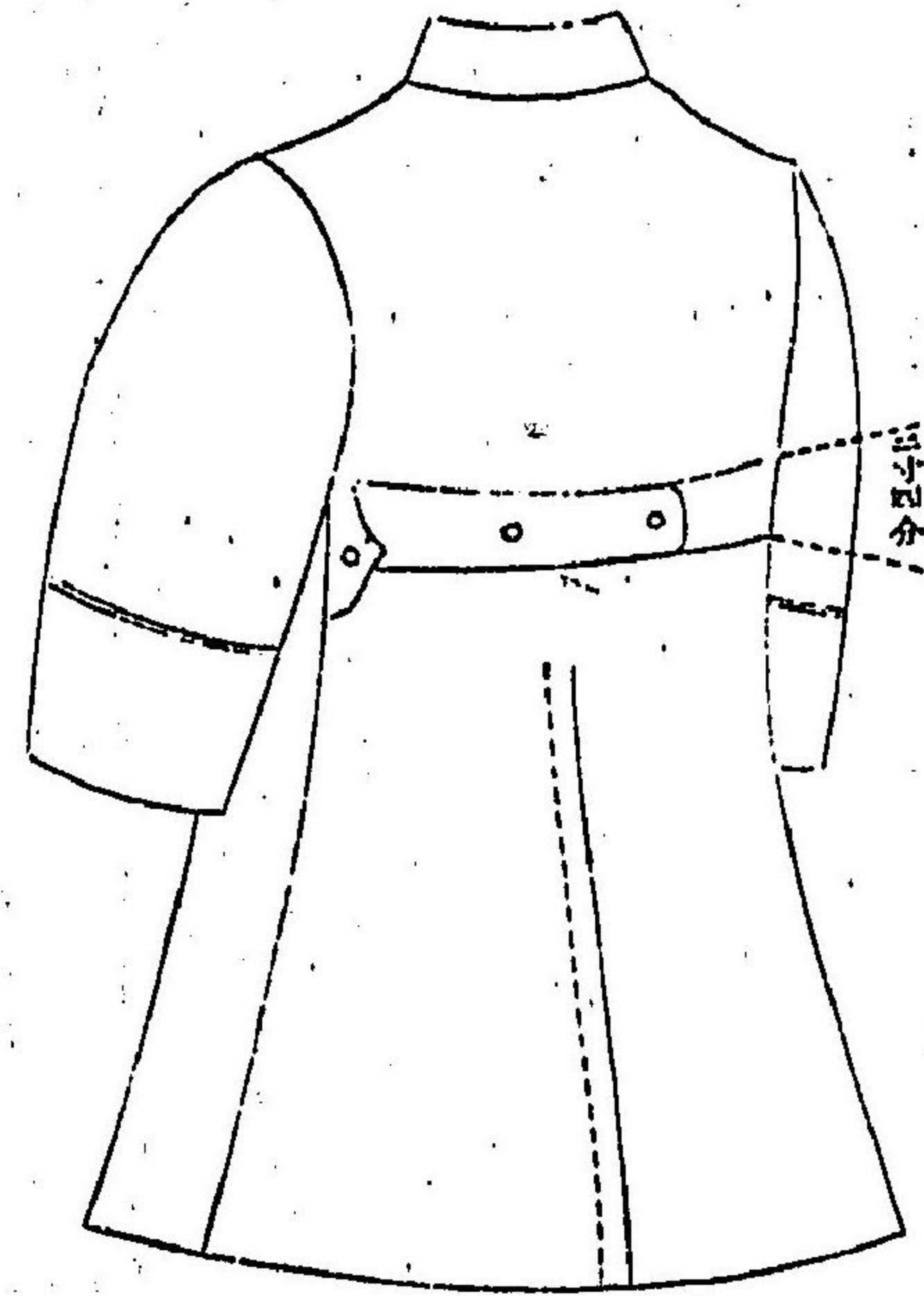
衣ノ物入用鈕





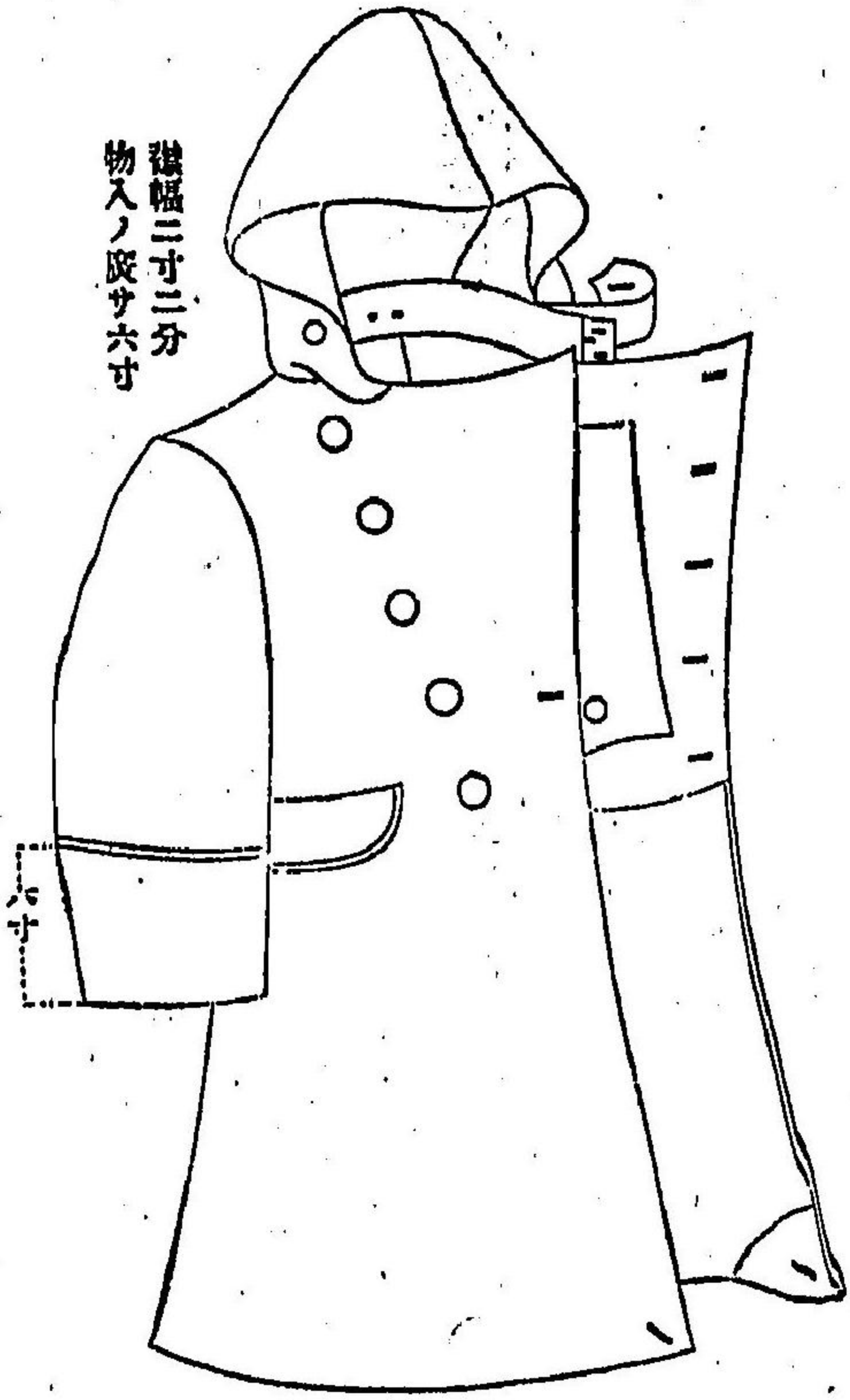
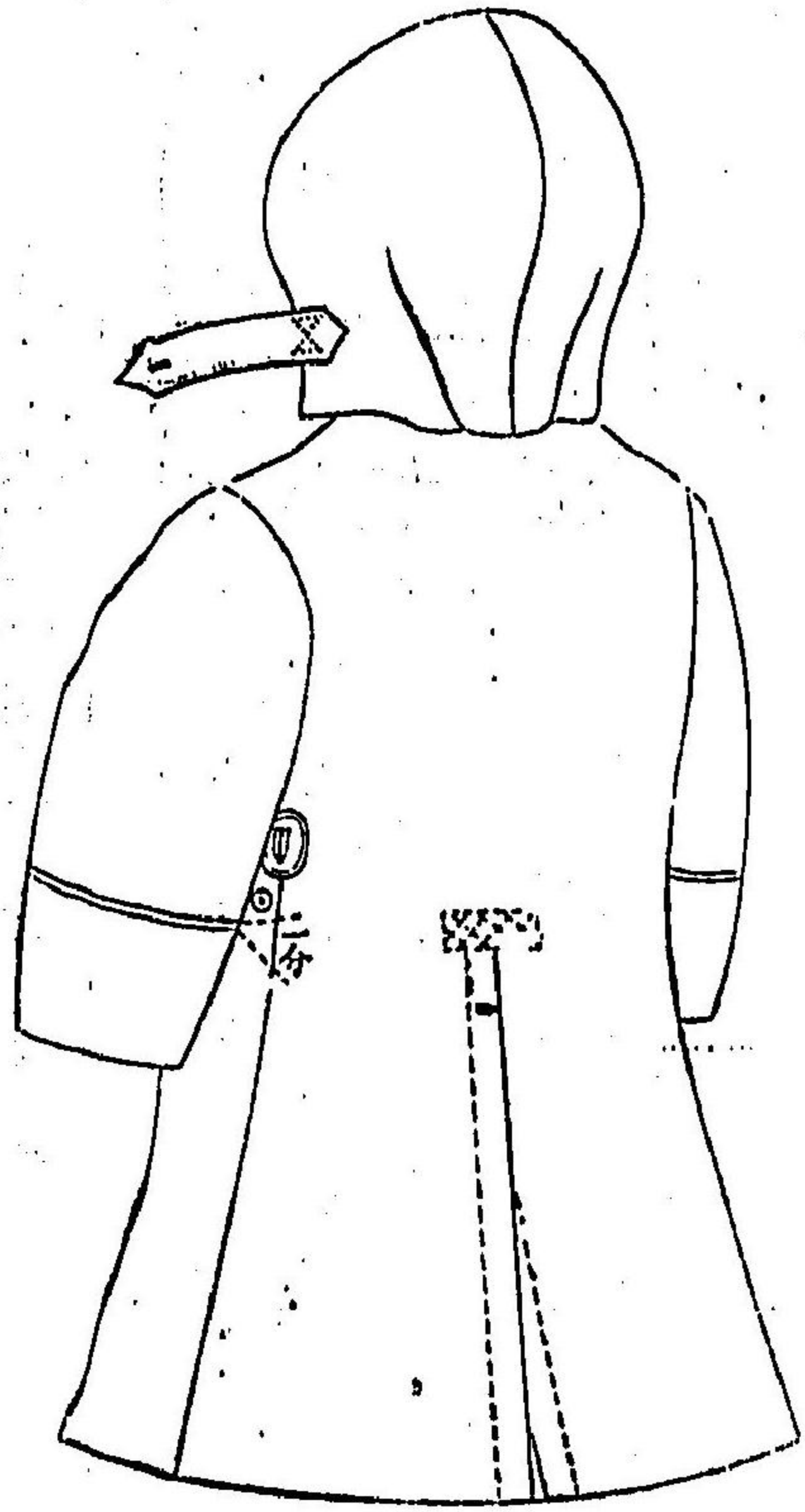
外 姿

上以良刺調履紋、本理副履紋



外 姿

救護調劑員以下

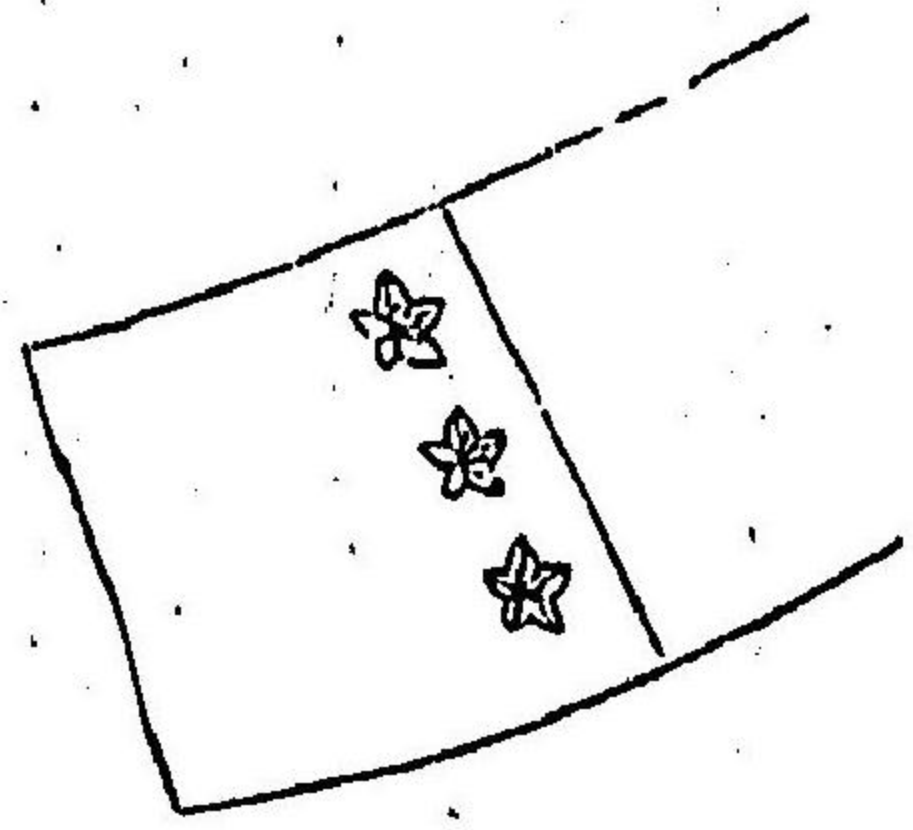


襟幅二寸二分
物入ノ廣サ六寸

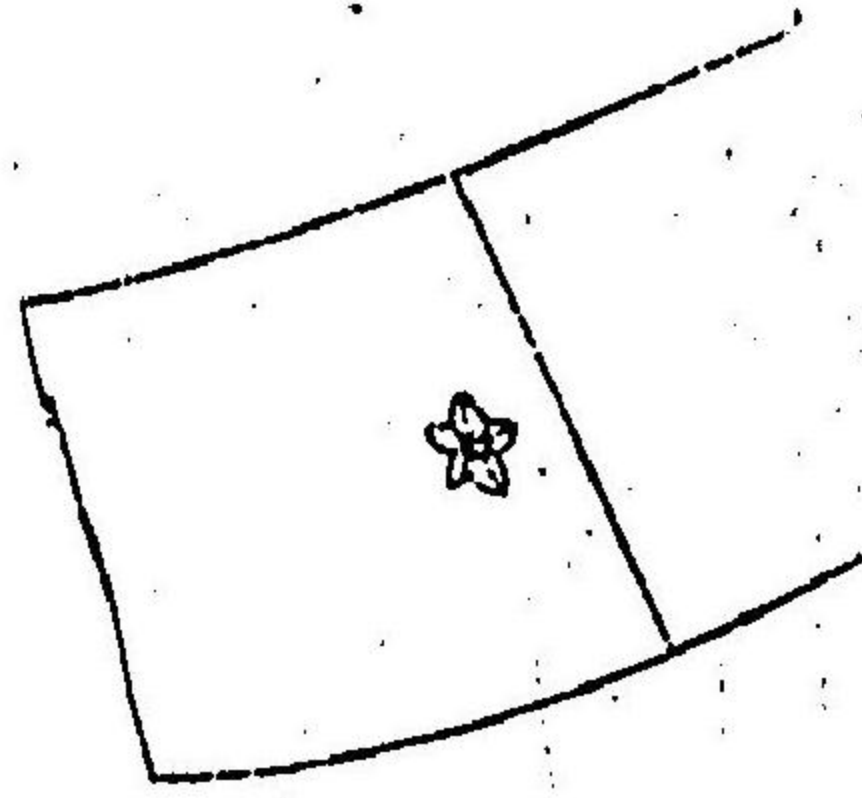
帽ノ裏衣、袴、外套ノ左側(胸)ノ裏面ニ圓位及職氏名ヲ記入スル爲長三寸幅一寸ノ白布ヲ縫着ス

卒 袖

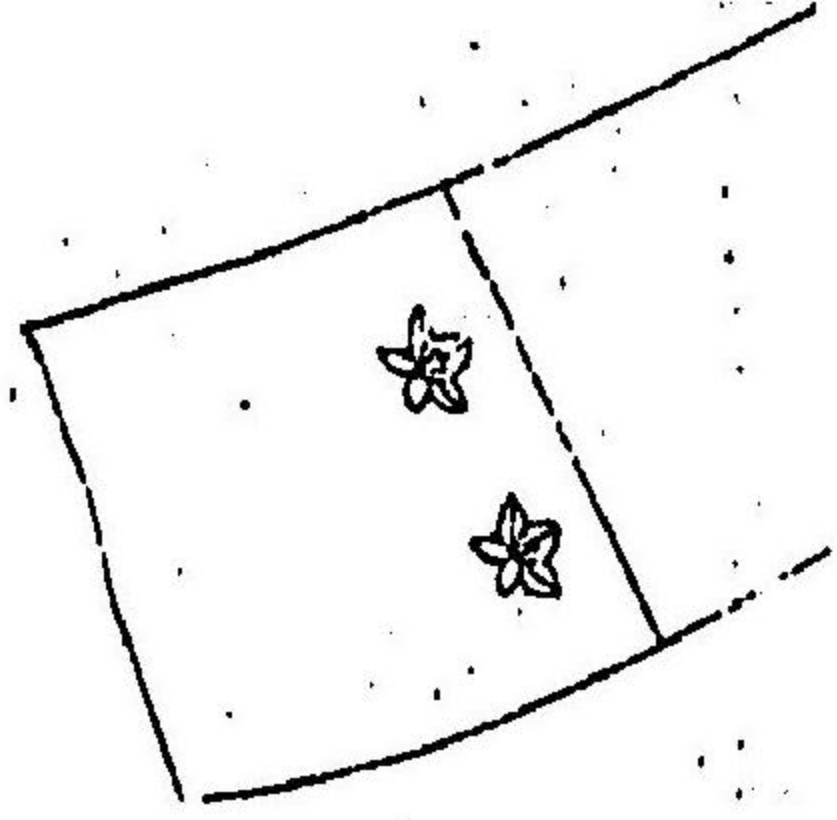
救護理事官長



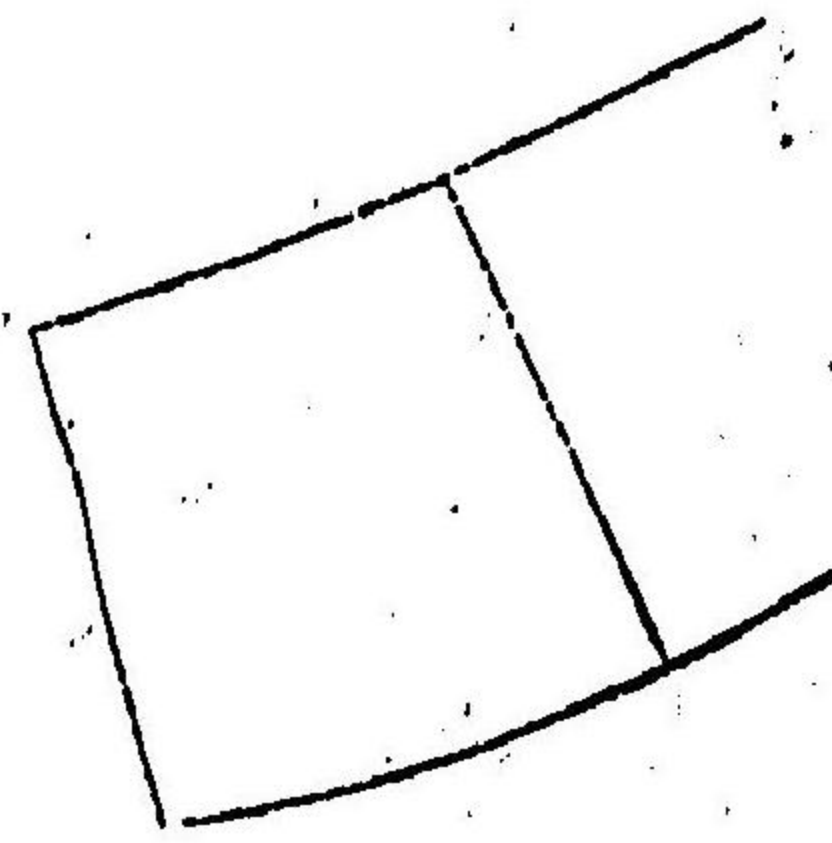
救護副理事官以上



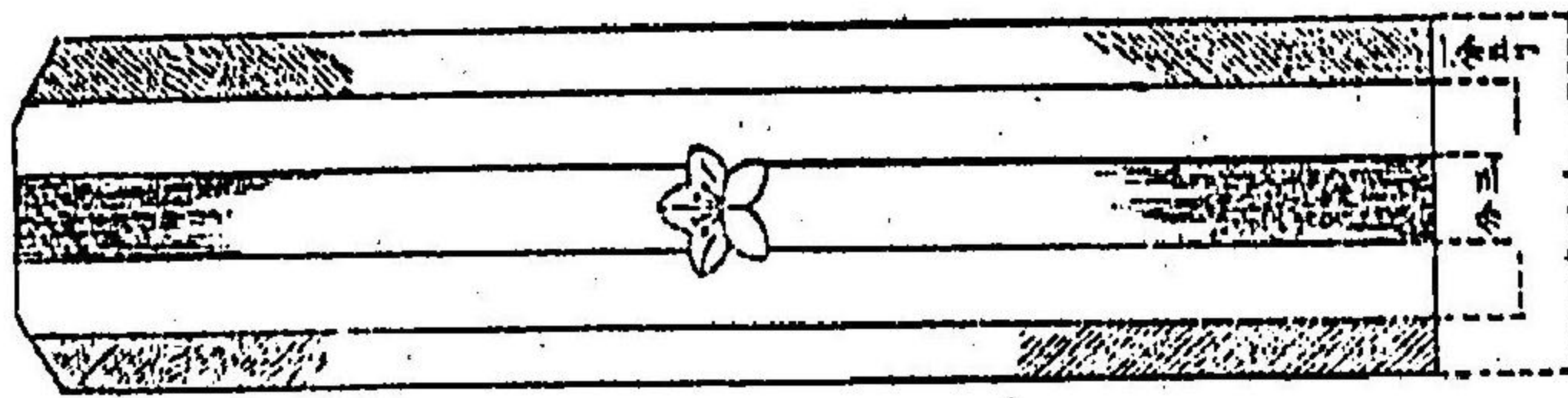
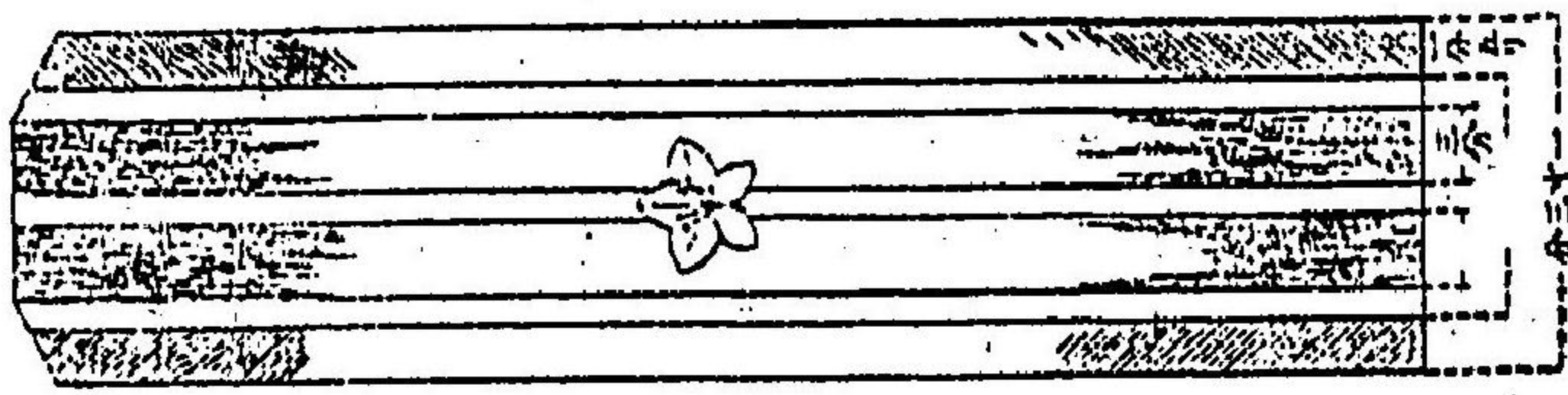
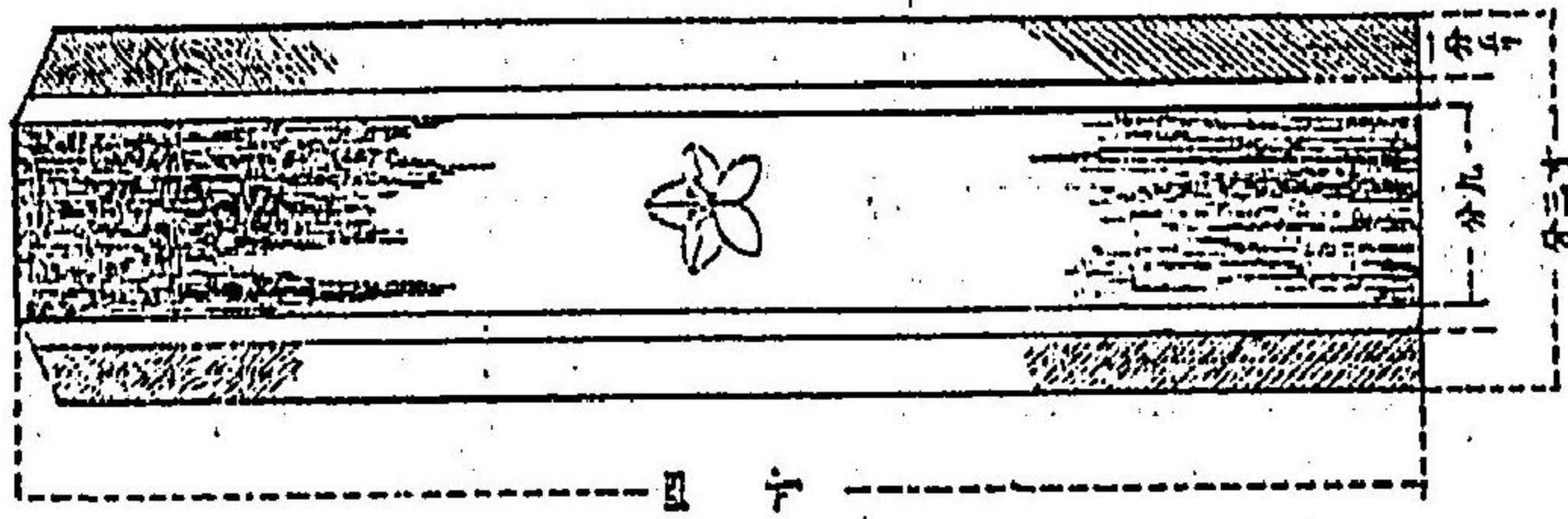
救護理事官長
救護副理事官長
救護醫官長



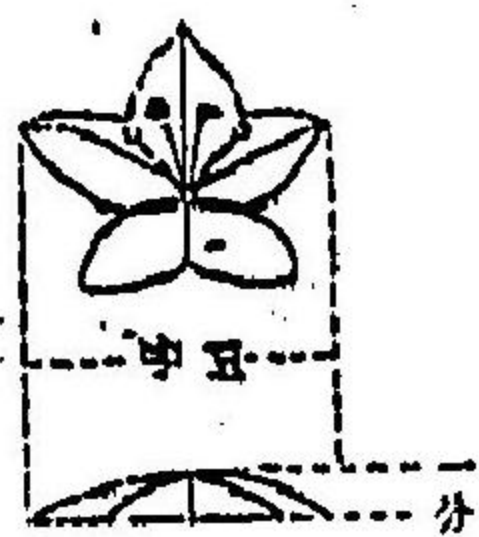
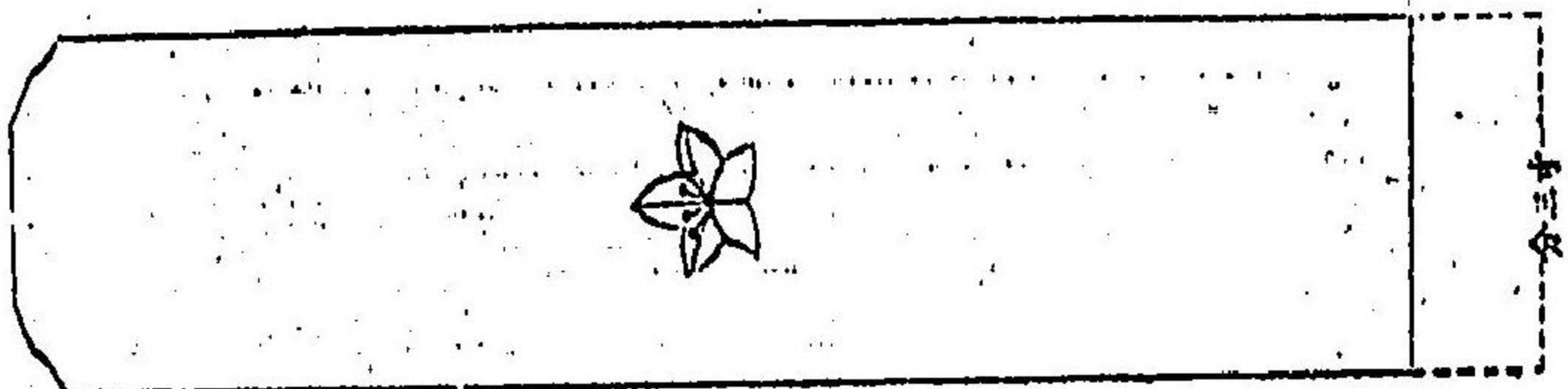
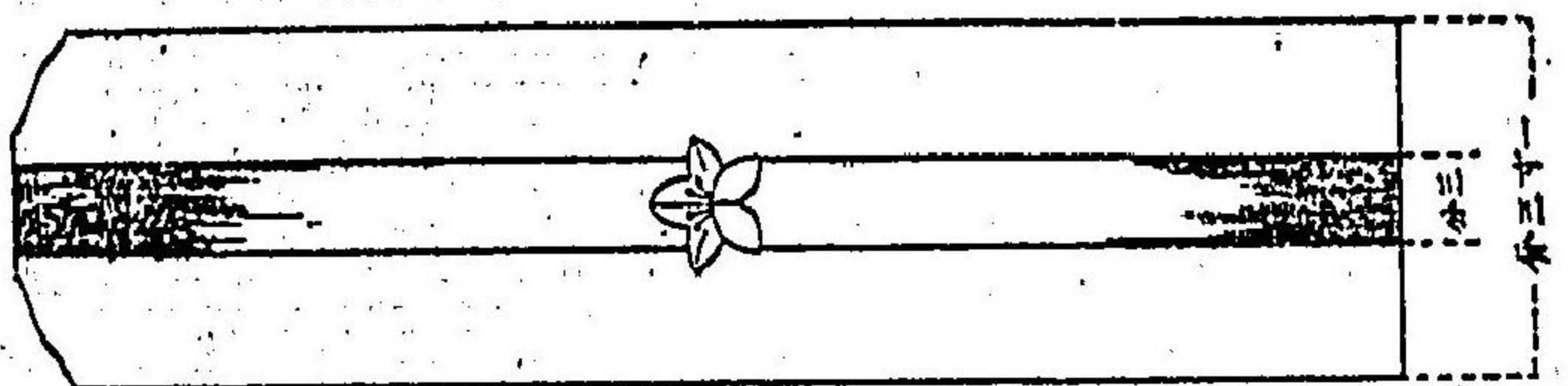
救護隊長以上



卒 肩

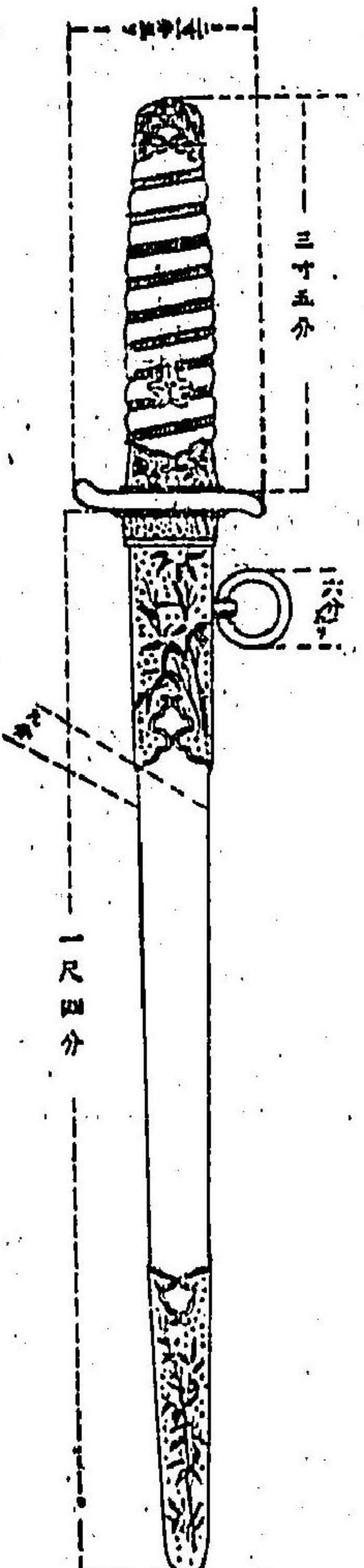


草 用

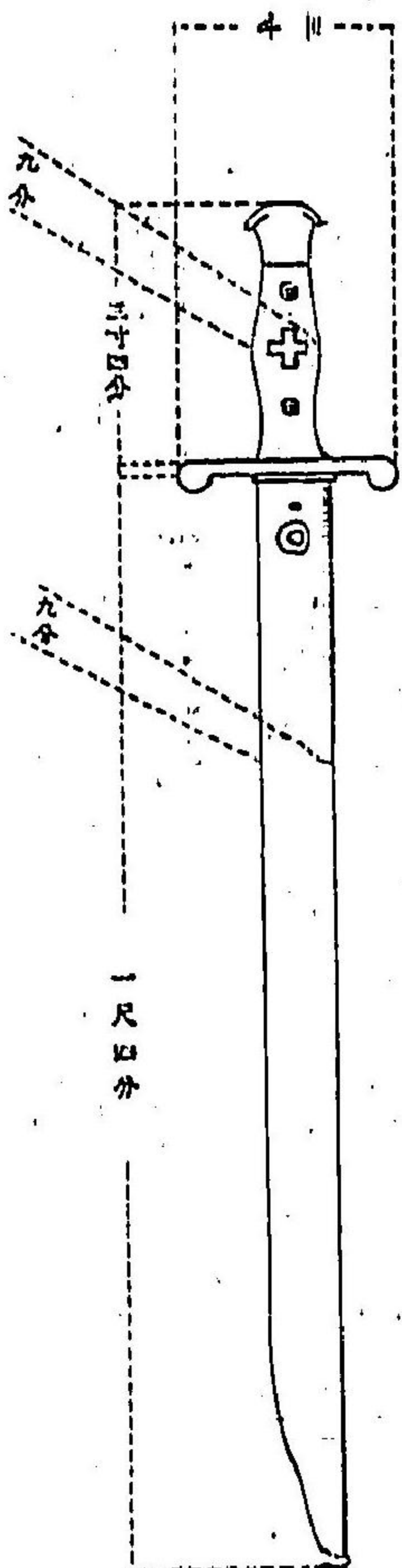


圖

上 以 貝 屑 調 護 效 事 理 副 護 效

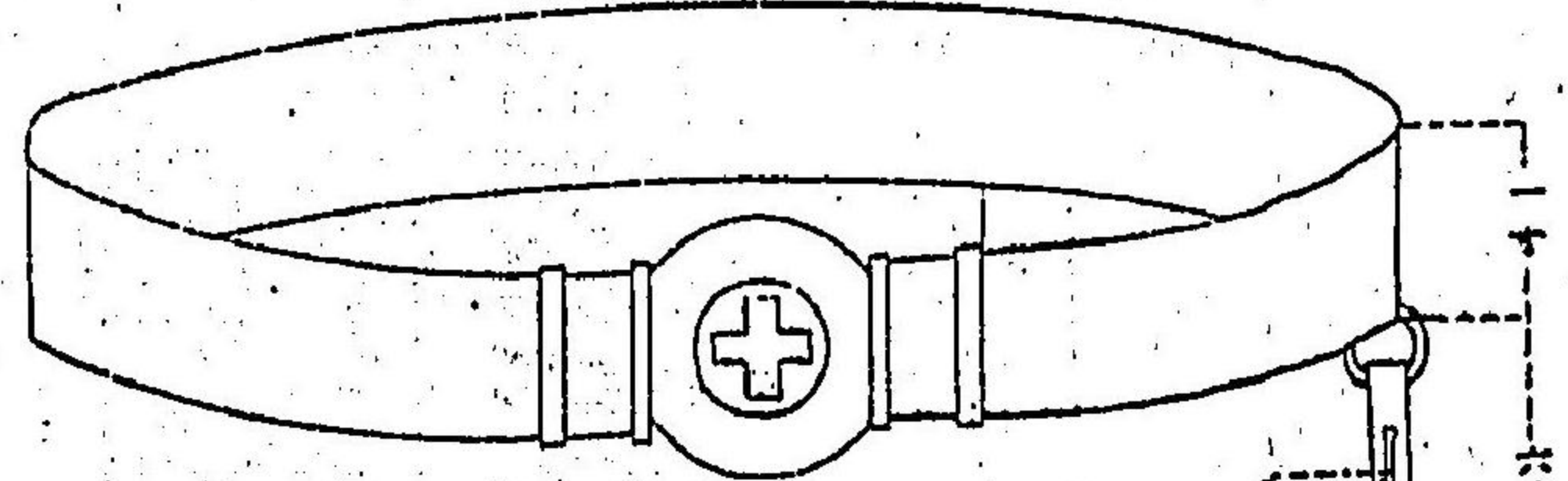


下 以 珮 貝 刺 調 護 效 記 畫 護 效

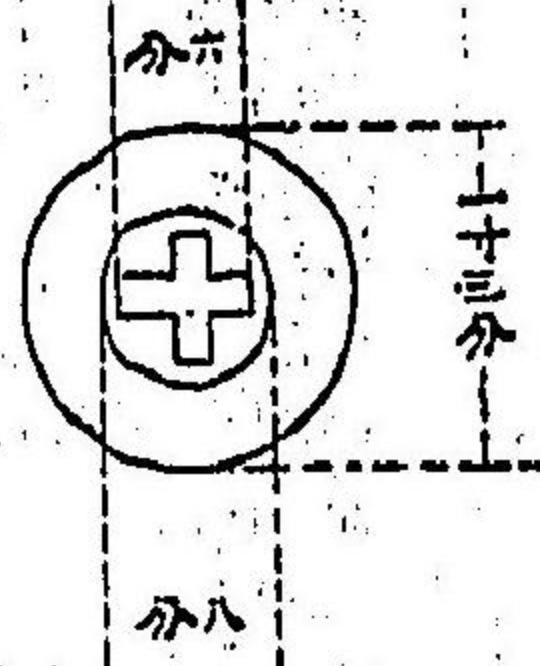


帶 制

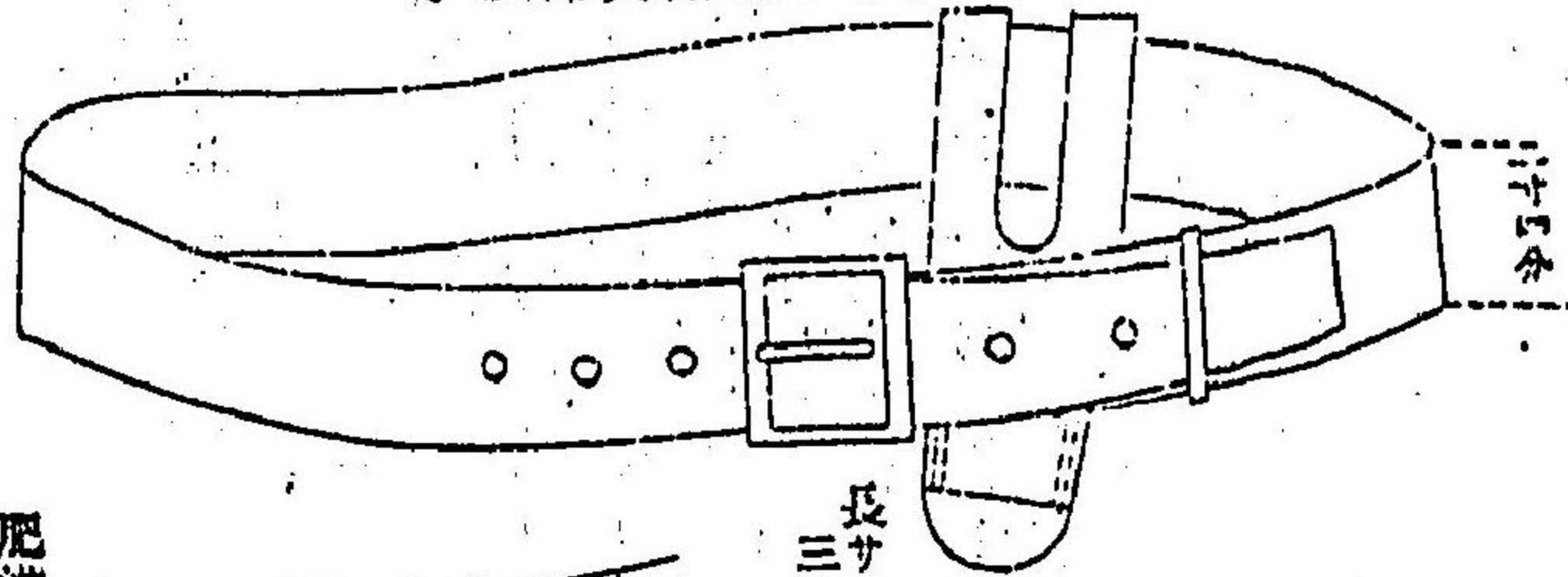
上以員刺調護救、事理副護救



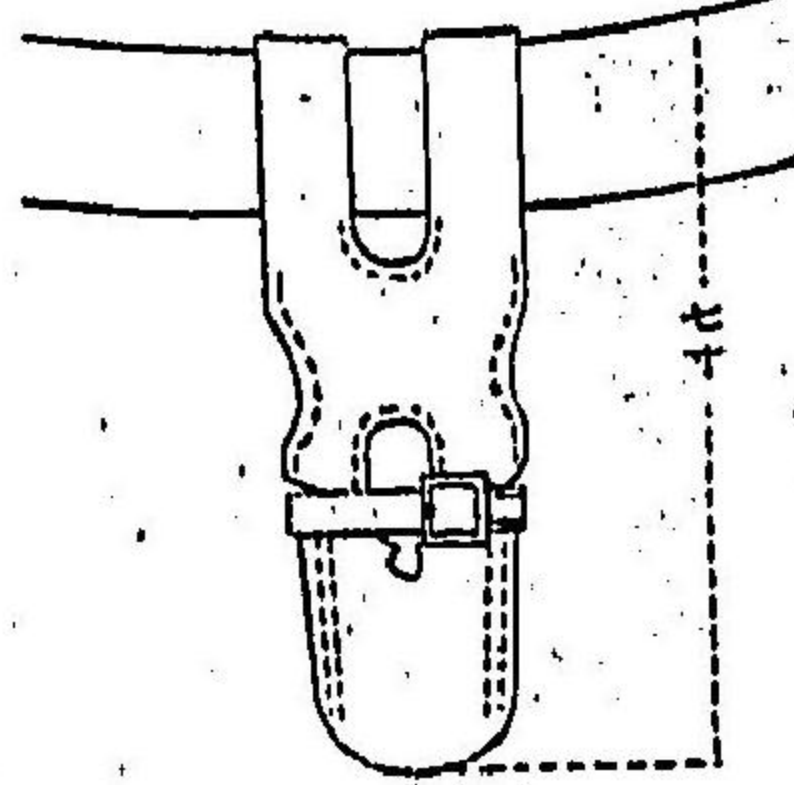
長サ
三尺一寸六分



下以補員刺調護救、記書護救



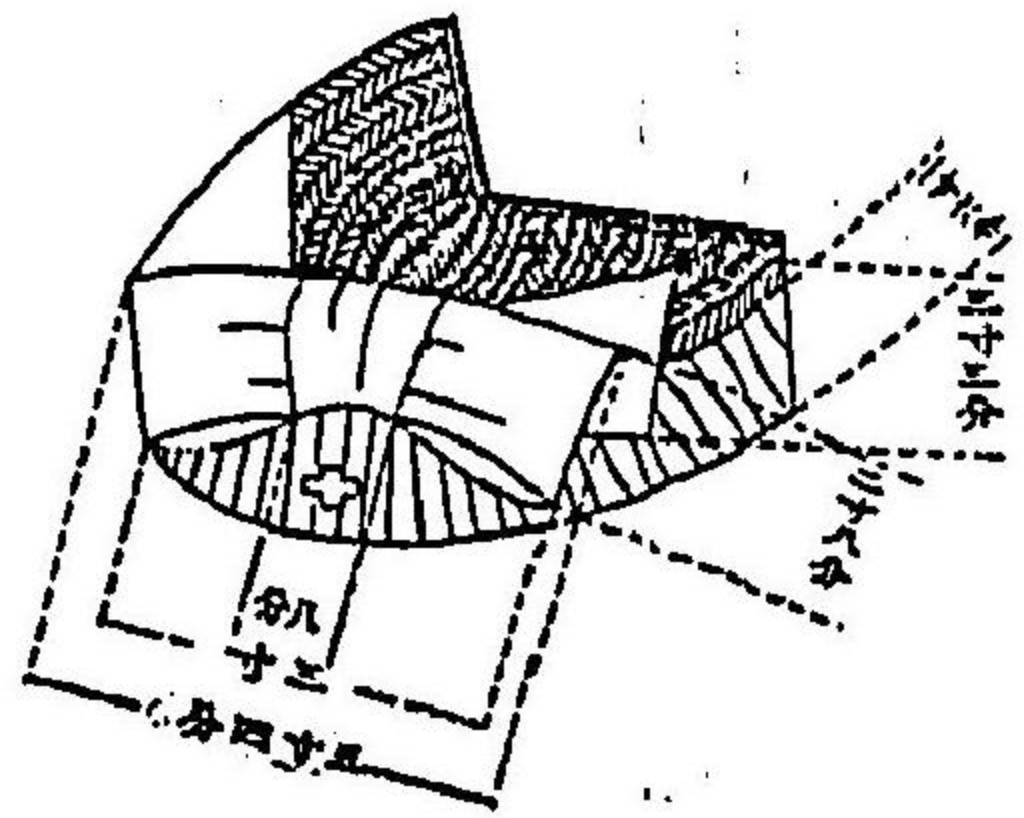
長サ
三尺六寸



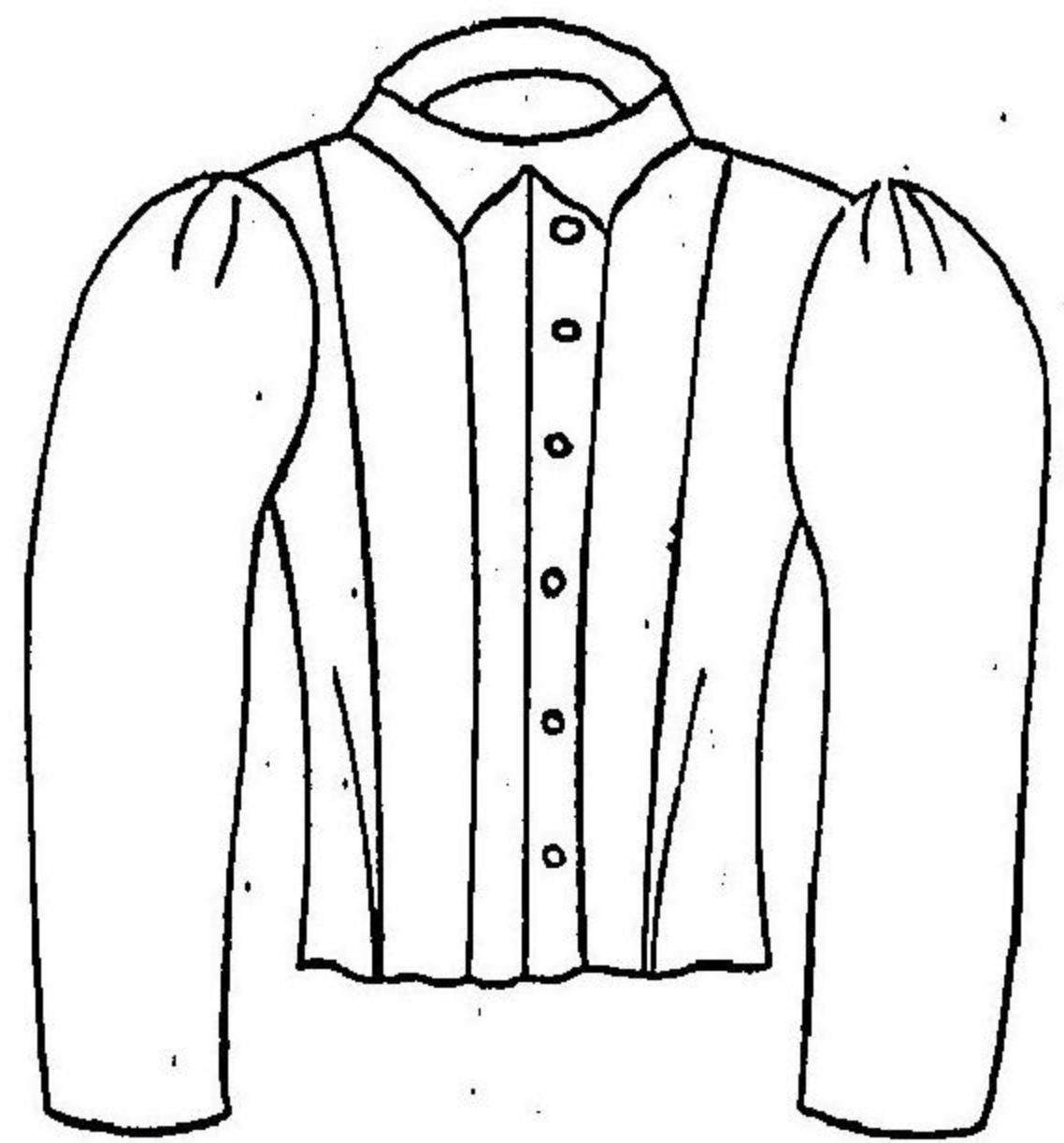
肥滿ノ體格ニアリテハ個帶ノ長サ
ヲ延ハスコトアルヘシ

二 女救護員服制圖

帽

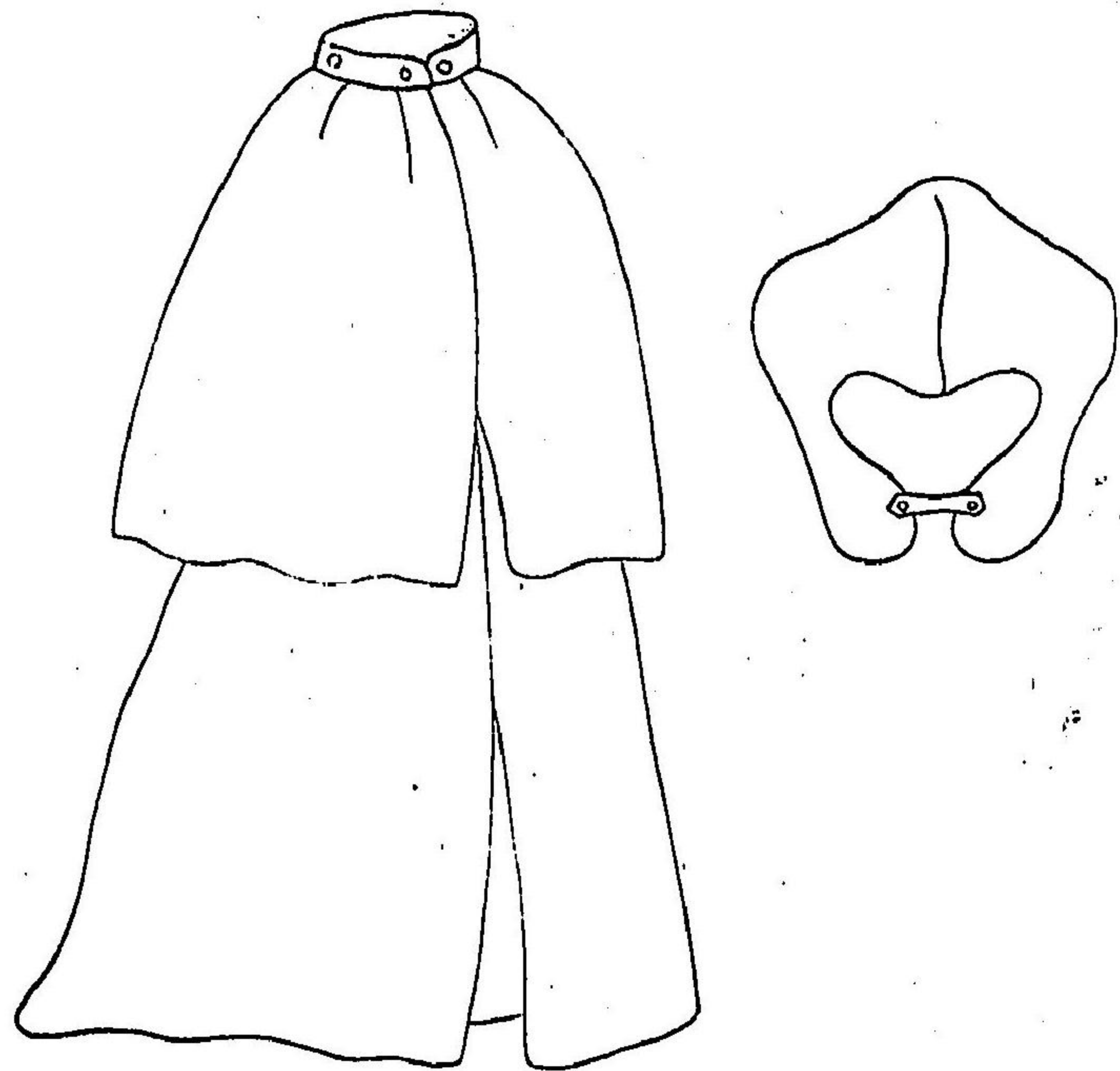


衣

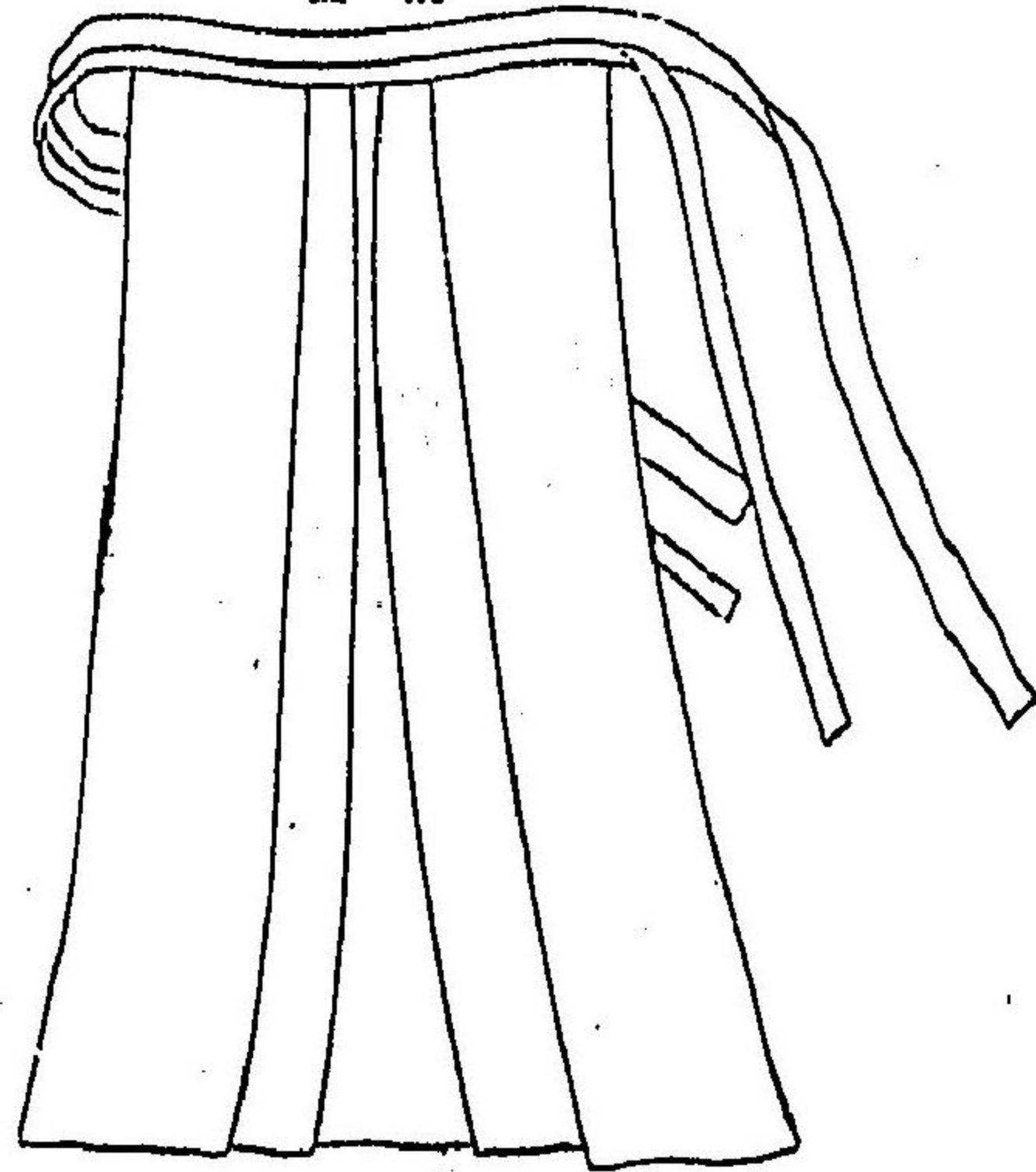


明治四十三年六月 告示 陸軍省第十六號 日本赤十字社救護員制服

外 套



袴
前



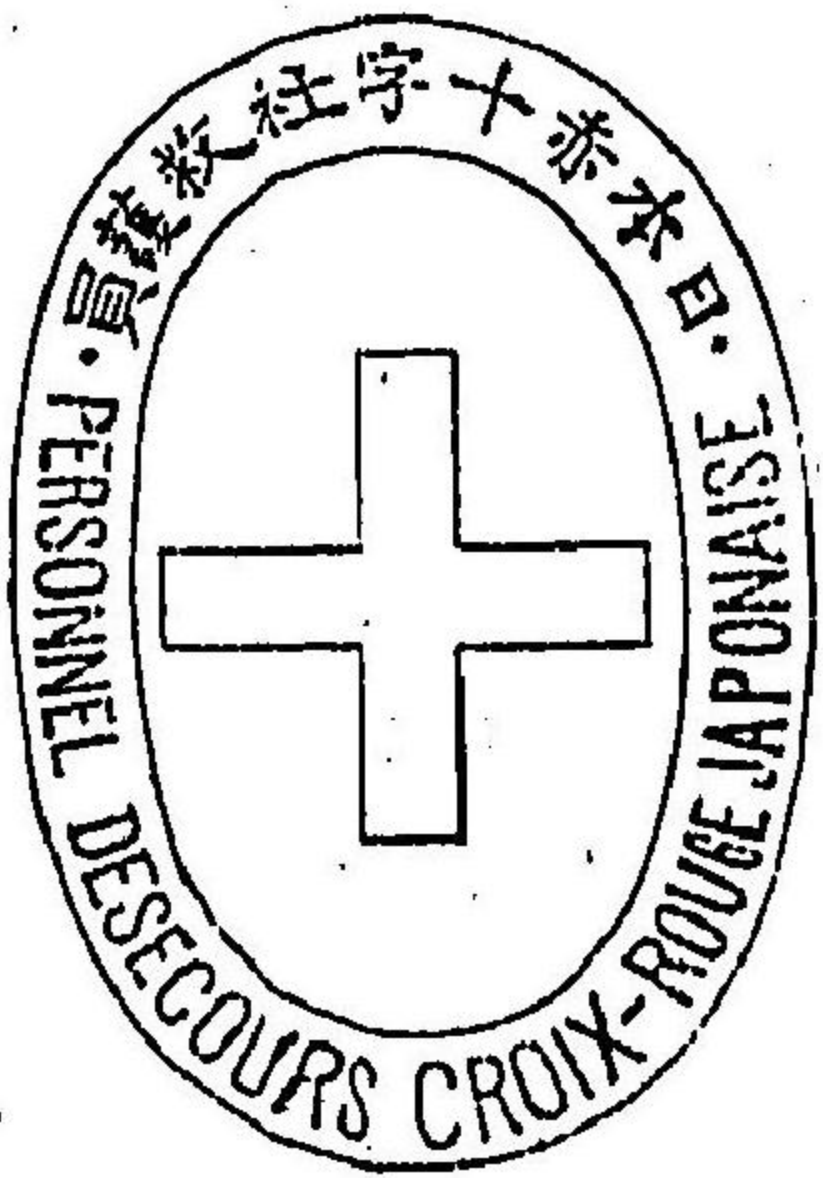
背



明治四十三年六月 告示 陸軍省第十六號 日本赤十字社救護員制服

徽章

一 救護員ハ左ノ徽章ヲ衣ノ右胸上部ニ附著ス

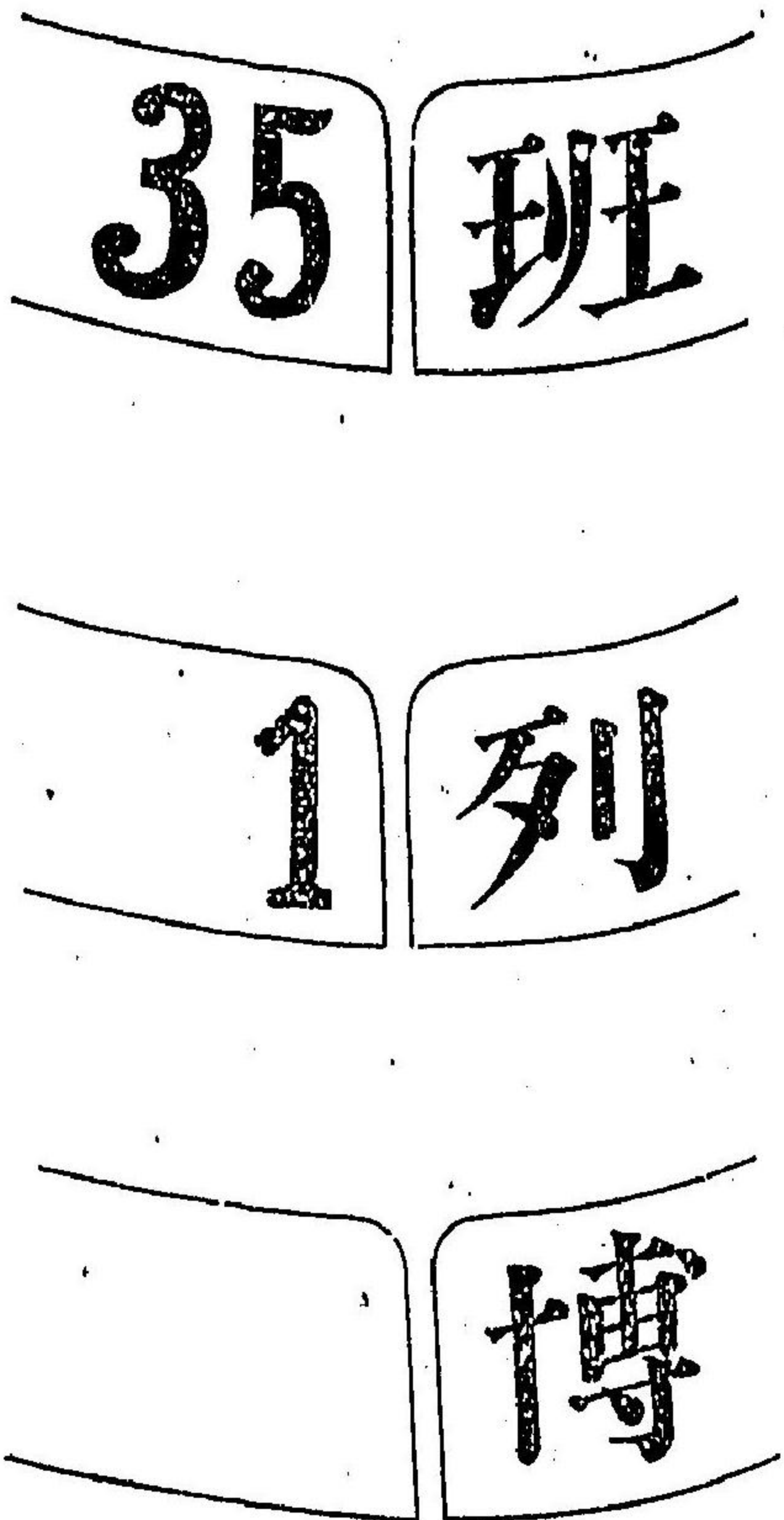


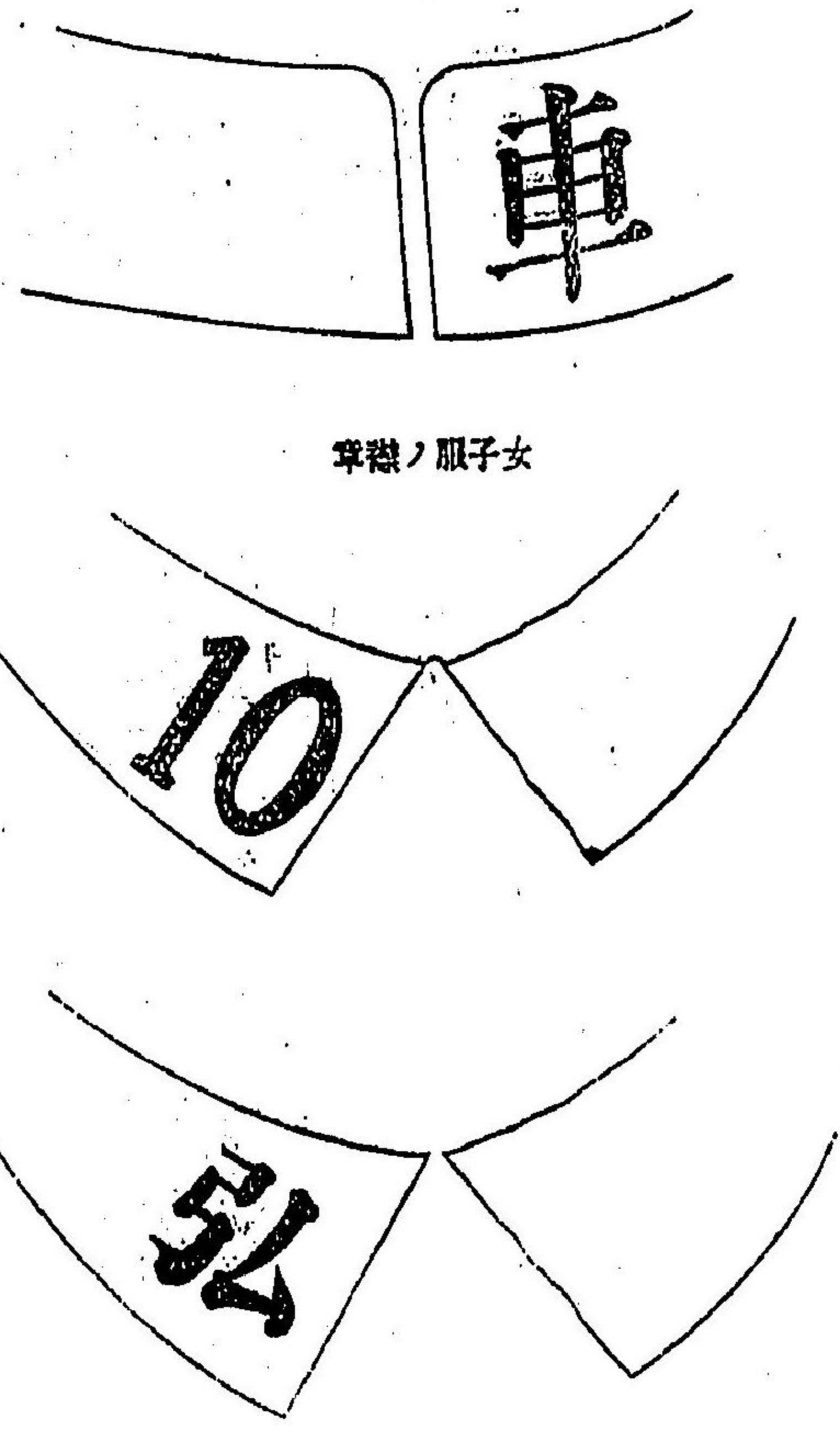
楕圓形ノ石目銅板ニシテ中央ニ白地赤十字ヲ七寶燒ニテ嵌ルハシ其ノ外廓ヲ銅色トス寸法形状圖ニ同シ

救護員胸章

二 救護員ニハ四體別ニ左ノ徽章ヲ衣ノ襟ニ附著ス但シ救護部ノ職員ニハ之ヲ附セズ

男子服章



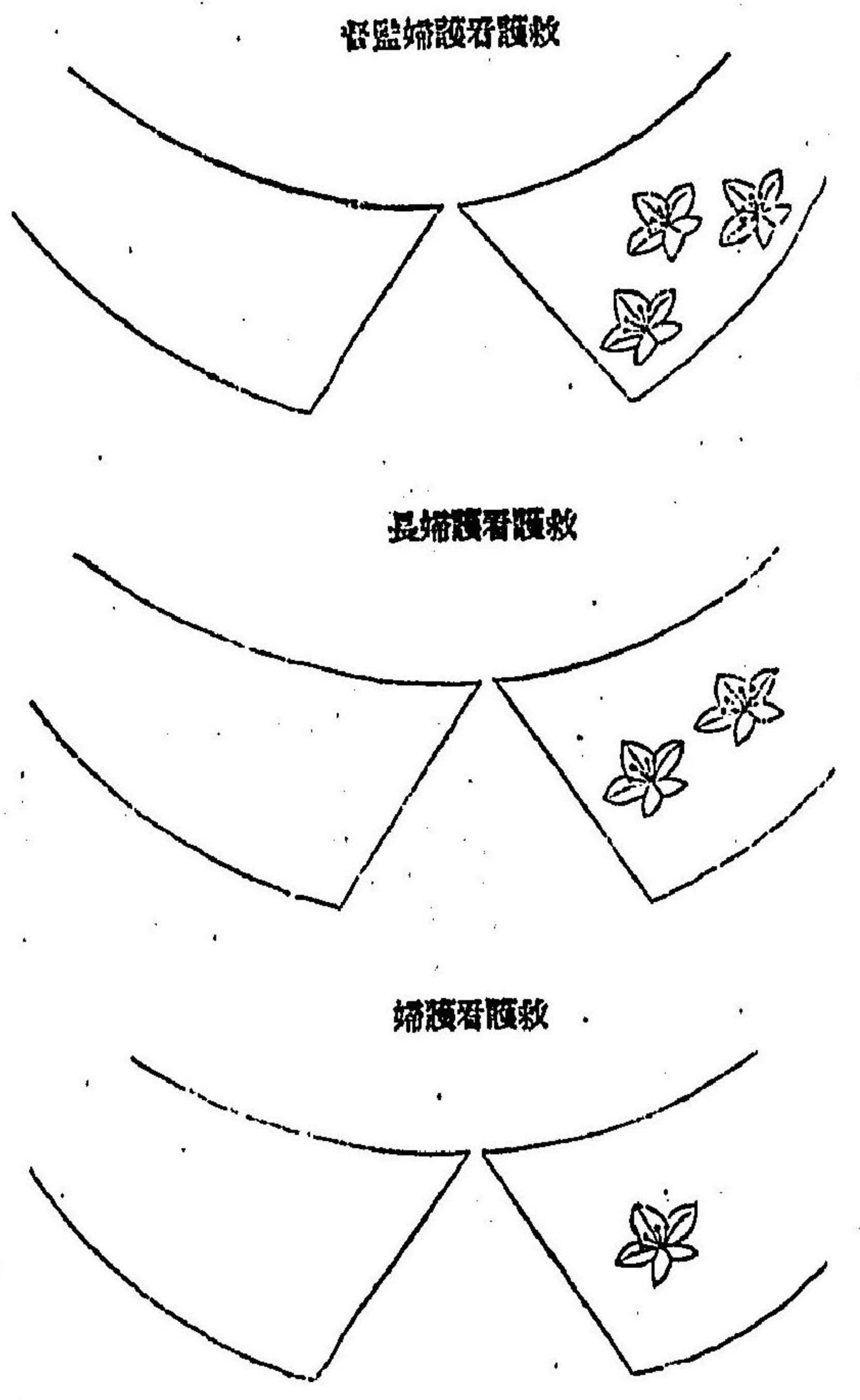


本圖ハ一例ヲ示スモ、ニシテ例之ハ第二救護班ナレハ(班)(2)第三患者搬送隊列ナレハ(列)(3)ノ徽章ヲ附スルカ如シ又病院船乗組ノ者ニハ班名ノ頭字ヲ以テ徽章トス、女子ノ救護員ハ病院船及救護班ノミニ配屬セラルルヲ以テ病院船乗組ノ者ハ班名ノ頭字、救護班ノ者ニハ隊班ノ番號ノミヲ附ス

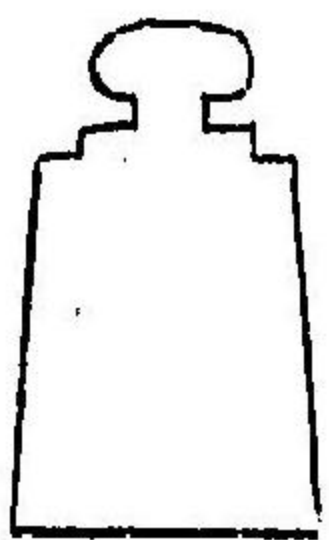
本圖ニ掲クル漢字亞刺比亞數字ハ實物ノ大サヲ示ス

救護副理事、救護副副員以上ハ銀色金屬其ノ他ハ白銅トス

三 救護看護婦監督、救護看護婦長、救護看護婦ハ左ノ勳別徽章ヲ左襟ニ附著ス、其ノ大サハ肩章ノ桐花章ニ同シ、但シ桐花章ハ銀色金屬トス

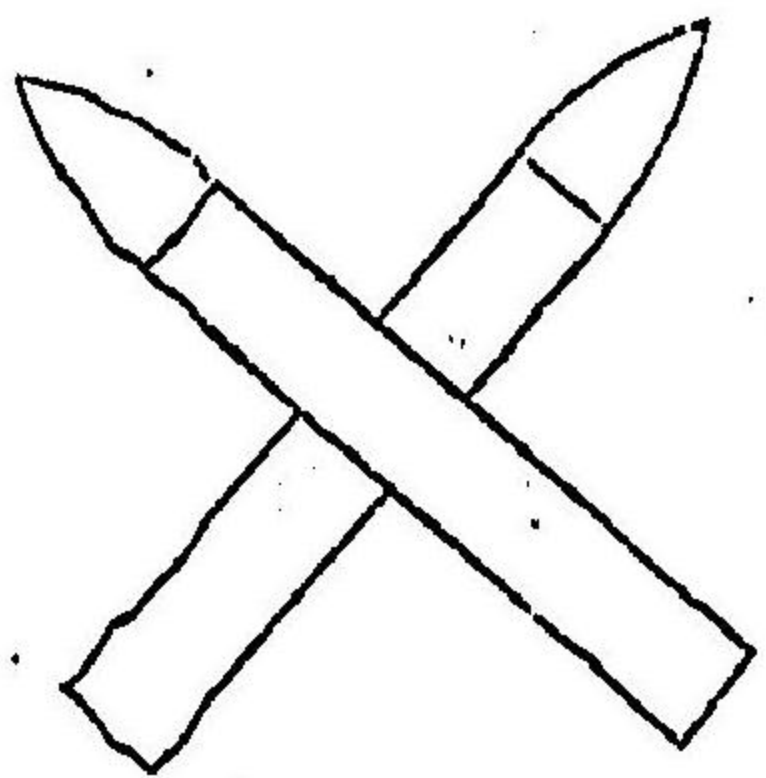


四 救護調劑員、救護調劑員補ハ左ノ徽章ヲ衣ノ右上臍部ニ附著ス



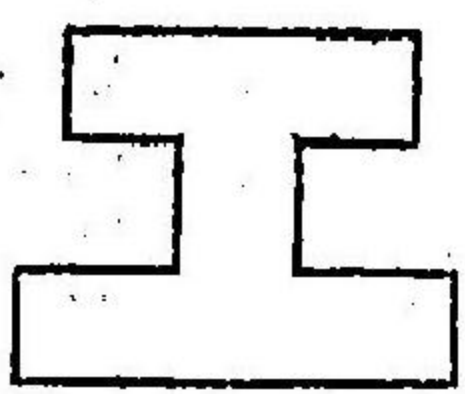
本圖ハ實物ノ大サヲ示ス
紺 絨

五 救護書記ハ左ノ徽章ヲ衣ノ右上臍部ニ附著ス



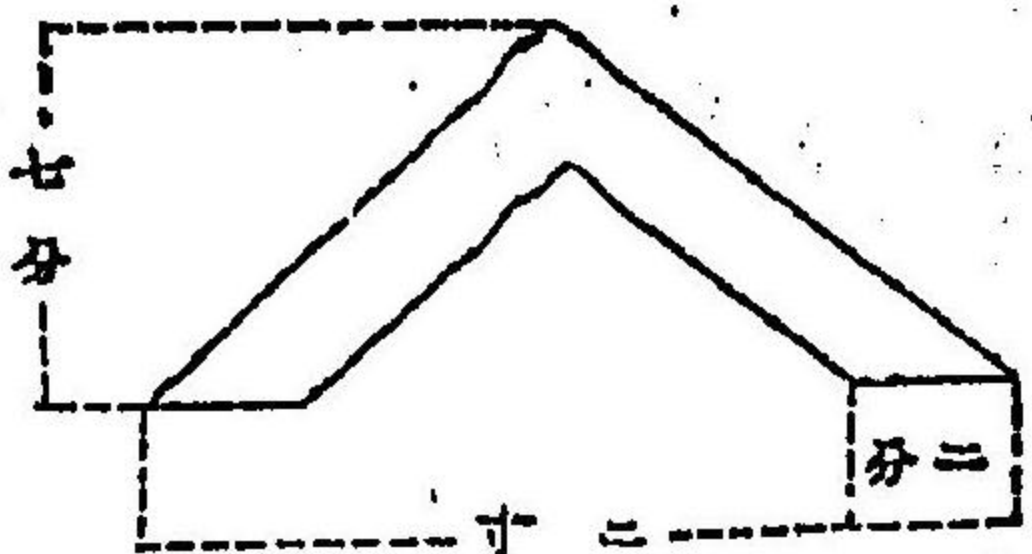
本圖ハ實物ノ大サヲ示ス
紺 絨(穂先ハ白絨)

六 庶工ノ職ヲ執ル救護看護人ハ左ノ徽章ヲ衣ノ右上臍部ニ附著ス



本圖ハ實物ノ大サヲ示ス
紺 絨

七 組長ヲ命シタル救護看護婦、救護看護人、救護輸送人ノ衣及外套ニハ左ノ徽章ヲ右上臍部ニ附著ス



紺 絨

○陸軍省告示第十七號

臨時陸軍建築部、廣島支部、福山出張所ハ之ヲ閉鎖ス

明治四十三年六月三十日

陸軍大臣 子爵寺内正毅

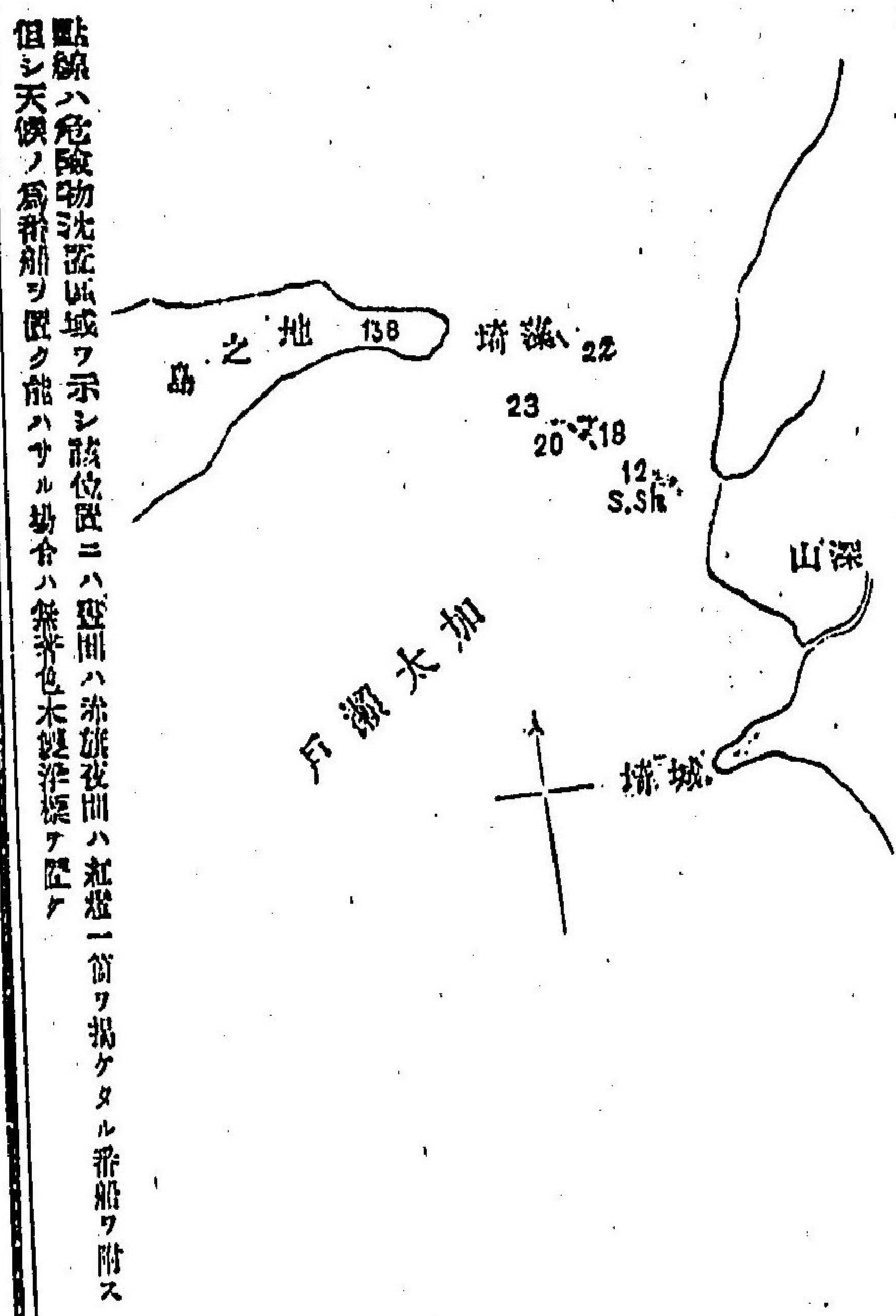
○海軍省告示第十二號

海軍中少主計二十名採用候條本年八月ニ於テ年齢二十年以上三十二年未満明治四十三年七月ヨリ
ニ出ニシテ出身志願ノ者ハ海軍高等武官補充條例並ニ明治四十年七月海軍省令第十號ニ依リ本年七
月三十一日迄ニ海軍省人事局長ニ出願スヘシ
海軍高等武官補充條例並ニ明治四十年海軍省令第十號採用規則ヲ要スル者ハ口頭又ハ書面ヲ以テ
海軍省人事局ニ申出ヘシ

明治四十三年六月十四日

海軍大臣 男爵齋藤實

○海軍省告示第十三號
 今般左記區域内ニ危險物ヲ沈置スルハキニ付同區域内ハ明治四十三年六月二十日ヨリ同七月四日
 テ一般船舶ノ通航、碇泊及漁業採藻ヲ禁止ス(海軍海圖第百〇六號及別圖參看)
 海軍大臣 男爵齋藤實
 明治四十三年六月十八日
 紀淡海峽地ノ島東端藻崎一五八頂點ヨリ南四十八度東三鏈ト同一五八頂點ヨリ南四十七度東三
 鏈半トノ間



點線ハ危險物沈置區域ヲ示シ該位置ニハ晝間ハ赤旗夜間ハ紅燈一箇ヲ掲ケタル番船ヲ附ス
 但シ天候ノ爲船舶ヲ阻ク能ハサル場合ハ無著也本製洋標ヲ照テ

○海軍省告示第十四號

本年海軍省告示第二號及第九號海軍兵學校生徒志願者身體檢查及學術試驗施行地名中「高知市」ヲ
 高知縣土佐郡小高坂村ニ變更ス
 海軍大臣 男爵齋藤實
 明治四十三年六月二十日

○司法省告示第三十三號

長野縣北佐久郡川邊村戶籍役場明治四十三年三月二十一日火災ニ罹リ身分登記簿戶籍簿其他役
 場ニ保存スル書類焼失シタルニ付左ノ各號ニ該當スル者ハ明治四十三年九月三十日マテニ更ニ同
 村戶籍吏ニ届出ヲ爲シ又ハ書類ノ送付ヲ爲スヘシ
 但届出ヲ爲スニ付キ詳細ノ手續ハ同村戶籍役場又ハ監督區裁判所ニ就キ承合スヘシ
 第一 明治四十三年三月一日ヨリ同月二十一日マテノ間ニ於テ同村戶籍吏ニ身分ニ關スル届出ヲ
 爲シタル者及ヒ身分ニ關スル届書ノ正本又ハ副本ヲ送付シタル者
 第二 明治三十一年七月十六日ヨリ同四十四年三月二十一日マテノ間ニ於テ同村戶籍吏ニ戶籍ニ
 關スル届出ヲ爲シタル者及ヒ戶籍ニ關スル届書ノ副本ヲ送付シ又ハ其副本ノ送付ヲ受ケタル者
 第三 明治三十一年七月十六日ヨリ本年三月二十一日マテノ間ニ於テ同村戶籍吏ニ入籍通知ヲ爲
 シタル者
 前各號中第一號及第二號ノ届書ノ正本又ハ副本ハ戶籍吏戶籍簿役場又ハ監督區裁判所ニ保存スルモ
 ノニ付キ之ヲ謄寫シ送付スヘシ
 明治四十三年六月二日
 司法大臣 子爵岡部長職

○司法省告示第三十四號

長野縣北佐久郡川邊村役場明治四十三年三月二十一日火災ニ罹リ出入寄留簿焼失シタルニ付現ニ

同村ニ寄留セル者又ハ同村ヨリ他ニ出寄留中ノ者ハ明治四十三年九月三十日マテニ明治十九年内務省令第十九號中寄留者届出ニ關スル規定ニ依リ其出入寄留ヲ更ニ同村長ニ届出ツヘシ

明治四十三年六月一日

司法大臣 子爵岡部長職

○司法省告示第三十五號

安濃津地方裁判所管内上野區裁判所ニ備ヘアリシ左記ノ舊公證簿竊害ニ罹リ滅失シタリ

明治四十三年六月七日

司法大臣 子爵岡部長職

滅失シタル舊公證簿

- 名賀郡依那古村大字市部 一册
- 一 自明治十九年一月地所賣買讓渡公證簿印簿
- 同郡古山村大字藏施手 一册
- 一 自明治十九年四月地所賣買讓渡公證簿印簿
- 同郡同村大字同 一册
- 一 自明治十八年八月地所賣買讓渡公證簿印簿
- 同郡同村大字安島 一册
- 一 自明治十八年十二月地所賣買讓渡公證簿印簿
- 同郡同村大字鍛冶屋 一册
- 一 自明治十九年五月地所賣買讓渡公證簿印簿
- 阿山郡城南村大字木鏡 一册
- 一 明治二十年一月分地所賣買讓渡公證簿印簿
- 同郡同村大字淺字田 一册
- 一 自明治十九年一月地所賣買讓渡公證簿印簿

○司法省告示第三十六號

北海道千歲郡惠庭村戸籍役場明治四十三年四月十八日火災ニ罹リ身分登記簿、戸籍簿、後見人名簿

其他役場ニ保存スル書類焼失シタルニ付左ノ各號ニ該當スル者ハ明治四十三年九月九日マテニ更ニ同村戸籍吏ニ届出ヲ爲シ又ハ書類ノ送付ヲ爲スヘシ

但届出ヲ爲スニ付キ詳細ノ手續ハ同村戸籍役場又ハ監督區裁判所ニ就キ承合スヘシ

第一 明治四十三年二月一日ヨリ四月十七日マテノ間ニ於テ同村戸籍吏ニ身分ニ關スル届出、申請報告、請求ヲ爲シタル者及ヒ身分ニ關スル届書ノ正本若ハ副本ヲ送付シタル者

第二 明治二十一年七月十六日ヨリ同四十二年四月十七日マテノ間ニ於テ同村戸籍吏ニ戸籍ニ關スル届出ヲ爲シタル者及ヒ戸籍ニ關スル届書ノ副本ヲ送付シ又ハ其副本ノ送付ヲ受ケタル者

第三 明治三十一年七月十六日ヨリ同四十二年四月十七日マテノ間ニ於テ同村戸籍吏ニ入籍通知ヲ爲シタル者

第四 戸籍法施行前同村役場ニ後見人ニ關スル届出ヲ爲シタル者

前各號中第一號及第二號ノ届書ノ正本又ハ副本ハ戸籍吏戸籍役場又ハ監督區裁判所ニ保存スル者ニ付キ之ヲ謄寫シ送付スヘク第四號ノ届書ハ戸籍法施行前ノ後見人ニ關スル届出ノ例ニ依リ差出スヘシ

明治四十三年六月八日

司法大臣 子爵岡部長職

○司法省告示第三十七號

北海道千歲郡惠庭村役場明治四十三年四月十八日火災ニ罹リ出入寄留簿燒失シタルニ付現ニ同村

ニ寄留スル者又ハ同村ヨリ他ニ出寄留中ノ者ハ明治四十三年九月九日マテニ明治十九年内務省令第十九號中寄留者届出ニ關スル規定ニ依リ其出入寄留ヲ更ニ同村長ニ届出ツヘシ

明治四十三年六月八日

司法大臣 子爵岡部長職

○司法省告示第三十八號

埼玉縣比企郡菅谷村戸籍役場明治四十三年四月十二日火災ニ罹リ身分登記簿、後見人名簿其他役

場ニ保存スル書類遺失シタルニ付戸籍法施行前同村役場ニ後見人ニ關スル届出ヲ爲シタル者ハ明治四十三年九月九日マテニ更ニ同村戸籍吏ニ届出ヲ爲スヘシ
但届書ハ戸籍法施行前ノ後見人ニ關スル届出ノ例ニ依リ差出スヘシ
司法大臣 子爵岡部長職

○司法省告示第三十九號

宇都宮地方裁判所管内大田原區裁判所芦野出張所本年五月二十三日火災ニ罹リ同出張所ニ備ヘアリシ不動産登記ニ關スル左記ノ帳簿書類遺失シタリ
同出張所ニ印鑑ヲ差出シタル不動産ノ所有者ハ更ニ之ヲ差出スヘシ
明治四十三年六月十四日
司法大臣 子爵岡部長職

○司法省告示第四十號

大阪地方裁判所管内大阪區裁判所本月五日大阪市北區若松町ノ廳舎ニ移轉セリ但登記事務ハ従前ノ場所ニ於テ取扱フヘシ
明治四十三年六月十七日
司法大臣 子爵岡部長職

○文部省告示第六十二號

巖手縣立花卷高等女學校ヲ同縣稗貫郡花卷町ニ設置シ明治四十四年四月ヨリ開校ノ件認可セリ
明治四十三年六月一日
文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第六十三號

韓國統監府中學校生徒並其ノ卒業者ハ他ノ學校ヘ入學轉學ニ關シ明治四十三年勅令第三十八號中

學校令ニ依リ設置シタル府縣立中學校生徒及卒業者ト同等ト認ム但シ第二部生ヲ除ク
明治四十三年六月一日
文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第六十四號

私立日本齒科醫學專門學校
右ハ齒科醫師法第一條第一號ニ依リ指定ス但シ此ノ指定ハ明治四十五年以後ノ本科卒業者ニ限リ效力ヲ有スルモノトス
明治四十三年六月一日
文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第六十五號

米澤高等工業學校ノ位置ヲ山形縣米澤市元中馬口勞町トシ明治四十三年九月ヨリ授業ヲ開始ス
明治四十三年六月一日
文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第六十六號

米澤高等工業學校ノ事務ハ當分ノ内文部省内ニ於テ之ヲ取扱フ
明治四十三年六月一日
文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第六十七號

長野縣松本師範學校ヲ同縣松本市大字桐ニ設置シ明治四十六年四月ヨリ開校ノ件並長野縣松本女子師範學校ノ位置ヲ同縣小縣郡上田町字鍛冶町裏ニ變更ノ件認可セリ
明治四十三年六月一日
文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第六十八號

下野私立教育會附設二宮文庫ヲ栃木縣宇都宮市栃木縣師範學校内ニ設置ノ旨設立者ヨリ開申セリ
明治四十三年六月三日
文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第六十九號

三浦縣一志郡天白村私立教育會附屬天白圖書館ヲ同縣同郡同村立尋常高等小學校内ニ設置ノ旨設

立者ヨリ開申セリ

明治四十三年六月三日

文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第七十號

文部大臣 小松原英太郎

行啓 筑川村立圖書館ヲ福島縣沼沼郡筑川尋常高等小學校ニ附設ノ件認可セリ

○文部省告示第七十一號

文部大臣 小松原英太郎

村立紫福圖書館ヲ山口縣阿武郡紫福村立紫福尋常高等小學校ニ附設ノ件認可セリ

○文部省告示第七十二號

文部大臣 小松原英太郎

松永町立松永圖書館ヲ廣島縣沼隈郡松永町立松永尋常小學校ニ附設ノ件認可セリ

○文部省告示第七十三號

文部大臣 小松原英太郎

本年開設スヘキ實業學科教員夏期講習會ノ學科、學科目、開會地、會場、開會期限、講師及講習員資格等ハ左ノ如シ

明治四十三年六月七日

文部大臣 小松原英太郎

學科	學科目	開會地	會場	開會期限	講師	講習員資格
農學	農作物、農具、農化學、農林學、農産物加工法	大分	大分縣立農學校	八月五日迄	東京帝國大學農科大學 横井 時敏	農學部、農學科、農具科、農化學科、農林科、農産物加工科、農産物加工科、農産物加工科
農學	農作物、農具、農化學、農林學、農産物加工法	大分	大分縣立農學校	八月五日迄	東京帝國大學農科大學 横井 時敏	農學部、農學科、農具科、農化學科、農林科、農産物加工科、農産物加工科、農産物加工科
農學	農作物、農具、農化學、農林學、農産物加工法	大分	大分縣立農學校	八月五日迄	東京帝國大學農科大學 横井 時敏	農學部、農學科、農具科、農化學科、農林科、農産物加工科、農産物加工科、農産物加工科
農學	農作物、農具、農化學、農林學、農産物加工法	大分	大分縣立農學校	八月五日迄	東京帝國大學農科大學 横井 時敏	農學部、農學科、農具科、農化學科、農林科、農産物加工科、農産物加工科、農産物加工科
農學	農作物、農具、農化學、農林學、農産物加工法	大分	大分縣立農學校	八月五日迄	東京帝國大學農科大學 横井 時敏	農學部、農學科、農具科、農化學科、農林科、農産物加工科、農産物加工科、農産物加工科
農學	農作物、農具、農化學、農林學、農産物加工法	大分	大分縣立農學校	八月五日迄	東京帝國大學農科大學 横井 時敏	農學部、農學科、農具科、農化學科、農林科、農産物加工科、農産物加工科、農産物加工科
農學	農作物、農具、農化學、農林學、農産物加工法	大分	大分縣立農學校	八月五日迄	東京帝國大學農科大學 横井 時敏	農學部、農學科、農具科、農化學科、農林科、農産物加工科、農産物加工科、農産物加工科
農學	農作物、農具、農化學、農林學、農産物加工法	大分	大分縣立農學校	八月五日迄	東京帝國大學農科大學 横井 時敏	農學部、農學科、農具科、農化學科、農林科、農産物加工科、農産物加工科、農産物加工科
農學	農作物、農具、農化學、農林學、農産物加工法	大分	大分縣立農學校	八月五日迄	東京帝國大學農科大學 横井 時敏	農學部、農學科、農具科、農化學科、農林科、農産物加工科、農産物加工科、農産物加工科
農學	農作物、農具、農化學、農林學、農産物加工法	大分	大分縣立農學校	八月五日迄	東京帝國大學農科大學 横井 時敏	農學部、農學科、農具科、農化學科、農林科、農産物加工科、農産物加工科、農産物加工科

- 一 講習員ハ地方長官ノ選定ヲ經テ文部省ノ許可ヲ得タルモノニ限ル
- 二 講習員ハ前表ノ資格ヲ有スル職員ノ中ニ就中成ルヘク現ニ當該學科ノ教授ヲ擔任セル者ヲ選定スヘシ
- 三 地方長官ハ講習員ヲ選定シタルトキハ本人ノ氏名、職名、講習ヲ受ケヘキ學科及開會地ヲ記載シタル選定書ヲ七月五日迄ニ文部省實業學務局ニ提出スヘシ但シ現ニ當該學科ノ教授ヲ擔任セルモノニ就キテハ其ノ旨明記スヘシ
- 四 講習員選定人員ニ達セサルトキハ前表ノ資格ヲ有セザル學校教員ニモ講習ヲ許可スルコトアルヘシ
- 五 前表ノ講習員ノ志望者アルトキハ地方長官ハ第三號ノ手續ニ準シテ七月五日迄ニ文部省實業學務局ニ提出スヘシ但シ本人ノ學業及職務ニ關スル懸念書ヲ添付スルヲ要ス
- 六 文部省ニ於テハ地方長官ノ選定書及前號ノ申出ニ就キ審査シテ七月二十日迄ニ其ノ許可ヲ地方長官ニ通知ス
- 七 講習員及講師員ハ開會ノ前日迄ニ開會地ニ到着シ會場ニ出頭シ宿所氏名ヲ届出テ且講習ニ關スル心得等ヲ承合スヘシ
- 八 講習ヲ終ヘタルトキハ聴講日數ヲ考査シ講習員ニ證明書ヲ授與ス

○文部省告示第七十四號
美術展覽會圖録發行及陳列品ノ攝影印刷ニ關スル規程ヲ定ムルコト左ノ如シ
文部大臣 小松原英太郎

美術展覽會圖録發行及陳列品ノ攝影印刷ニ關スル規程

- 第一條 美術展覽會圖録ハ文部省ニ於テ之ヲ編纂ス
- 第二條 美術展覽會圖録ハ文部省ノ指定ヲ受ケタル者ニ限り之ヲ發行スルコトヲ得
- 第三條 前條ノ指定ヲ受ケントスル者ハ左ノ各號ニ該當スル資格ヲ有スル者タルヘシ
 - 一 三箇年以上汎ク美術出版業ニ從事シタルコト
 - 二 文部省ニ於テ其ノ技術適當ト認メタルコト
- 第四條 前條ノ資格ヲ有スル者ニシテ指定ヲ受ケントトヲ希望スル者二名以上ニ及フトキハ抽籤ニ依リ一名ヲ指定ス
- 第五條 指定ヲ受ケント欲スル者ハ左ノ見本ト共ニ既往三年間ニ於ケル出版物ノ目錄ヲ具シ毎年

七月三十一日マテニ文部省ニ出願スヘシ

一 美術出版物(冊子ヲ爲スモノニ限ル)既在三年間ノ出版ニ係ルモノ毎年ノ分五種以上

二 圖録印刷用紙

第六條 指定ヲ受ケタルモノハ左ノ各號ヲ遵守スヘシ
一 出品ノ撮影其ノ他圖録出版ニ關スル一切ノ費用ハ發行者ニ於テ負擔スルコト

二 印刷ノ種類ハ文部省ノ指揮ニ依ルコト

三 撮影並印刷ヲ鮮明ナラシメ且紙質ヲ精選シ製本ヲ鞏固ニスルコト

四 陳列品ノ撮影ニ關シテハ美術審査委員會主事ノ指揮ヲ受ケルコト

五 圖録ノ下刷ハ美術審査委員會主事ノ檢閱ヲ受ケヘキコト

六 圖録ノ定價ハ文部省ノ認可ヲ受ケルコト

七 圖録ハ見本三部ヲ文部省ニ提出シ檢査ヲ經タル後ニアラサレハ之ヲ發行スルヲ得サルコト

八 圖録ニ二百部ヲ文部省ニ無代納付スルコト

第七條 陳列品ノ一部分ヲ撮影印刷セントスル者ハ各出品人ノ承諾書ヲ添ヘ文部省ニ出願スヘシ

但シ指定ヲ受ケタル者ヨリ出願スル場合ニ於テハ指定ヲ受ケタル者ノ連署ヲ要ス

前項ノ許可ヲ受ケタル者ニ關シテハ第六條ノ規定ヲ準用ス

第八條 指定及許可ハ當該年度ニ限り效力ヲ有ス

第九條 指定又ハ許可ヲ受ケタル者ニシテ第六條ノ規定ニ違背シ又ハ其ノ他不都合ノ所爲アリト

認メタルトキハ指定若ハ許可ヲ取消シ又ハ將來指定ヲ爲シ若ハ許可ヲ與ヘサルコトアルヘシ

第十條 繪葉書其ノ他一枚摺ノ出版物ハ前各條ノ規定ニ依ラス文部省ノ許可ヲ受ケ之ヲ發行スル

コトヲ得但シ各出品人ノ承諾書ヲ提出スルヲ要ス

前項ノ許可ヲ受ケタル者陳列品ヲ撮影セントスルトキハ許可書ヲ美術審査委員會主事ニ提出シ

撮影ニ關シ共ノ指揮ヲ受ケヘシ

第十一條 會場管理上必要アリト認ムルトキハ文部省ハ第七條及第十條ノ出願者ニ對シ許可ヲ與

ヘサルコトアルヘシ

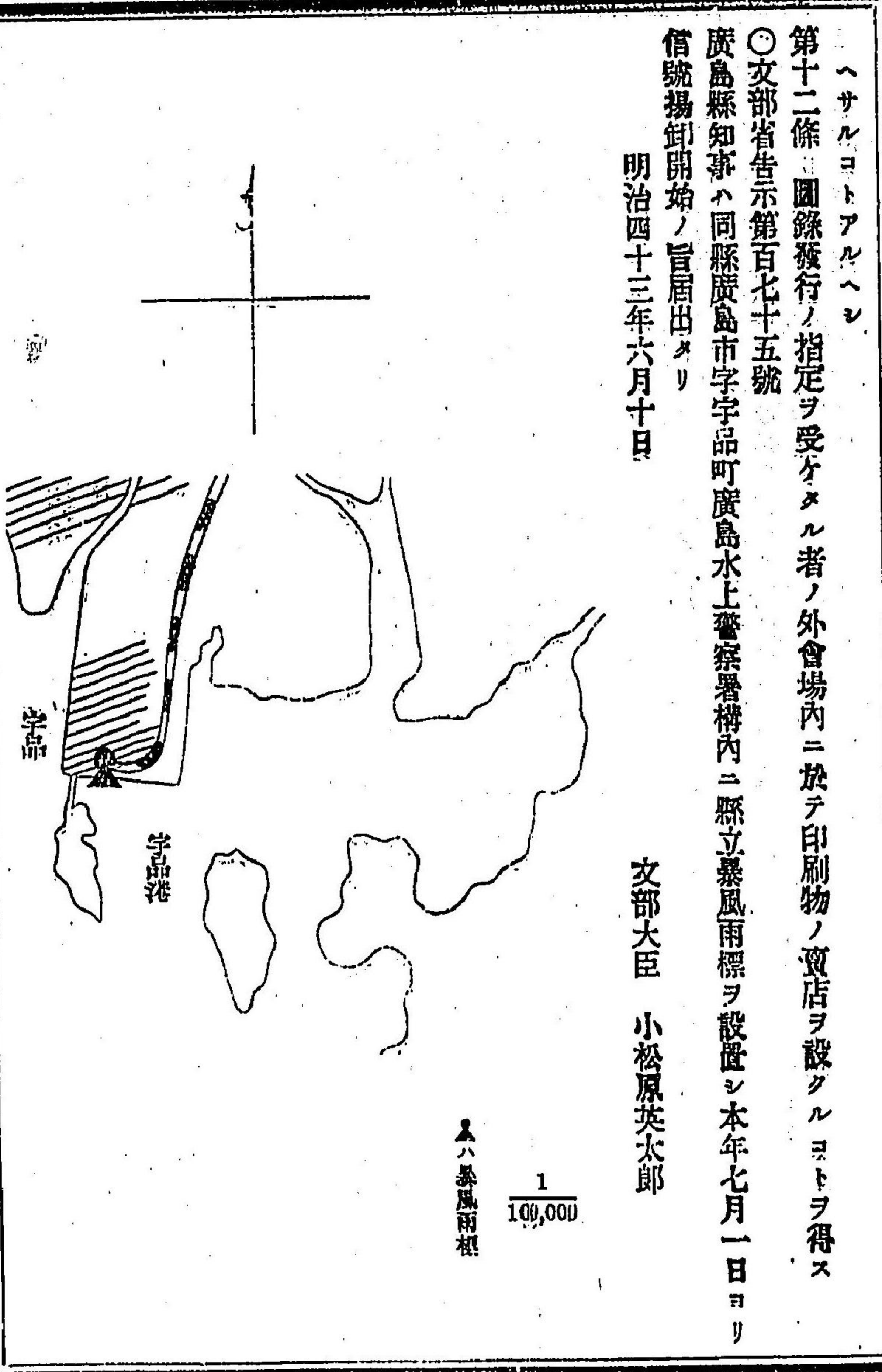
第十二條 圖録發行ノ指定ヲ受ケタル者ノ外會場内ニ於テ印刷物ノ賣店ヲ設ケルコトヲ得ス

○文部省告示第七十五號

廣島縣知事ハ同縣廣島市宇品町廣島水上警察署構内ニ縣立暴風雨標ヲ設置シ本年七月一日ヨリ

信號場卸開始ノ旨届出メリ

文部大臣 小松原英太郎



1
100,000

暴風雨標

○文部省告示第七十六號

明治四十三年第二回定期密術開業試驗施行ノ地及期日等左ノ通定ム

明治四十三年六月十三日

文部大臣 小松原英太郎

一 試驗施行ノ地

前期試驗 地方廳所在地

後期學說試驗 同上

齒科學說試驗 同上

後期實地試驗 東京、熊本、大阪

齒科實地試驗 東京、大阪

二 試驗期日

東京ニ於テハ明治四十三年九月一日ヨリ其他ノ各地方ニ於テハ同年同月十二日ヨリ開始ス
前期試驗後期學說試驗齒科學說試驗ノ日割及後期實地試驗齒科實地試驗ヲ受クヘキ者ノ
氏名並受験日時ハ委員長之ヲ公告ス

三 願書提出方

後期試驗及齒科試驗出願者ニシテ學說試驗並實地試驗ヲ受ケントスル者ハ其願書ニ學說試
驗ヲ受ケントスル地ノ外實地試驗ヲ受ケントスル地ヲモ記載シ學說試驗ヲ受ケントスル地
ノ地方廳ニ差出スヘシ
願書提出後ハ受験地ヲ變更スルコトヲ許サス
同一人ニシテ二箇所若クハ二箇所以上ニ願書ヲ提出スルコトヲ許サス

○文部省告示第七十七號

明治四十三年第二回藥劑師試驗施行ノ地及期日等左ノ通定ム

明治四十三年六月十三日

文部大臣 小松原英太郎

一 試驗施行ノ地

學說試驗

地方廳所在地

實地試驗

東京、大阪

二 試驗期日

東京ニ於テハ明治四十三年九月五日ヨリ其他ノ各地方ニ於テハ同年同月十五日ヨリ開始ス
學說試驗ノ日割及實地試驗ヲ受クヘキ者ノ氏名並受験日時ハ委員長之ヲ公告ス

三 願書提出方

試驗出願者ニシテ學說試驗並實地試驗ヲ受ケントスル者ハ其願書ニ學說試驗ヲ受ケントス
ル地ノ外實地試驗ヲ受ケントスル地ヲモ記載シ學說試驗ヲ受ケントスル地ノ地方廳ニ差出
スヘシ
願書提出後ハ受験地ヲ變更スルコトヲ許サス
同一人ニシテ二箇所若クハ二箇所以上ニ願書ヲ提出スルコトヲ許サス

○文部省告示第七十八號

長野縣埴科郡松代町ニ設置セル私立大里文庫ハ廢止ノ旨設立者ヨリ開申セリ

明治四十三年六月十三日

文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第七十九號

明治三十六年文部省令第十四號專門學校入學者檢定規程第八條第一號ニ依リ左記ノ者ヲ千葉縣立
園藝專門學校ノ入學ニ關シ中學校卒業者ト同等以上ノ學力ヲ有スルモノト指定ス

明治四十三年六月十四日

文部大臣 小松原英太郎

一 甲種農業學校卒業者

○文部省告示第八十號

大分縣南海部郡立佐伯中學校ヲ同縣南海部郡佐伯町ニ設置シ明治四十四年四月ヨリ開校ノ件認可セリ

明治四十三年六月十四日

文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第八十一號

北海遠長官八小樽南濱町小樽水上警察署内暴風雨標破損ノ所本月一日ヨリ揚卸開始ノ旨届出スリ

明治四十三年六月十四日

文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第八十二號

私立輕野青年圖書館ヲ茨城縣鹿島郡輕野村高等小學校内ニ設置ノ旨設立者ヨリ開申セリ

明治四十三年六月十五日

文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第八十三號

私立華城教育團文庫ヲ山口縣佐波郡華城村ニ設置ノ旨設立者ヨリ開申セリ

明治四十三年六月十五日

文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第八十四號

本年度ニ於テ開設スヘキ師範學校中學校高等女學校教員等第二回講習會ノ講習學科目講習會場開會期限講習員資格及各學科講習要目等ハ左ノ如シ

明治四十三年六月十六日

文部大臣 小松原英太郎

講習學科目	講習會場	開會期限	講習員資格	講習員
修身	東京高等師範學校	五月二十五日	東京高等師範學校教授	吉田 靜致
教育	東京高等師範學校	五月二十五日	東京高等師範學校教授	佐々木三郎
地理	東京高等師範學校	五月二十五日	東京高等師範學校教授	重田 定一
手工	東京高等師範學校	五月二十五日	東京高等師範學校教授	中山 定一
教育の倫理	東京高等師範學校	五月二十五日	東京高等師範學校教授	中山 定一
教育の倫理	東京高等師範學校	五月二十五日	東京高等師範學校教授	中山 定一

講習學科目	講習會場	開會期限	講習員資格	講習員
家事	東京女子高等師範學校	五月二十五日	東京女子高等師範學校教授	高橋岩次郎
裁縫	東京女子高等師範學校	五月二十五日	東京女子高等師範學校教授	今村ビニ
音樂	東京音樂學校	五月二十五日	東京音樂學校教授	島崎 貞一
兵式教練	陸軍戸山學校	五月二十五日	陸軍戸山學校教授	千村長治郎
國語正音法	東京高等師範學校	五月二十五日	東京高等師範學校教授	伊澤 修二
國語正音法	東京高等師範學校	五月二十五日	東京高等師範學校教授	三宅 敏一

- 講習員定員ハ各講習學科目毎ニ道府縣各二人トス且シ地理歴史及國語正音法は各一人トス
- 地方長官ハ講習員ヲ選定シタルトキハ本人ノ氏名 職名 講習ヲ受ケヘキ學科目及講習會場ヲ記載シタル選定書ヲ七月十日マテニ文部省普通學務局ニ差出シ講習員ヲ開會前日マテニ講習會場ニ出頭セシムヘシ但シ前表記載ノ資格ヲ有セサルモノハ之ヲ選定スルコトヲ得ス
- 地方長官ハ定員以外ニ於テ各講習學科目ニ就キ準備員トシテ一人ヲ限リ選定スルコトヲ得
- 文部省ニ於テハ前項準備員ニ就キ審査シ之ヲ許可スルトキハ其ノ旨地方長官ニ通知ス
- 講習ヲ終リタルトキハ聽講日數及其他ヲ査察シ證明書ヲ授與スヘシ

各學科講習要目 東京高等師範學校

倫理 每週凡十八時 教授 吉田 靜致

倫理學トハ如何一行為及品性一理想ト空想及衝動一目的ト善惡トノ區別一良心ニ服從セリ

— 自利ト非自利— 道德の想像道德の記憶及勇氣— 洽善說— 快樂說ノ誤謬— 健全ナル同情— 直覺說— 形式的倫理說— 禁欲說— 自愛ト他愛— 本務— 良心ノ起源ト發展— 德及德ノ分類— 節制— 正義及仁愛— 容知— 勇氣— 國民道德ノ倫理學の基礎

教育科講習要目 東京高等師範學校

每週凡十八時 教授 佐々木吉三郎

- 一 教育學ノ現在及將來— ヘルバト派ノ科學的教育學— 社會的教育學— 實驗的教育學— 所謂普通の科學的教育學— 教育學ノ學の方面及術の方面— 教育學ノ系統— 教育學ノ基礎科學
- 二 教育ノ目的論— 進化ト開化— 開化勞働— 開化勞働力ノ増進— 身體陶冶— 科學的陶冶— 審美的陶冶— 道德的陶冶— 教育目的ノ簡別化
- 三 學校ノ系統論— 歐米先進國ニ於ケル學校系統ノ狀況— 將來ノ理想案— 初等普通教育ノ學校— 中等普通教育ノ學校— 高等普通教育ノ學校— 初等專門教育ノ學校— 中等專門教育ノ學校— 高等專門教育ノ學校— 特殊教育ノ學校
- 四 學級編制論— 大組織カ小組織カ— マンハイム組織— 日本現時ノ學級編制法— 學級編制ト男女— 學級擔任制ト學科擔任制— 專科教員論
- 五 身體陶冶論— 體育上ヨリ日本人ヲ論ス— 體育ノ解剖學の生理學の基礎— 東京高等師範學校附屬小學校ニ於ケル體操法決定案— 體操教授法
- 六 道德陶冶論— 日本ノ道德— 宗教教授論ヲ評ス— 修身教授法— 學校生活— 習慣養成法
- 七 智能陶冶論— 心理學の基礎— 論理學の基礎— 美學の基礎— 國語教授及外國語教授— 算術教授— 地理歷史教授— 理科教授— 技能科教授
- 八 家庭教育論— 文明ト家庭— 教育派トシテノ家庭— 家庭改良ノ諸問題— 教育者ト家庭改良

九 社會教育論— 教育派トシテノ社會— 歐米各國ニ於ケル社會教育ノ現況— 教育者ト社會改良

一〇 教育者論

地理科講習要目 廣島高等師範學校

地理實習論(地理學ノ實地的方)

每週六時 教授 中目 覺

第一章 野外ニ於ケル實習

第一節 角度— 磁石— プリズマチックコンパス— アリゲード— セキスタント— トランセント— テオドリット

第二節 距離— 測鎖— 基線尺— 步數計— 里程計— テレメートル— タリメートル— 音響測

第三節 高低— 晴雨計— アネロイド— アリゲード— 水準器— 目測

第四節 水— 流水ノ速度— 流水器— 水量計— 水ノ溫度— 海水比重計— 水深— 湖沼

第五節 氣象— 寒暖計— 雨量計— 風速器— 乾濕計

第六節 步測圖

第七節 對景圖

第二章 製圖ニ關スル實習

第一節 地圖用文字

第二節 地圖用符號

第三節 地圖複寫— 透明紙使用— 薄紙使用

第四節 地圖ノ縮小擴大— 方眼使用— 比例コンパス使用— パントグラフ使用

第五節 透視圖法— 一般— コルダナートグラフ— 諸種ノ曲線定規

第六節 等高線(水平曲線)

第七節 量滲

第八節 濃淡

第九節 地圖著色

第十節 模形測量及製圖

第三章 地圖上ノ實習

第一節 角度

第二節 距離—直線—曲線—兩脚器—曲線計

第三節 面積—經緯梯形ノ面積—セラテン方眼—方眼紙使用圖上面積測量—天秤—求積器

第四節 經緯度

第五節 縮尺判定

第六節 全長圖演習

第七節 等量線

第八節 山脈ノ平均海拔

第九節 山ノ傾斜角

第十節 等刻地圖

第四章 地理研究旅行

地理實習

一 地文地理ニ關スルモノ
地圖複寫—地圖ノ縮小擴大—兩脚器及曲線計使用圖上測量—方眼紙使用圖上面積測量

每週四回

教授 中目

覺

二 人文地理ニ關スルモノ
—求積器使用圖上面積測量—全景圖演習—等深線—模形測量

自然境界—行政區劃—鐵道ノ營業測量—輸入表—等刻地圖—鐵道各驛間ノ平均距離—道路ノ縱斷面圖—平地—山地—ニ於ケル居住ノ差異

地理教授論(譯解)

第一節 地理學ノ意義—二分論並ニ教育上ノ效力

第二節 郷土誌論

第三節 地誌論

第四節 地理通論

地理ニ關スル史的名辭ノ一斑

都城驛傳莊園等地理ニ關シテ必要ナル名辭ノ研究說明

備考 磁器製備用品 三角定規 烏口 分度器 湯池 糊米突尺 製圖ペン 鉛筆 ビン

手工科講習要目 廣島高等師範學校

教育上ヨリ見タル手工

序論—手工教授ノ歴史—手工教授ノ必要及目的—手工教授ニ關スル注意—餘論

歐米ニ於ケル手工教授ノ狀況 凡十八時 教授 内海 靜

瑞典—手工ノ起原—スロイド主義—佛蘭西、英吉利、獨乙—ライオンテツヒ手工師範學校—バ

ノスト博士ノ主義—亞米利加合衆國—ヂウニ—教授ノ主義—リッチャード教授ノ主義—ホーレ

スマン學校ノ狀況—開明史の段階—幼稚園—中學校—共ノ他諸種ノ學校ニ於ケル手工

兒童ノ生活上ニ活用スヘキ手工 凡五時 助教授 栗原 源治

緒論上ニ玩具遊戯具ノ變遷ト手工トノ關係

緒論下、玩具遊戯具ノ價值ト手工トノ關係ノ自然物利用ノ玩具ニツキテ、其他ノ玩具及遊
戯具ニツキテ、同上玩具ノ製作
國定教科書ト連絡シタル手工及其ノ實際

凡二十九時 教授 内海 靜
凡三十時 教授 栗原 源治

一 尋常小學一、二學年
三、四學年
五、六學年

手工實習

凡三十時

二 同 同

手工實地授業

凡三時

三 教科書中ニ散見セル工業事項講話

凡六時

備考 講習員ハ現ニ使用シテ、アル國定教科書並ニ實習ニ要スル器具ヲ携帶スルヲ要ス尙詳細ハ直接學校ニ就キテ承合スヘシ
教育的倫理學講習要目 東京女子高等師範學校
每週九時 教授 吉田 熊次

一 社會ニ於ケル女子ノ位置ノ變遷

自一章至十章 野蠻人ノ間ニ於ケル女子ノ位置 支那ニ於ケル女子ノ位置 本邦ニ於ケル女子ノ位置 希臘羅馬ニ於ケル女子ノ位置 古代ノ西歐羅馬ニ於ケル女子ノ位置 中世ノ西歐羅馬ニ於ケル女子ノ位置 近世ノ西歐羅馬ニ於ケル女子ノ位置 女子運動ノ發達 女子運動ノ社會的經濟的原因 女子ノ運動ニ對スル評論

二 歐米ニ於ケル女性論

自一章至八章 古代ノ女性觀 一ハイシリッヒ、コルネーリウス、アグリッパ、フオン、ネッテス

ハイムノ女性論 一ジョン、シチニワード、ミルノ女性論 一ショッペンハウエルノ女性論 一ワ
イニゲルノ女性論 一アンリ、マリオンノ女性論 一ハプロック、エクスノ女性論 一女性
論ト女子問題トノ關係

三 本邦ニ於ケル女子問題

自一章至八章 貞原益軒ノ教女子法ト女大學 一土居光華ノ「文明論女大學」 一福澤諭吉ノ
「女大學批論」ト「新女大學」 一宮尊徳ノ女大學ノ論 一本邦古來ノ女子ノ教ト本邦古來ノ道
德主義トノ關係 一本邦古來ノ女子ノ教ニ關スル倫理學の哲學的基礎 一將來ニ於ケル女子
教育ノ理想 附男女共學ニ關スル論争 一學校教育ニ於ケル女徳ノ修養

家事科講習要目 東京女子高等師範學校

每週十二時 教授 宮川 壽美
每週九時 囑託 高橋 岩次郎

七 汚點拔法

一 室内掃除法

二 家具什器取扱方

三 洗濯法

四 張上法

一白布前掛

二箇

一銀

二箇

一縮巾(白布)

五箇

一足袋(和洋トモ)

六箇

備考 日本洗濯講習ノ爲メニ講習員ノ携帶スヘキ品左ノ如シ

木綿織物

絹織物

一白地ノ緞又ハ白地ノ緞

各一枚宛

一縮巾又ハ袖類

各一枚宛

一雙子縞

一縮巾(半縮又ハ襦袢ノ袖)

各一枚宛

一白地ノ類

一縮巾(半縮又ハ襦袢ノ袖)

各一枚宛

毛織物

- 一 毛斯倫(半襟又ハ襟袴ノ袖)
- 一 女子ノ袴
- 道具
- 一 木綿張 蓑(伸子) 三百本

- 一 前張袴
- 一 織張袴
- 一 浴櫃刷毛
- 一 糊付刷毛
- 一 張手
- 三十本
- 三十本
- 一 笛
- 二 笛

裁縫科講習要目

東京女子高等師範學校

每週二十一時

教授 今村 シュン
教授 神田 順

一 裁縫科ノ教授上特ニ注意スヘキ事項

二 和服類ノ裁縫及補綴

三 簡易ナル洋服類ノ製圖及裁縫

備考 講習員ノ裁縫用携帶品左ノ如シ

- 一金巾更紗 一段
- 一 紅絹 半段
- 一 白キヤラコ
- 一 針 鉄 腕尺 卷尺 鉋 鋸等ノ裁縫用具一切

音樂科講習要目

東京音樂學校

每週二時

教授 島崎 赤太郎

和聲學

旋律和聲法—對位法ノ初法—樂曲分解

ピアノノ 五指練習—分散和音練習—唱歌伴奏練習—樂曲練習

唱歌 頌聲練習—音程練習(數科ニウツナン) 應用歌曲

兵式教練講習要目

陸軍戸山學校

每週六時

助教授 岡野 貞一

每週凡十四時

講校教官 千村 長治郎
同 教官 榎 秀岳
同 教官 藁谷 勇三郎

一 新歩兵操典ノ主旨及本領ノ説明

二 新歩兵操典ニ基ク教練ノ實施

三 體操 劍術 射擊ノ要旨及實習等

國語正音法講習要目

東京高等師範學校

二十時

伊澤 修二

正音法要義 視話法概論 音聲發生ノ理

發音ニ關スル諸器諸腔ノ構造及官能 母音父音子音及拗音 普通發音ト各地方音トノ比較

發音ノ正訛 正字法及正音法ノ辨

國語正音法實習

訛音矯正實地練習法

國定尋常小學讀本讀方及話方正音法

吃音矯正ノ要義 腹式呼吸法

聲帶緩解法 母韻練習法 密閉子音練習法 精神修養法 意志鍛鍊法 對話法 辨論法 矯正ニ伴フ生理衛生及病理上ノ注意

吃音矯正法實習

吃音矯正實地練習法

特殊教育

十二時

乙竹 岩造

四 言語異常總論、言語異常ト精神異常トノ關係

四時間

三宅 鏡一

五 末梢器(即、耳、口腔、鼻腔、喉頭)ノ形態及作用ノ異常ニ關スル言語異常

八時間

廣瀬 涉

六 言語ト思想

四時間

大槻 快尊

○文部省告示第百八十五號

第四回美術展覽會期日、會場及出品出願期限等ヲ定ムルコト左ノ如シ

文部大臣 小松原英太郎

明治四十三年六月十六日

一 第四回美術展覽會ハ明治四十三年十月十四日ヨリ十一月十九日マテ之ヲ開會ス

開會當日ハ特ニ招待セラレタル者及優待券ヲ所持スル者ニ限り觀覽セシメ十月十五日ヨリ一

般公衆ノ觀覽ニ供ス

開會當日ハ陳列品ノ賣買契約ヲ取扱ハス

二 同會事務所ハ明治四十三年九月三十日マテハ文部省內ニ十月一日以後ハ會場內ニ之ヲ置ク

三 同會會場ハ東京市上野公園竹ノ臺陳列館トス

四 出品人ハ出品願書ヲ明治四十三年九月十五日ヨリ十月七日マテニ事務所ニ到達スル様差出ス

五 出品ハ十月一日ヨリ十月七日マテノ間ニ於テ之ヲ受理ス但シ明治四十二年文部省告示第百九

十號美術展覽會規程ニ依リ鑑査ヲ要セサル出品ハ明治四十三年十月十二日マテ之ヲ受理ス

六 伊太利萬國博覽會ニ出陳センコトヲ農商務省ニ出願シタル出品ニ就テハ其ノ旨ヲ出品目錄ニ

附箋スヘシ

○文部省告示第百八十六號

山口縣玖珂郡柳井町立柳井高等女學校ヲ山口縣玖珂郡柳井町ニ設置シ明治四十三年九月ヨリ開校ノ件認可セリ

文部大臣 小松原英太郎

明治四十三年六月十六日

○文部省告示第百八十七號

私立能美教育會圖書館ヲ石川縣能美郡小松町ニ設置ノ旨設立者ヨリ開申セリ

文部大臣 小松原英太郎

明治四十三年六月十六日

○文部省告示第百八十八號

村立平郡西文庫ヲ山口縣大島郡平郡西尋常高等小學校ニ附設ノ件認可セリ

文部大臣 小松原英太郎

明治四十三年六月十八日

○文部省告示第百八十九號

右ハ徵兵令第十三條並文官任用令第三條第三號ニ依リ認定ス

文部大臣 小松原英太郎

明治四十三年六月二十四日

○文部省告示第百九十號

明治三十六年文部省令第十四號專門學校入學者檢定規程第八條第一號ニ依リ左記ノ者ヲ米澤高等工業學校ノ入學ニ關シ中學校卒業者ト同等以上ノ學力ヲ有スルモノト指定ス

文部大臣 小松原英太郎

明治四十三年六月二十五日

一 工業學校卒業者

○文部省告示第百九十一號

新潟縣中頸城郡新井町ニ農業學校規程乙種組織ニ依リ新潟縣中頸城郡立新井農業學校ヲ同縣同郡

Table with 15 columns and 3 rows. Headers include '白瀧口', '白瀧口', '滑木浴', '滑木浴', '滑木浴', '滑木浴', '滑木浴', '滑木浴', '滑木浴', '滑木浴', '滑木浴', '滑木浴', '滑木浴', '滑木浴', '滑木浴'. Entries include names like 野村, 山内, 末廣, 益治郎, 益治郎, 長兵衛, 兵市, 長兵衛, 長助, 長助, 常次郎, 常次郎, 常次郎, 常次郎, 常次郎.

Table with 15 columns and 3 rows. Headers include '滑木浴', '滑木浴', '滑木浴', '滑木浴', '滑木浴', '滑木浴', '滑木浴', '滑木浴', '滑木浴', '滑木浴', '滑木浴', '滑木浴', '滑木浴', '滑木浴', '滑木浴'. Entries include names like 野村, 山内, 野村, 野村, 野村, 野村, 野村, 野村, 野村, 野村, 野村, 野村, 野村, 野村, 野村.

Table with 15 columns and 3 rows. Headers include '白瀧口', '白瀧口', '白瀧口', '白瀧口', '白瀧口', '白瀧口', '白瀧口', '白瀧口', '白瀧口', '白瀧口', '白瀧口', '白瀧口', '白瀧口', '白瀧口', '白瀧口'. Entries include names like 野村, 野村, 野村, 野村, 野村, 野村, 野村, 野村, 野村, 野村, 野村, 野村, 野村, 野村, 野村.

Table with 15 columns and 3 rows. Headers include '白瀧口', '白瀧口', '白瀧口', '白瀧口', '白瀧口', '白瀧口', '白瀧口', '白瀧口', '白瀧口', '白瀧口', '白瀧口', '白瀧口', '白瀧口', '白瀧口', '白瀧口'. Entries include names like 野村, 野村, 野村, 野村, 野村, 野村, 野村, 野村, 野村, 野村, 野村, 野村, 野村, 野村, 野村.

Table with 15 columns and 3 rows. Headers include '白瀧口', '白瀧口', '白瀧口', '白瀧口', '白瀧口', '白瀧口', '白瀧口', '白瀧口', '白瀧口', '白瀧口', '白瀧口', '白瀧口', '白瀧口', '白瀧口', '白瀧口'. Entries include names like 野村, 野村, 野村, 野村, 野村, 野村, 野村, 野村, 野村, 野村, 野村, 野村, 野村, 野村, 野村.

Table with 15 columns and 3 rows. Headers include '白瀧口', '白瀧口', '白瀧口', '白瀧口', '白瀧口', '白瀧口', '白瀧口', '白瀧口', '白瀧口', '白瀧口', '白瀧口', '白瀧口', '白瀧口', '白瀧口', '白瀧口'. Entries include names like 野村, 野村, 野村, 野村, 野村, 野村, 野村, 野村, 野村, 野村, 野村, 野村, 野村, 野村, 野村.

同糖豆郡西尾町大字上町 稻荷山 同南殿樂郡東郷村大字淺谷 堂ノ上 同大字大宮 狐塚 同大字八束徳 宮下 同大字富永 西田 同千郷村大字片山 中原敷 同海老町大字連合 一本杉	六三三 二六二 一〇〇〇 一七四 一三 四〇八三 一〇〇八 九三〇 四八一九 五〇八 一五八 一五九	宮ノ入 同大字四谷 濱井場 弓立 同西加茂郡三好村大字黒征 寺山 同大字篤生 山ノ上 南山ノ上 同海母町大字下林 宮ノ腰 同寶飯郡國府町大字久保 社地	三 二九八 九五七 九五七 九六六 九六六 一九三 九九九 九九九 七 八	二〇一〇 一五〇〇 二〇八 二〇八 五二九 二五三 四三七 一〇九二 一〇九二 一〇六七 七二四	同八幡村大字市田 宮田 同豐川町大字當古 西新井 同御津村大字御島 鹽濱 同瀨美郡杉山村大字杉山 御園 同野田村大字野田 龍田 同	一 一 七 七 三 三 九 九 六 六 三 三	三七八二五 二九四〇三 八七二六 四三二〇 八〇〇〇 五八〇八 七二〇六 九二二 九二二 一四二一 三六〇八
---	---	---	---	--	---	--	--

○農商務省告示第三百二號
森林法ニ依リ左記ノ保安林ヲ解除ス

明治四十三年六月九日

農商務大臣 小松原英太郎
兵庫 朝來 中川 大字 多々良木 大谷 地番 面積

○農商務省告示第三百三號
水産技術員等ニ對スル講習會開催ス其ノ要項左ノ如シ

明治四十三年六月九日

農商務大臣 小松原英太郎

講習科目	會場	期間	講習員資格	定員
漁業基本 調査方法	(イ)農商務省水産講習所高島 實驗場(千葉縣安房郡) (ロ)長崎縣水産試驗場(北松 浦郡平戸村)	自七月十五日 至七月二十四日 自八月二十一日 至八月三十一日	一地方水産試驗場、同水産 講習所技術員 二地方水産學校教員 (但シ可成昨年ノ講習ニ 出席セサルモノ)	兩會場共各二 十名
航海及運用術 船用機關取扱法 鯨節製造改良法	農商務省水産講習所館山 假實驗場(千葉縣安房郡) 同 農商務省水産講習所小田 原實驗場(神奈川縣足柄 下郡)	自七月十五日 至七月二十八日 自七月二十九日 至八月十一日 自七月二十日 至八月二十日	地方同水産試驗場同水 産講習所技術員同水産學 校教員	約三十名 同 五名

一地方長官カ講習員ヲ選定シタルトキハ氏名 職名及ヒ其講習科目(基本調査方法ニアリテハ其會場ヲ選定シ)ヲ來ル
六月三十日迄ニ東京市深川區越中島町農商務省水産講習所宛通知シ開會前日迄ニ會場ニ出頭セシムル
一講習ヲ終リタル者ニハ其出席日數等ヲ查察シ證明書ヲ與フヘシ

○農商務省告示第三百四號
森林法ニ依リ左記ノ保安林ヲ解除ス

明治四十三年六月十四日

農商務大臣 小松原英太郎
府 市 區 大字 字 不動山 所有者
京都 京都 上京 鹿ヶ谷町 四〇四三ノ外 四〇四三ノ外 四〇四三ノ外
○農商務省告示第三百五號
森林法ニ依リ左記ノ箇所ヲ保安林ニ編入ス

明治四十三年六月十五日

農商務大臣 小松原英太郎
縣 郡 村 大字 字 所有者
宮城 桃生 野蒜 野蒜 龜岡濱 一〇〇〇〇〇 國(部分林種利)

○農商務省告示第三百六號

明治四十三年六月十一日左記入漁ニ關スル事項ヲ免許漁業原簿ニ登録セリ

漁業ノ種類及名稱 漁獲物ノ種類 漁業時期
細布 漁業 細布 六月三十日
和布 漁業 和布 七月三十一日
登錄番號 第一三四二號

農商務大臣 小松原英太郎
入漁區域 巖手縣上閉伊郡龜住居村大字宿野小金ヶ崎
り御箱崎ニ至ル間ノ地先免許番號第三二六二號漁場
入漁權者 巖手縣上閉伊郡龜住居村大字宿野、兩石浦漁
業組合

○農商務省告示第三百七號

森林法ニ依リ左記ノ箇所ヲ保安林ニ編入ス
明治四十三年六月十七日

縣	郡	村	大字	字	地番	面積	所有者
和歌山	那賀	長田	北長田	宮ノ前	四七三	四〇、三九〇、九	長田村大字北志
			北志野	奥山	六九六	九七、三〇九、九	野南志野
			大字	葛城	九六九、一	八五、八〇二、八	上野村大字宿野
				葛城	九六九、一	二七、三二四、四	上野村大字宿野
				葛城	九六九、一	二七、三二四、四	上野村大字宿野
				葛城	九六九、一	二七、三二四、四	上野村大字宿野
				葛城	九六九、一	二七、三二四、四	上野村大字宿野
				葛城	九六九、一	二七、三二四、四	上野村大字宿野
				葛城	九六九、一	二七、三二四、四	上野村大字宿野
				葛城	九六九、一	二七、三二四、四	上野村大字宿野

○農商務省告示第三百八號

森林法ニ依リ左記ノ保安林ヲ解除ス
明治四十三年六月十七日

縣	郡	村	大字	字	地番	面積	所有者
和歌山	那賀	長田	北長田	宮ノ前	四七三	四〇、三九〇、九	長田村大字北志
			北志野	奥山	六九六	九七、三〇九、九	野南志野
			大字	葛城	九六九、一	八五、八〇二、八	上野村大字宿野
				葛城	九六九、一	二七、三二四、四	上野村大字宿野
				葛城	九六九、一	二七、三二四、四	上野村大字宿野
				葛城	九六九、一	二七、三二四、四	上野村大字宿野
				葛城	九六九、一	二七、三二四、四	上野村大字宿野
				葛城	九六九、一	二七、三二四、四	上野村大字宿野
				葛城	九六九、一	二七、三二四、四	上野村大字宿野
				葛城	九六九、一	二七、三二四、四	上野村大字宿野

○農商務省告示第三百九號

左記箇所ノ開墾ヲ爲サムトスル者ハ福井縣知事ノ許可ヲ受クヘシ
明治四十三年六月二十一日

農商務大臣 小松原英太郎

字號 福井縣南條郡北山村大字上野
九三 奥千石谷 二七一

地番 面積
二七一 可換歩 一、〇〇〇〇〇

同 同

二七一

一、八九〇〇

○農商務省告示第三百十號

左記箇所ノ開墾ヲ爲サムトスル者ハ福井縣知事ノ許可ヲ受クヘシ

明治四十三年六月二十二日

農商務大臣 小松原英太郎

字號 福井縣南條郡南山村大字中小屋
三〇 屋山 三

地番 面積
三〇 同 同 同 同
二、八〇〇 同 同 同 同

同 同 同 同
同 同 同 同
同 同 同 同
同 同 同 同

同 同 同 同
同 同 同 同
同 同 同 同
同 同 同 同

○農商務省告示第三百十一號

左記箇所ノ開墾ヲ爲サムトスル者ハ福井縣知事ノ許可ヲ受クヘシ

明治四十三年六月二十二日

農商務大臣 小松原英太郎

字號 福井縣今立郡下池田村大字松ヶ谷
六九 敷馬 一八二

地番 面積
六九 同 同 同 同
一八二 同 同 同 同

同 同 同 同
同 同 同 同
同 同 同 同
同 同 同 同

同 同 同 同
同 同 同 同
同 同 同 同
同 同 同 同

同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同

同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同

同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同

同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同

同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同

同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同

同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同

同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同

○農商務省告示第三百十二號

明治四十三年六月十八日左記專用漁業權者ノ代表者ヲ免許漁業原簿ニ登録セリ

農商務大臣 小松原英太郎

明治四十三年六月二十二日

○農商務省告示第三百十三號

製鐵所ニ瀾出張所ヲ福岡縣嘉穂郡波村大字枝國字長浦ニ移轉シ來ル七月一日ヨリ同所ニ於テ事務ヲ取扱フ

農商務大臣 小松原英太郎

○農商務省告示第三百十四號

左記區域内ニアル森林ノ開墾ヲ爲サムトスル者ハ山梨縣知事ノ許可ヲ受クヘシ但シ御料林國有林竝ニ砂防法其ノ他ノ法令ニ基ク開墾制限地ヲ除ク

農商務大臣 小松原英太郎

明治四十三年六月二十三日

山梨縣西上郡大宮村大字 西之山
同大字羽鳥 上之山

同 同 同 同
同 同 同 同
同 同 同 同
同 同 同 同

同 同 同 同
同 同 同 同
同 同 同 同
同 同 同 同

同 同 同 同
同 同 同 同
同 同 同 同
同 同 同 同

○農商務省告示第三百十五號

左記箇所ノ開墾ヲ爲サムトスル者ハ山梨縣知事ノ許可ヲ受クヘシ

明治四十三年六月二十三日

農商務大臣 小松原英太郎

山梨縣甲府市元祖屋町	地番	同	三七	同	三八一	同	三五六
同	同	同	三五	同	三七八	同	三五七
同	同	同	三五	同	三五八	同	
同	同	同	三五〇	同	三五五	同	
同	同	同	三五〇	同	三五五	同	

○農商務省告示第三百十六號

明治四十三年六月二十四日左記專用漁業權者ノ代表者ヲ免許漁業原簿ニ登録セリ

明治四十三年六月二十七日

農商務大臣 小松原英太郎

免許番號	免許年月日	漁業權者ノ代表者ノ名稱住所
第三三五〇號	明治四十三年一月二十日	静岡県田方郡網代村網代港漁業組合
第三三五二號	同	同

○農商務省告示第三百十七號

明治四十三年六月二十五日左記專用漁業權者ノ代表者ヲ免許漁業原簿ニ登録セリ

明治四十三年六月二十九日

農商務大臣 小松原英太郎

免許番號	免許年月日	漁業權者ノ代表者ノ名稱住所
第三八六二號	明治四十三年四月三十日	千葉縣安房郡館山町館山浦漁業組合

○農商務省告示第三百十八號

森林法ニ依リ左記保安林ヲ解除ス

明治四十三年六月二十九日

農商務大臣 小松原英太郎

府	大字	農商務大臣 小松原英太郎	所有者
京都府	葛野村	大字	天龍寺
同	嵯峨村	大字	龜山
同	嵯峨	大字	龜山
同	嵯峨	大字	龜山

○農商務省告示第三百十九號

森林法ニ依リ保安林解除ニ關シ京都府知事ニ於テ告示シタル左記ノ保安林ハ之ヲ解除セシ

明治四十三年六月二十九日

農商務大臣 小松原英太郎

府	大字	農商務大臣 小松原英太郎	所有者
京都府	葛野村	大字	上山田
同	嵯峨村	大字	嵐山
同	嵯峨	大字	嵐山

○農商務省告示第三百二十號

森林法ニ依リ保安林解除ニ關シ島根縣知事ニ於テ告示シタル左記ノ保安林ハ之ヲ解除セシ

明治四十三年六月二十九日

農商務大臣 小松原英太郎

縣	大字	農商務大臣 小松原英太郎	所有者
島根縣	簸川村	大字	伊奈西波岐
同	八束	大字	神社上地
同	安濃	大字	日御崎上地
同	安濃	大字	八幡宮上地

○農商務省告示第三百二十一號

森林法ニ依リ左記ノ箇所ヲ保安林ニ編入ス

明治四十三年六月三十日

農商務大臣 小松原英太郎

字	面積	所有者	農商務大臣 小松原英太郎	面積	所有者
廣島縣沼津郡山波村	五〇八	同	小松原英太郎	三〇三	高垣
同	四四六	同	小松原英太郎	二〇〇	石松
同	一七四	同	小松原英太郎	二〇〇	石松
同	一七四	同	小松原英太郎	二〇〇	石松

○農商務省告示第三百二十二號

森林法ニ依リ保安林解除ニ關シ廣島縣知事ニ於テ告示シタル左記保安林ハ之ヲ解除セシ

明治四十三年六月三十日

農商務大臣 小松原英太郎

縣	大字	農商務大臣 小松原英太郎	所有者
廣島縣	沼津	大字	法大寺
同	沼津	大字	法大寺
同	沼津	大字	法大寺

○遞信省告示第六百五十號
本日ヨリ左記郵便局ニ電話通話事務ヲ開始ス

明治四十三年六月一日

遞信大臣 男爵後藤新平

名 稱 位
中之條郵便局 群馬縣吾妻郡中之條町
原町郵便局 群馬縣吾妻郡原町

名 稱 位
長野原郵便局 長野縣原町
草津郵便局 群馬縣吾妻郡草津町

○遞信省告示第六百五十一號
明治三十三年八月遞信省告示第三百十四號電話呼出地域中左ノ通追加シ本日ヨリ施行ス

明治四十三年六月一日

遞信大臣 男爵後藤新平

「上野國碓氷郡見村大字上里見字神山驛」ノ項ノ次ニ
上野國吾妻郡中之條町大字中之條字小川ヲ除ク、同伊勢町(字古町、同只則ヲ除ク)、同西中之條字新田
上野國吾妻郡原町大字原町字須藤澤、同南町、同下ノ町、同上ノ町、同紺屋町
上野國吾妻郡長野町大字長野原(字八ツノ下、同又打ノ下)
上野國吾妻郡草津町大字草津字西町、同新田、同東町、同泉水、同瀧下、同地蔵、同湯ノ澤、同西河原

○遞信省告示第六百五十二號
明治三十九年六月遞信省告示第二百六十四號加入區域外通話區域及通常電話料中左ノ通追加シ本日ヨリ施行ス

明治四十三年六月一日

遞信大臣 男爵後藤新平

加入區域外 一通話ノ通 常電話料
中之條東京間 金三十五錢
中之條前橋間 金二十錢
中之條高崎間 金二十錢
中之條澁川間 金十五錢
中之條伊香保間 金十錢

加入區域外 一通話ノ通 常電話料
中之條沼田間 金三十五錢
中之條安中間 金二十錢
中之條原町間 金二十錢
中之條長野原間 金十五錢
中之條草津間 金十錢

加入區域外 一通話ノ通 常電話料
原町東京間 金三十五錢
原町前橋間 金二十錢
原町高崎間 金二十錢
原町澁川間 金十五錢
原町伊香保間 金十錢

○遞信省告示第六百五十三號
本日ヨリ左記郵便局ヲ改稱ス

原町沼田間	金二十五錢	粕壁下館間	金二十錢	成田佐原間	金十五錢
原町安中間	金二十錢	八王子入間川間	金十五錢	熊谷足利間	金十五錢
原町長野原間	金十錢	甲府前橋間	金六十錢	熊谷栃木間	金二十錢
原町草津間	金十五錢	甲府豐岡間	金二十五錢	熊谷佐野間	金二十錢
長野原草津間	金十錢	千葉旭町間	金二十五錢	水庄伊勢崎間	金十錢
草津東京間	金四十五錢	行田大宮間	金二十錢	羽生山直江津間	金二十五錢
浦和大森間	金二十錢	行田高崎間	金二十五錢	嵐代松木間	金二十錢
粕壁川越間	金二十錢	行田土浦間	金二十五錢	嵐代別所間	金二十錢
粕壁加須間	金二十五錢	野田石岡間	金二十五錢	嵐代岩村田間	金二十五錢
粕壁栃木間	金二十五錢	野田水海道間	金十錢	嵐代直江津間	金二十五錢
粕壁古河間	金二十錢	野田水海道間	金二十五錢	湯田中直江津間	金二十五錢
粕壁小山間	金二十錢	野田栃木間	金二十五錢		
		野田佐野間	金二十五錢		

明治四十三年六月一日

遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第六百五十四號
本月二十一日ヨリ左記三等郵便局ヲ設置ス但シ郵便物集配事務ヲ取扱ハス

明治四十三年六月一日

遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第六百五十五號
北海道渡島國龜田郡汐首岬燈臺ノ設置ノ霧笛ハ吹鳴停止ノ處(本年遞信省告示第五百五十一號參照)本年五月三十一日以後從前ノ通吹鳴ス

明治四十三年六月一日

遞信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第六百五十六號

本月六日ヨリ左記郵便局ノ特設電話加入申請ヲ受理ス希望者ハ明治四十一年九月逓信省令第四十三號特設電話規則ニ依リ加入申請書ヲ差出スベシ但シ電話交換業務開始ノ日ハ追テ之ヲ告示ス

明治四十三年六月三日

逓信大臣 男爵後藤新平

出羽郵便局 島根縣邑智郡出羽村

島根縣邑智郡出羽村

○逓信省告示第六百五十七號

明治四十一年九月逓信省告示第九百十號特設電話加入區域中左ノ追加ス

明治四十三年六月三日

逓信大臣 男爵後藤新平

監督局 開設局

加 入

區

大字 出羽

字町

廣 島 出 羽

島根縣 邑智郡

出羽村

大字 出羽

同 三日市

字町

廣 島 出 羽

島根縣 邑智郡

竹矢村

大字 八輪

同 馬 輪 字 灘 分 同 山 本

○逓信省告示第六百五十八號

本月十一日ヨリ左記三等郵便局ヲ設置ス但シ郵便物集配事務ヲ取扱ハス

明治四十三年六月三日

逓信大臣 男爵後藤新平

名 稱

位

區

方城郵便局

福岡縣田川郡方城村(設置局)

下赤郵便局

宮崎縣東臼杵郡北川村(設置局)

中野郵便局

鹿兒島縣薩摩郡宮ノ城村(設置局)

市水郵便局

宮崎縣南那珂郡市水村(設置局)

市水郵便局

宮崎縣南那珂郡市水村(設置局)

○逓信省告示第六百五十九號

本月五日ヨリ左記三等郵便局ヲ設置ス但シ郵便物集配事務ヲ取扱ハス

明治四十三年六月四日

逓信大臣 男爵後藤新平

萬字山郵便局

北海道石狩國空知郡栗澤村字萬字山(設置局)

萬字山郵便局

北海道石狩國雨龍郡北龍村字萬字山(設置局)

別所郵便局

北海道北見國紋別郡別所村字別所(設置局)

別所郵便局

北海道北見國紋別郡別所村字別所(設置局)

別所郵便局

北海道日高國三石郡三石村大字別所(設置局)

別所郵便局

北海道日高國三石郡三石村大字別所(設置局)

別所郵便局

北海道日高國三石郡三石村大字別所(設置局)

別所郵便局

北海道日高國三石郡三石村大字別所(設置局)

別所郵便局

北海道日高國三石郡三石村大字別所(設置局)

別所郵便局

北海道日高國三石郡三石村大字別所(設置局)

別所郵便局

北海道日高國三石郡三石村大字別所(設置局)

別所郵便局

北海道日高國三石郡三石村大字別所(設置局)

別所郵便局

北海道日高國三石郡三石村大字別所(設置局)

別所郵便局

北海道日高國三石郡三石村大字別所(設置局)

別所郵便局

北海道日高國三石郡三石村大字別所(設置局)

別所郵便局

北海道日高國三石郡三石村大字別所(設置局)

別所郵便局

北海道日高國三石郡三石村大字別所(設置局)

○逓信省告示第六百六十二號
本月十日限り左記郵便局ニ於ケル郵便物集配事務ヲ廢止ス但シ當該事務ハ下記郵便局之ヲ承繼ス

明治四十三年六月六日
逓信大臣 男爵後藤新平
承繼局名 大垣郵便局

○逓信省告示第六百六十三號
本日ヨリ左記郵便局ニ電話交換業務ヲ開始シ電報規則第七十五條ニ依ル電話加入者ノ託送電報ヲ

モ取扱フ
明治四十三年六月六日
逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第六百六十四號
本月十一日ヨリ左記三等郵便局ヲ設置ス但シ郵便物集配事務ヲ取扱ハス

明治四十三年六月七日
逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第六百六十五號
本月十六日ヨリ左記三等郵便局ヲ設置ス但シ郵便物集配事務ヲ取扱ハス

明治四十三年六月七日
逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第六百六十六號
明治三十三年ハ逓信省告示第三百十四號電話呼出地域中左ノ通追加シ本月十一日ヨリ施行ス

明治四十三年六月七日
逓信大臣 男爵後藤新平

〔近江國甲賀郡寺庄村大字寺庄〕ノ項ノ次ニ
近江國犬上郡豐郷村大字八町同安食西字安食西 大字安食南字安食南 大字三ツ池

入山郵便局 福島縣石城郡内郷村(新設) 二ツ屋郵便局 秋田縣北秋田郡長木村(改組)

近江國犬上郡豐郷村大字八町同安食西字安食西 大字安食南字安食南 大字三ツ池

○逓信省告示第六百六十七號
左記郵便局ニ於テ本月十五日以降當該汽船米國ニ向ケ横濱ヲ出帆スル日ヨリ郵便切手類ノ賣捌ヲ

開始ス
明治四十三年六月七日
逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第六百六十八號
郵便局所ニ於テ外國爲替金ノ換算ニ適用スヘキ外國貨幣換算割合左ノ如シ

明治四十三年六月七日
逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第六百六十九號
秋田縣羽後國南秋田郡船川燈臺ハ修繕工事ノ爲メ本月二十日ヨリ七月三日迄十四日間點火ヲ休止

スル旨同縣ヨリ報告セリ
明治四十三年六月七日
逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第六百七十號
明治四十二年七 逓信省告示第六百二十二號外國電報ノ取扱ニ關スル制限中「アンゴラ」ノ項ヲ削除

ス
明治四十三年六月七日
逓信大臣 男爵後藤新平

米	貨	一メラー	二	一圓ニ付四十九セント五八三
香港洋銀	一メラー	八八七五〇	一圓ニ付	六七六
銀	一メラー	八九五〇〇	一圓ニ付	七三三

其ノ他ノ貨幣換算割合ハ従前ノ通

○遞信省告示第六百七十一號
明治三十三年ハ遞信省告示第三百十四號電話呼出地域中左ノ通删除追加シ本月十一日ヨリ施行ス

明治四十三年六月七日
遞信大臣 男爵後藤新平

播磨國揖保郡旭陽村ノ項中 大字福井ノ下ニ「石海村 大字系井」ヲ加フ
備中國後月郡芳井村ノ項中 大字築瀬字店側ヲ删除シ 大字吉井字山内ノ下ニ「大字築瀬字見瀬側 同山崎 同中上」ヲ加フ

○遞信省告示第六百七十二號
明治四十二年ハ遞信省告示第六百七號外國電報料金表中左ノ通改正ス

明治四十三年六月七日
遞信大臣 男爵後藤新平

第一表 Oceania(大洋洲地方) Caroline Islands (「キヤロリン」群島) Palaos or Pelew Islands (「パラオス」又ハ「スリロー」群島)ノ部中 Angaur (「マンガウル」)ノ項ヲ左ノ通改メ 同項ノ次ニ在ル記事ヲ削ル
Angaur (「マンガウル」)ノ部中 Cabinda (「カビンダ」)ノ項ヲ左ノ通改メ
同表 Africa(亞非利加地方)ノ部中 Cabinda (「カビンダ」)ノ項ヲ左ノ通改メ
Cahinda Colony (「カナン」殖民地)
Cabinda (「カビンダ」)
Landana (「ランドナ」)

遞信大臣 男爵後藤新平

第二表 Oceania(大洋洲地方) Caroline Islands (「キヤロリン」群島) Palaos or Pelew Islands (「パラオス」又ハ「スリロー」群島)ノ部中 Angaur (「マンガウル」)ノ項ヲ左ノ通改メ 同項ノ次ニ在ル記事ヲ削ル
Angaur (「マンガウル」)

遞信大臣 男爵後藤新平

Angaur (「マンガウル」)

第三表 Oceania(大洋洲地方) Caroline Islands (「キヤロリン」群島) Palaos or Pelew Islands (「パラオス」又ハ「スリロー」群島)ノ部中 Angaur (「マンガウル」)ノ項ヲ左ノ通改メ 同項ノ次ニ在ル記事ヲ削ル
Angaur (「マンガウル」)

遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第六百七十三號
本月十一日以降新潟市内ニ在ル各郵便局ニ於テ新潟市公金ニ對シ郵便振替貯金ノ特別取扱ヲ爲サス

明治四十三年六月八日
遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第六百七十四號
明治四十一年ハ遞信省告示第千三百六十一號帝國ト外國郵便爲替ヲ交換スル國等ヲ示ス表第一「通常爲替」一 直接交換國「甲 羅馬締結郵便爲替業務約定ニ依ルモノ」ノ部伯西兒ノ項中爲替取扱局ノ欄内現記事ヲ「總テノ局」ニ改メ

明治四十三年六月八日
遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第六百七十五號
本年ハ遞信省告示第四百三十五號別表線路區域中神戸遞信管理局 米子郵便局ノ下「鳥取支道線」ヲ「浦富今市線」ニ改メ 本月十日ヨリ施行ス

明治四十三年六月九日
遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第六百七十六號
明治三十六年ハ勅令第四十一號ニ基テ請願ニ依リ本月十一日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス
明治四十三年六月九日
遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第六百七十七號

本月十日限り左記電信取扱所ニ於ケル電報配達事務ヲ廢止ス

明治四十三年六月九日

位置 香川縣香川郡上笠原村

名稱 島無電取扱所

○遞信省告示第六百七十八號

本月二十六日ヨリ左記三等郵便局ヲ設置ス但シ郵便物集配事務ヲ取扱ハス

明治四十三年六月十日

位置 奈良縣生駒郡安堵村(小泉郵便局)

名稱 安堵郵便局

○遞信省告示第六百七十九號

明治四十二年七月七遞信省告示第六百二十二號外國電報ノ取扱ニ關スル制限中「マダガスカル島」及

「レニニオン島」ノ二項ヲ削除ス

明治四十三年六月十日

遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第六百八十號

明治四十二年十二月十二遞信省告示第千三百四號小包郵便ニ依リ諸外國ニ輸入スルコトヲ得サル物品表

中左ノ通改正ス

明治四十三年六月十日

遞信大臣 男爵後藤新平

一(五)濠太刺利ノ部、濠洲聯邦ノ項中「古著類」ヲ加フ

○遞信省告示第六百八十一號

明治四十二年三月三遞信省告示第四百三十五號別表中神戸遞信管理局ノ下神戸鐵道郵便局ノ線路區域

中「岡山美袋線」ノ下ニ「岡山平線」ヲ追加シ又同高松郵便局ノ線路區域「高松平線」ヲ「岡山平線」ノ内高

松平ト改メ本月十二日ヨリ施行ス

明治四十三年六月十日

遞信大臣 男爵後藤新平

〔參照〕

明治四十三年三月三遞信省告示第四百三十五號ハ鐵道列車内及船舶内ニ於ケル郵便現業事務ノ所掌郵便局線路區域及管轄遞信管理局ノ件ナリ

○遞信省告示第六百八十二號

明治四十二年十一月十一遞信省告示第千五百五十五號遞信官吏練習所規則中左ノ通改正シ本日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十三年六月十一日

遞信大臣 男爵後藤新平

第一條ヲ左ノ如ク改ム

第一條 遞信官吏練習所ハ遞信部内ニ奉職スル吏員ニ對シ遞信事業ニ必要ナル特種ノ學藝技術ヲ教授ス

第二條中「通信事業ノ監理及電氣事業ノ監督」ヲ「遞信事業ニ關スル行政」ニ改ム

第四條中「所屬局」ヲ「所屬部局」ニ改ム

第七條中行政科ノ學科目ノ次ニ左ノ學科目及但書ヲ加フ

一五 電氣事業法規

一六 管船法規

但シ一五及一六ノ學科目ハ選擇科目ト爲シ其一ヲ選修スル者ニハ一乃至五及一〇ノ學科目中ノ一部分ニ限リ適宜省略スルモノトス

第十二條中「通信局長電氣局長經理局長」ヲ「遞信本省部局長」ニ改ム

第十七條中但書ヲ左ノ如ク改ム

但逓信部内ニ在職スル者ハ第十二條ニ依ル推選書ヲ添付スルヲ要ス
第二十五條中逓信管理局又ハ通信官署ヲ逓信部内ニ改ム
證書原本及所屬局證明書書式中局ヲ「部局」ニ改ム

〔参照〕

- 逓信省告示第千五百五十五號逓信官吏練習所規則(明治四十二年十一月二十日)抄録
- 第一條 逓信官吏練習所ハ逓信局電氣局經理局郵便貯金局逓信管理局及通信官署ニ奉職スル吏員ニ對シ通信事業及電氣監
督上必要ナル特種ノ學藝技術ヲ教授ス
- 第二條 本所ニ行政技術電信ノ三科ヲ置キ行政科ニ於テハ通信事業ノ監理及電氣事業ノ監督技術科ニ於テハ電信電話及
電力ニ關スル學術電信科ニ於テハ高等電氣通信術ヲ教授スルヲ以テ主要ノ目的トス
- 第四條 本所ニ入學シ命セラレタル者卒業又ハ退學シタルトキハ其所屬局ニ復歸セシムルヲ以テ本則トス
- 但所屬局ナキ者ハ逓信大臣ノ指定ニ依ルモノトス
- 第十二條 入學試験ハ毎年一回トシ行政科技術科ニ就テハ通信局長電氣局長經理局長郵便貯金局長及所轄逓信管理局長
ノ推選ニ依ル吏員並ニ逓信部外ヨリ一般入學志願者ニ對シ電信科ニ就テハ所轄逓信管理局長ノ推選ニ依ル吏員ニ對シ三
月之ヲ行フ
- 第十七條 入學志願者ハ甲號書式ノ入學願書ニ照應書ヲ添ヘ逓信大臣ニ提出スヘシ
- 但通信局長電氣局長經理局長郵便貯金局長及逓信管理局長ニ在職スルモノハ當該局長又逓信官署ニ在職スルモノハ所轄逓信
管理局長ノ推選書ヲ添付スルヲ要ス
- 第二十五條 練習生ハ實修期ニ於テハ勿論學修期ニ於テモ實務訓練ノ爲メ當務者タル責任ヲ以テ逓信管理局又ハ逓信官署
ニ於テ職務ヲ命セラレタルコトアルヘシ

○逓信省告示第六百八十三號

本日ヨリ左記郵便局ニ電話交換業務ヲ開始シ電報規則第七十五條ニ依ル電話加入者ノ託送電報ヲ
モ取扱フ
明治四十三年六月十一日
逓信大臣 男爵後藤新平

名稱	總郵便局	位	逓信大臣
			男爵後藤新平

○逓信省告示第六百八十四號

本日ヨリ左記郵便局ニ電話交換業務及電話通話事務ヲ開始ス但シ八津合、山家各郵便局ニ於テハ
電報規則第七十五條ニ依ル電話加入者ノ託送電報ヲモ取扱フ
明治四十三年六月十一日
逓信大臣 男爵後藤新平

名稱	物部郵便局	位	逓信大臣
			男爵後藤新平
	梅道郵便局		
	八津合郵便局		
	山家郵便局		
	私市郵便局		

○逓信省告示第六百八十五號

本日ヨリ左記郵便局ニ電話通話事務ヲ開始ス
明治四十三年六月十一日
逓信大臣 男爵後藤新平

名稱	志賀郵便局	位	逓信大臣
			男爵後藤新平
	奧上林郵便局		

○逓信省告示第六百八十六號

明治三十三年ハ逓信省告示第三百十四號電話呼出地域中左ノ通追加シ本日ヨリ施行ス
明治四十三年六月十一日
逓信大臣 男爵後藤新平

- 丹波國多紀郡福住村大字福住ノ項ノ次ニ
- 丹波國何鹿郡物部村大字物部字物部、同天野、同岡ノ島、同藤助岐、同上岸田、大字新庄字新庄、大字西坂字西保
- 丹波國何鹿郡東八田村大字梅道字梅道、大字安國寺、同上杉字大石
- 丹波國何鹿郡中上林村大字八津合字西屋、同日置、同神谷、同寺町、同石橋、同殿、大字鹽合字引地、同小田、同眞野
- 丹波國何鹿郡山家村大字應栖字應栖、同受戸、大字廣瀬字廣瀬、同北谷、大字上原字上原
- 丹波國何鹿郡佐賀村大字私市字下私市
- 丹波國何鹿郡志賀村大字志賀字志賀
- 丹波國何鹿郡上林村大字後園字川原、同八代

○逓信省告示第六百八十七號
 明治三十九年六月逓信省告示第二百六十四號加入區域外通話區域及通常電話料中左ノ通追加シ本
 ヲリ施行ス

明治四十三年六月十一日		
加入區域外 通話區域	一通信ノ通 常電話料	加入區域外 通話區域
物部福知山間	金十錢	山家私市間
物部宮津間	金十五錢	山家志賀間
物部河守間	金十錢	山家私市間
物部南有路間	金十五錢	山家私市間
物部梅道間	金十錢	山家私市間
物部八津合間	金十五錢	山家私市間
物部山家間	金十五錢	山家私市間
物部私市間	金十五錢	山家私市間
物部志賀間	金十五錢	山家私市間
物部志賀間	金十五錢	山家私市間
梅道福知山間	金十五錢	山家私市間
梅道宮津間	金十五錢	山家私市間
梅道河守間	金十五錢	山家私市間
梅道南有路間	金十五錢	山家私市間
梅道八津合間	金十五錢	山家私市間
梅道山家間	金十五錢	山家私市間

○逓信省告示第六百八十八號
 本月十六日ヨリ左記三等郵便局ヲ設置ス但シ郵便物集配事務ヲ取扱ハス
 逓信大臣 男爵後藤新平
 明治四十三年六月十一日

名	種	位	置
東京市京橋區南小田原町四丁目(郵便局)	郵便局	位	置
東京市淺草區新谷町(郵便局)	郵便局	位	置
東京市深川區江漢町(郵便局)	郵便局	位	置

○逓信省告示第六百八十九號

本月十六日ヨリ左記郵便局ニ電話呼出規程第四條ノ取扱ヲ開始ス
 逓信大臣 男爵後藤新平
 明治四十三年六月十三日

○逓信省告示第六百九十號

萬國郵便條約施行規則第十六條ニ依リ製造シタル私製葉書ニシテ其ノ裏面全體ニ薄キ木羽ヲ密著セシメ脱落ノ虞ナキモノハ特ニ左記諸國宛ニ限り之ヲ郵便葉書トシテ發送スルコトヲ得
 逓信大臣 男爵後藤新平
 明治四十三年六月十三日

名	種	位	置
亞然音	丁	抹	海峽殖民地
伯兒	埃	及	印度支那、佛國、西屬地、及保羅國
勃瓦	埃	及	新西蘭、西屬地、及保羅國
智利	埃	及	喜望峯殖民地
古倫比亞	埃	及	哥倫比亞、海峽殖民地
古西多利亞	埃	及	海峽殖民地
古西多利亞	埃	及	海峽殖民地
古西多利亞	埃	及	海峽殖民地
古西多利亞	埃	及	海峽殖民地
古西多利亞	埃	及	海峽殖民地

○逓信省告示第六百九十一號

郵便局所ニ於テ外國為替金ノ換算ニ適用スヘキ外國貨幣換算割合左ノ如シ
 逓信大臣 男爵後藤新平
 明治四十三年六月十四日

米	一ダラー	三〇〇〇〇	一圓二付	40分ナ
香港洋銀	一ダラー	八八八九六	一圓二付	四九一分
銀	一ダラー	八八二五〇	一圓二付	〇四五

其ノ他ノ貨幣換算割合ハ従前ノ通

○逓信省告示第六百九十二號

本月十六日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス
明治四十三年六月十四日

名 稱 位 置 逓信大臣 男爵後藤新平
廣谷郵便局 兵庫縣養父郡廣谷村 大屋郵便局 兵庫縣養父郡大屋村

○逓信省告示第六百九十三號

本月十六日ヨリ左記郵便局ニ電話交換業務及電話通話事務ヲ開始シ電報規則第七十五條ニ依ル電話加入者ノ託送電報ヲモ取扱フ
明治四十三年六月十四日

名 稱 位 置 逓信大臣 男爵後藤新平
岩屋郵便局 兵庫縣津名郡岩屋町

○逓信省告示第六百九十四號

明治三十三年八月逓信省告示第三百十四號電話呼出地域中左ノ通道加シ本月十六日ヨリ施行ス
明治四十三年六月十四日

逓信大臣 男爵後藤新平
淡路國津名郡岩屋町(字津本)

○逓信省告示第六百九十五號

明治三十九年六月逓信省告示第二百六十四號加入區域外通話區域及通常電話料中左ノ通追加シ本月十六日ヨリ施行ス
明治四十三年六月十四日

加入區域外 通話區域	一通常ノ通 常電話料	加入區域外 通話區域	一通常ノ通 常電話料
岩屋大阪間	金二十五錢	岩屋須磨間	金十錢
岩屋堺間	金二十五錢	岩屋舞子間	金十錢
岩屋神戸間	金二十五錢	岩屋明石間	金十錢
岩屋御影間	金二十錢	岩屋姫路間	金二十五錢
岩屋西宮間	金二十錢	岩屋尼ヶ崎間	金二十五錢

○逓信省告示第六百九十六號

本月二十一日ヨリ左記三等郵便局ヲ設置ス但シ郵便物集配事務ヲ取扱ハス
明治四十三年六月十五日

名 稱 逓信大臣 男爵後藤新平
赤松郵便局 大分縣速見郡赤松村(大字赤松)

名 稱 逓信大臣 男爵後藤新平
富山中野町郵便局 富山市中野町 移轉位置 富山市中野新町

○逓信省告示第六百九十八號

北海遠千島國國後島ノ南端計羅武威崎燈臺ハ移築工事著手ニ付本月二十一日木燈及務鏡ヲ撤去シ同日以後該工事中毎夜左記ノ假燈ヲ點ス
明治四十三年六月十五日

逓信大臣 男爵後藤新平

假燈

一位 燈 從前ノ燈臺位置ヨリ北二十二度八分東、距離百九十一間三尺
一燈火ノ高 基礎ヨリ三丈、海面ヨリ三丈四尺五寸

一燈 質 不動白色

一明 弧 從前ノ通

一光達距離 晴天ノ夜六裡

○遞信省告示第六百九十九號

明治三十六年三勅令第四十一號ニ基ク請願ニ依リ本月十六日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス

明治四十三年六月十五日

位置 靜岡縣賀茂郡安良里村

遞信大臣 男爵後藤新平

遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第七百號

明治四十二年七月遞信省告示第六百三十號外國小包郵便料金表(第一)郵便料金ノ部(中)清國ノ項北

滿洲露國郵便局所在地ノ項ヲ左ノ通改正ス

明治四十三年六月十六日

遞信大臣 男爵後藤新平

名 宛 國	線路	郵船	郵 便 料		價 格 表 記		附 註
			聯合條約 ニ依ルモノ	特別條約ニ依ルモノ	金額 制限	代金 引換	
露國郵便局所在地	線路	郵船	三百六十八圓四角五分	三百六十八圓四角五分	五百圓	五百圓	
北 滿 洲 洲	線路	郵船	三百六十八圓四角五分	三百六十八圓四角五分	五百圓	五百圓	
(ハルビン) (Aomori)	線路	郵船	三百六十八圓四角五分	三百六十八圓四角五分	五百圓	五百圓	
(青島) (Ando) (北京)	線路	郵船	三百六十八圓四角五分	三百六十八圓四角五分	五百圓	五百圓	
哈爾濱 (Hankow)	線路	郵船	三百六十八圓四角五分	三百六十八圓四角五分	五百圓	五百圓	
滿洲露國郵便局所在地	線路	郵船	三百六十八圓四角五分	三百六十八圓四角五分	五百圓	五百圓	
長春經由便ニ依リ	線路	郵船	三百六十八圓四角五分	三百六十八圓四角五分	五百圓	五百圓	

名 宛 國	線路	郵船	郵 便 料	價 格 表 記	附 註
露國郵便局所在地	線路	郵船	三百六十八圓四角五分	五百圓	
北 滿 洲 洲	線路	郵船	三百六十八圓四角五分	五百圓	
(ハルビン) (Aomori)	線路	郵船	三百六十八圓四角五分	五百圓	
(青島) (Ando) (北京)	線路	郵船	三百六十八圓四角五分	五百圓	
哈爾濱 (Hankow)	線路	郵船	三百六十八圓四角五分	五百圓	
滿洲露國郵便局所在地	線路	郵船	三百六十八圓四角五分	五百圓	
長春經由便ニ依リ	線路	郵船	三百六十八圓四角五分	五百圓	

○遞信省告示第七百一號

明治四十二年七月遞信省告示第六百三十號外國小包郵便料金表(第一)郵便料金ノ部(中)ボスニア、ヘルゼゴヴィナノ項遞送線路ノ欄「英國經由」ヲ「英國經由(ノラウイバツ)」ニ改ム

明治四十三年六月十六日

遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第七百二號

明治四十二年七月遞信省告示第六百九十一號郵便貯金預ケ人原簿ノ受持區域中「大阪郵便貯金支局」ノ部「愛媛縣」ヲ削リ「下關郵便貯金支局」ノ部「島根縣」ノ下ニ「愛媛縣」ヲ加ヘ來七月一日ヨリ施行ス

明治四十三年六月十八日

遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第七百三號

本月二十一日ヨリ左記三等郵便局ヲ設置ス但シ郵便物集配事務ヲ取扱ハス

明治四十三年六月十八日

遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第七百四號

本月二十一日ヨリ左記郵便局ヲ移轉改稱ス

明治四十三年六月十八日

遞信大臣 男爵後藤新平

現名 稱 現在位置

大阪川岸町郵便局 大阪府西區川岸町

改稱 移轉位置
オサカカサガキ
大阪春日日出橋郵便局 大阪府西區春日日出町

○遞信省告示第七百五號

來七月一日ヨリ左記三等郵便局ヲ設置ス但シ郵便物集配事務ヲ取扱ハス

明治四十三年六月二十日

遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第七百六號

明治三十九年六月遞信省告示第二百六十四號加入區域外通話區域及通常電話料中左ノ通追加シ本日ヨリ施行ス

明治四十三年六月二十一日

遞信大臣 男爵後藤新平

加入區域外 通話區域 常電話料 金二十五錢	加入區域外 通話區域 常電話料 金二十五錢	加入區域外 通話區域 常電話料 金二十五錢	加入區域外 通話區域 常電話料 金二十五錢
京都梅田間	京都私市間	京都私市間	京都私市間
京都梅田間	京都私市間	京都私市間	京都私市間
京都梅田間	京都私市間	京都私市間	京都私市間

○遞信省告示第七百七號

郵便局所ニ於テ外國爲替金ノ換算ニ適用スヘキ外國貨幣換算割合左ノ如シ

明治四十三年六月二十一日

遞信大臣 男爵後藤新平

香港洋銀	一ダラー	八カ〇八三	一圓二付	二五四
銀	一ダラー	八八五八三	一圓二付	八八八

其ノ他ノ貨幣換算割合ハ従前ノ通

○遞信省告示第七百八號

明治三十八年六月十二遞信省令第八十四號ニ依リ本月二十一日ヨリ左記鑛業特設電話所ヲ設置ス

明治四十三年六月二十一日

遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第七百九號

本月三十日限リ左記郵便局ヲ廢止ス但シ當該局ニ於テ取扱ヒタル事務ハ下記郵便局之ヲ承繼ス

明治四十三年六月二十一日

遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第七百十號

明治四十二年七月遞信省告示第六百三十號外國小包郵便料金表第三備考中左ノ一項ヲ加ヘ來七月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十三年六月二十二日

遞信大臣 男爵後藤新平

三ノ二 在清國帝國郵便官署ニ差出ス北滿洲露國郵便局所在地及亞細亞露西亞宛並西比利亞經由遞送スヘキ小包郵便物ノ郵便料ハ第一表ニ依ラス同表中ノ料金ヨリ郵便物一箇毎ニ金二十錢ヲ減シタルモノトス

○逓信省告示第七百一十一號

本月二十六日ヨリ左記三等郵便局ヲ設置ス但シ郵便物集配事務ヲ取扱ハス

明治四十三年六月二十二日

逓信大臣 男爵後藤新平

名稱 森郵便局

位置 京都府加佐郡倉村(新開田)

○逓信省告示第七百一十二號

本年六月條約第一號日本帝國逓信省及墨西哥合衆國逓信工部省間ニ締結セル小包郵便物交換條約ノ施行規則左ノ如シ

明治四十三年六月二十二日

逓信大臣 男爵後藤新平

日本帝國逓信省及墨西哥合衆國逓信工部省間ニ締結セル小包郵便物交換條約ノ施行規則

第一條

- 一 兩締約國間ニ於ケル小包郵便物ノ交換ハ各自ノ郵政廳ノ指定スル交換局ニ於テ兩國間ノ直接海運ニ依リ閉塞ニテ之ヲ行フモノトス
- 二 然レトモ締約郵政廳ハ協議ヲ以テ必要ト認ムルトキハ他ノ遞送線路ヲ使用スルコトヲ留保ス
- 三 定期海運ヲ保持スル各郵政廳ハ同業務中兩國間ニ於ケル小包郵便物ノ遞送ニ充用シ得ヘキモノヲ他ノ一方ニ通知ス

第二條

- 一 各郵政廳ハ必要ナルトキハ他ノ關係郵政廳ト協議ノ後附録A號離形ニ適合スル表ヲ以テ且左記ノ順序ニ從ヒ他ノ一方ニ左ノ諸件ヲ通知スヘシ
 - (甲) 自願ノ媒介ニ依リ小包郵便物ヲ交換シ得ル國名
 - (乙) 自願ノ疆域又ハ業務ニ入ル場所ヨリ該小包ノ遞送ニ充テ得ル線路
 - (丙) 差立郵政廳カ各名宛國ニ對シテ支拂フヘキ料金ノ總額

二 各郵政廳ハA號表ニ依リ其ノ小包郵便物ノ遞送ニ對シ使用スヘキ線路ヲ定メ且媒介遞送カ爲サルル條件ニ從ヒ差出人ヨリ徵收スヘキ料金を定ム

第三條

小包郵便物ハ一面ノ寸尺六十センチメートル及容積二十五立方センチメートルヲ超過スルコトヲ得ス然レトモ傘、杖、地圖、繪圖又ハ之ニ類似スル物品ヲ封入スル小包郵便物ハ幅又ハ厚二十一センチメートルヲ超過セサルトキハ長一メートルニ達スルコトヲ得

第四條

兩郵政廳ノ一方ハ禁制品ノ目錄ヲ他方ニ送付スルコトヲ要ス

第五條

- 一 遞送ヲ許ス爲ニハ各小包ハ左ノ如ク爲スコトヲ要ス
 - (甲) 名宛人ノ明細ナル名宛ヲ有スルコト、鉛筆ヲ以テスル名宛ハ之ヲ許サス
 - (乙) 遞送ノ時間ニ應ジ且包有品ヲ充分保護スル様包裝スルコト、包裝ハ侵害ノ明瞭ナル痕跡ヲ留ムルコトナクシテ包有品ニ加害スルコト能ハサル様之ヲ爲スコトヲ要ス
 - (丙) 封緘、封鉛其ノ他ノ方法ヲ以テ封緘シ差出人ノ特殊ノ印影又ハ記號ヲ附スルコト
- 二 液體及液化シ易キ物品ハ二重ノ器物ニ納メ之ヲ保護スルコトヲ要ス第一器物(罎子、ガラスコ、壺箱等)ト第二器物(金屬性又ハ堅牢ナル木製ノ箱)トノ間ニハ成ルヘク多ク空隙ヲ設ケ鋸屑、糠其ノ他總テ吸水性ノ物品ヲ以テ之ヲ填充スルコトヲ要ス

第六條

- 一 各小包ニハ附録B號及C號離形ニ適合又ハ類似スル送狀及稅關告知書ヲ添附スルコトヲ要ス
- 二 兩郵政廳ハ各名宛地ニ對シ提供スヘキ稅關告知書ノ枚數ヲ相互ニ通知ス
- 三 然レトモ同一ノ差出人ヨリ同一ノ名宛人ニ宛テタル三箇迄ノ小包ニ對シテハ單一一枚ノ送狀

- 及關稅法ニ抵觸セサルトキハ單ニ一枚ノ稅關告知書ヲ使用スルコトヲ得
- 二 送狀ニハ尙差出局ニ於テ其ノ表記面ニ差出地及差出日附ヲ指示スル印章ヲ押捺スルモノトス
- 三 差出人ハ送狀ノ通知券面ニ郵便物ニ關スル通信文ヲ附記スルコトヲ得
- 四 料金前納カ小包又ハ送狀ニ貼付スル郵便切手ニ依リ爲サレサルトキハ徵收シタル金額ハ之ヲ送狀ニ記載スルコトヲ要ス
- 五 締約郵政廳ハ稅關告知書ノ正否ニ付テハ一切其ノ責ニ任セズ

第七條

各小包及之ニ關スル送狀ニハ附錄D號離形ニ適合又ハ類似シ且登記番號及差出局名ヲ指示スル票符ヲ貼付スルコトヲ要ス同一ノ差出局ハ同時ニ二箇以上ノ順次番號ヲ有スル票符ヲ使用スルコトヲ得ス但シ順次番號カ特別ノ文字ニ依リ補足セラルルトキハ此ノ限ニ在ラス

第八條

小包郵便物ニ付テハ差立交換局ニ於テ本規則附錄E號離形ニ適合スル小包目録ニ定式ノ細項ヲ記入スルモノトス送狀及稅關告知書並到達證アルトキハ到達證ハ小包目録ニ之ヲ添附スルモノトス

第九條

- 一 兩締約國間ニ交換スル小包郵便物ノ容器ノ費用ハ兩郵政廳ニ於テ等分ニ之ヲ負擔スヘシ
- 二 小包郵便物ノ遞送ニ使用スル容器又ハ行囊ハ差立交換局ニ於テ封緘又ハ封鉛ヲ以テ之ヲ封緘スルモノトス此ノ封緘又ハ封鉛ハ名宛交換局ニ非サレハ之ヲ破毀スルコトヲ得ス

第十條

- 一 小包郵便物ニ關シ到達證ノ請求アルトキハ差出局ハ該小包及其ノ送狀ニ「Avis de réception」ナル文字ヲ明瞭ニ筆書シ又ハ「R. P.」ナル文字ヲ有スル印章ヲ押捺ス
- 二 到達證ノ式紙ハ差出局ニ於テ又ハ差立郵政廳ノ指定スル其ノ他ノ局ニ於テ之ヲ作成スルモノトス

トス到達證カ名宛局ニ到着セサルトキハ同局ニ於テ職權ヲ以テ新到達證ヲ作成ス

到達證ハ佛蘭西語ニテ記載シ又ハ同語ニ於ケル對譯ヲ附記スルコトヲ要ス

名宛局ハ該式紙ニ定式ノ記入ヲ爲シタル後直接ニ又ハ交換局ヲ經由シ之ヲ差出局ニ返送シ同局ハ之ヲ小包ノ差出人ニ送達ス

四 差出人カ小包郵便物ノ差出後ニ於テ該郵便物ノ到達證ヲ請求スルトキハ差出局ハ到達證ノ式紙ニ小包ノ精密ナル事項(差出局、差出日附、番號、表書)ヲ記載ス此ノ式紙ニハ取關ニ係ル小包ヲ關係郵政廳ノ交換局ニ送達シタル便名ヲ記載シ之ヲ名宛交換局ニ送付スルモノトス名宛局ハ式紙ヲ完成シ第三項ニ定ムル方法ニ依リ之ヲ差出局ニ返送ス

五 差出人ニ於テ差出ノ際正當ニ請求セル到達證カ限定ノ期間内ニ差出局ニ到着セサルトキハ第四項ニ掲グル規定ニ依リ不著到達證請求ノ手續ヲ爲ス差出局ハ該式紙ノ頭部ニ「Dupliquata de l'avis de réception, etc.」ナル文字ヲ記入ス

第十一條

一 名宛交換局ハ小包目録ヲ受取ルトキハ小包郵便物及諸式紙類ノ點檢ヲ爲シ且必要ナルトキハ本規則附錄H號離形ニ適合スル式紙ヲ以テ不足其ノ他ノ違例ノ證明ヲ爲ス

二 支拂額ニ關シ且計算ニ影響ヲ及ホスヘキ總テノ相違ハ點檢狀ヲ以テ之ヲ差立局ニ通知スルコトヲ要ス承認濟ノ點檢狀ハ其ノ關係スル小包目録ニ添附スルコトヲ要ス證據書類ヲ以テ證明セサル訂正ハ之ヲ許ササルモノトス

第十二條

一 誤送ニ因リ再發スル小包郵便物ハ再發郵政廳ノ使用シ得ル最速達ノ線路ニ依リ其ノ名宛地ニ之ヲ遞送スルモノトス

此ノ再發ノ爲小包ヲ差立郵政廳ニ返還スルニ至リタルトキハ再發交換局ハ點檢狀ヲ以テ誤謬

ヲ通知シタル後其ノ受取リタル支拂額ヲ同額ニ返還ス
 反對ノ場合ニ於テ再發郵政廳ニ支拂ヒタル額カ其ノ屬ノ支辨スル轉送ノ費用ヲ償フニ足ラサ
 ルトキハ同屬ハ差立交換局ノ小包目録ニ自屬ノ貸越トシテ記入シアル額ヲ増加シテ其ノ差額
 ヲ貸越スモノトス此ノ訂正ノ事由ハ點檢狀ヲ以テ該交換局ニ通知スルモノトス
 小包カ郵送條件ニ違反シテ發送セラレ又ハ條約第十條ニ規定スル禁制ノ一ニ牴觸シ是カ爲差
 出國ニ之ヲ返送スルコトヲ要スルトキハ誤送ニ因リ差立郵政廳ニ返還スルヲ要スル小包ト同
 様ノ手續ヲ爲スモノトス
 二 名宛人ノ居所變更ニ因リ轉送スル小包郵便物ニ付テハ配達郵政廳ニ於テ自屬及該小包ノ遞送
 ニ干與シタル各郵政廳ニ歸屬スル收得分ヲ表示スル料金ヲ名宛人ヨリ徵收スルモノトス
 轉送スヘキ小包ヲ發送スル郵政廳ハ該小包ノ遞送ニ對シ收得スヘキ金額ヲ小包目録ヲ以テ貸
 越スヘシ
 然レトモ轉送スヘキ小包ノ爾後ノ遞送ニ必要ナル料金カ轉送ノ際支拂ハルルトキハ該小包ハ
 轉送國ヨリ名宛國ニ直接ニ宛テラレタルモノトシテ之ヲ取扱ヒ郵便料金ヲ徵收スルコトナク
 之ヲ名宛人ニ配達スルモノトス
 三 小包ハ其ノ原包裝ヲ以テ之ヲ再發シ且差出局ニ於テ作成セル送狀ヲ添附スルモノトス何等ノ
 事由ヲ問ハス小包ヲ再裝スルコトヲ要シ又ハ補充送狀ヲ以テ原送狀ニ代フルコトヲ要スル場
 合ニ於テハ小包ノ差出局名及原登記番號ヲ小包及送狀ニ記載スルコトヲ要ス
 第十二條
 一 不能配達ト爲リタル小包ノ差出人ハ成ルヘク速ニ其ノ處分方ノ問合ヲ受クヘシ但シ差出人カ
 送狀及小包自體ニ貼附スル申込書(附録I號離形)ヲ以テ小包ノ即時返還方又ハ他ノ名宛人ヘ

ノ交付方ヲ請求シタルトキハ此ノ限ニ在ラス
 不能配達ト爲リタル小包郵便物ヲ差出郵政廳ニ通知スル爲名宛郵政廳ハ佛蘭西語ニテ記載シ
 又ハ同語ニ於ケル對譯ヲ附記スル附録J號離形ニ適合スル式紙ヲ使用ス
 處分問合書ハ通則トシテ兩締約國ノ交換局間ニ直接ニ之ヲ交換スルモノトス然レトモ各郵政
 廳ハ其ノ業務ニ關スル處分問合書カ其ノ中央郵政廳又ハ特ニ指定スル局ニ送付セラルヘキコ
 トヲ請求スルコトヲ得
 處分問合書ヲ發シタル小包郵便物カ差出人ノ處分通知受領前引取ラレ又ハ再發セララルトキ
 ハ差出人ニ通知スル爲直ニ之ヲ差出局ニ通知スルコトヲ要ス差出人ノ處分通知受領後ハ單ニ
 此ノ通知ノミ有效ニシテ實施力ヲ有スルモノトス
 何等ノ理由ヲ問ハス名宛人ニ配達シ能ハサル小包郵便物ニシテ糞ニ問合ヲ受ケタル差出人カ
 單純ナル拋棄ヲ爲シタルモノハ名宛郵政廳ニ於テ之ヲ返送セス其ノ内國法制ニ依リ之ヲ取扱
 フモノトス
 小包ノ賣却又ハ拋棄ノ後尙名宛郵政廳カ償還ヲ受ケサル轉送其ノ他ノ費用ハ差出人ノ負擔ニ
 屬シ差出郵政廳ヨリ之ヲ償還スルモノトス
 三 問合書ノ發送ヨリ六月ノ期間内ニ名宛局ニ於テ充分ナル通知ヲ受領セサルトキハ小包ハ差出
 局ニ之ヲ返送スルモノトス
 小包カI號離形ノ申込書又ハ名宛局ノ問合書ニ記載セル差出人ノ通知ニ從ヒ之ヲ處分スルコ
 トヲ得サル場合ニ於テハ直ニ之ヲ返送スルコトヲ要ス但シ差出人カ其ノ新處分方ニ第二ノ臨
 機處分方(他ノ名宛拋棄等)ヲ附記シタルトキハ此ノ限ニ在ラス
 四 名宛人カ兩締約國間ノ小包郵便業務ニ關係ヲ有セサル國ニ出發シタル各小包ハ第一名宛郵政

應ニ於テ送達ノ途ヲ有スルニ非サレハ不能配達ノモノトシテ之ヲ取扱フモノトス
差出人ニ還付スヘキ小包ハ小包目録ニ記入シ附註欄内ニ「Registered」ナル文字ヲ記載スルモノト
ス該小包ハ名宛人ノ居所變更ニ因リテ轉送スル小包ト同様ニ之ヲ取扱ヒ料金を徴收スルモノ
トス

五 壞損又ハ腐敗スヘキ物品ニ限リ送達又ハ返還ノ途中ニ於テ豫告又ハ司法上ノ手續ヲ經ルコト
ナク權利者ノ利益ノ爲ニ直ニ之ヲ賣却スルコトヲ得何等ノ理由ヲ問ハス賣却シ能ハサル場合
ニ於テハ壞損又ハ腐敗セル物品ハ之ヲ毀棄スルモノトス賣却又ハ毀棄ニ付テハ調書ヲ作成ス
ルモノトス調書一通ハ送状ヲ添ヘ之ヲ差出局ニ送付スルモノトス

賣却ニ因リ得タル金額ハ先ツ郵便物ニ課セラレタル費用ノ償還ニ充ツルモノトス過剩アルト
キハ其ノ過剩額ハ郵便物ノ費用ヲ負擔スル差出人ニ交付スル爲之ヲ差出局ニ送付スルモノト
ス賣却ニ依リ償還シ能ハサル費用ハ差出人ノ負擔ニ屬シ差出郵政廳ヨリ之ヲ償還スルモノト
ス

第十四條

一 各郵政廳ハ毎月其ノ各交換局ヲレテ他ノ郵政廳ノ交換局ヨリ受取リタル總テノ郵便物ニ對シ
各小包目録中ノ貸方ト借方トニ記載シアル金額ニ付本規則附錄F號雛形ニ適合スル貸借表ヲ
作成セシムルモノトス

二 然レ後F號貸借表ハ三月毎ニ同郵政廳ニ於テ本規則附錄G號ノ計算書ニ之ヲ集記スルモノト
ス

三 此ノ計算書ハ月次貸借表及小包目録並關係點檢狀アルトキハ該點檢狀ヲ添ヘ次ノ三月間内ニ
之ヲ關係郵政廳ノ檢査ニ供スルモノトス

四 毎三月計算書ハ雙方ニ於テ審査承認シタル後貸越郵政廳ニ於テ年次總計算書ニ之ヲ集記ス
ルモノトス

五 兩郵政廳間ノ相互ノ計算書ノ差引ヨリ生スル差額ハ借越郵政廳ヨリ貸越國ノ首府又ハ商業地
ニ振宛テタル手形ヲ以テ貸越郵政廳ニ之ヲ支拂フモノトス右支拂ニ關スル費用ハ借越郵政廳
ニ於テ之ヲ負擔ス

此ノ手形ハ例外トシテ之ヲ他國ニ振宛ツルコトヲ得但シ割引ノ費用ハ借越郵政廳ニ於テ之ヲ
負擔ス

六 總計算書ノ作成送付及支拂ハ成ルヘク速ニ週クトモ翌年ノ終了前ニ之ヲ爲スコトヲ要ス此
ノ期間經過シタルトキハ一郵政廳ヨリ他ノ郵政廳ニ支拂フヘキ金額ハ該期間満了ノ日ヨリ年
五分ノ割合ヲ以テ利息ヲ生スルモノトス

第十五條

本規則ハ條約實施ノ日ヨリ之ヲ實施シ條約同一ノ有効期間ヲ有スヘシ然レトモ兩郵政廳ハ協議
ヲ以テ隨時細目ヲ修正スルノ權能ヲ有ス

明治四十三年四月二十五日東京ニ於テ及千九百十年五月二十四日「メキシコ」ニ於テ一通ヲ作成シ
之ニ署名ス

日本帝國逓信大臣男爵 後 藤 新 平
墨西哥合衆國逓信工部大臣 レアンドロ、フェルナーンデス

(附録) 本表差立郵政廳

非隣接國間ニ於ケル小包郵便物ノ交換
郵政廳カ... 郵政廳ニ對シ媒介ヲ爲シ得ル諸國宛小包郵便物ヲ前者ニ宛テ後者ヨリ開封ニテ送付シ得ル條件ヲ指示スル表

名宛國	一	運送線路	二	媒介國及使 用スヘキ海 運ノ指示	三	計 政廳ニ支拂フヘキ費用ノ合 計 重量ニ從フ 郵便料	四	每三百法ニ 對スル價格 表 郵便料	五	附 註	六
-----	---	------	---	------------------------	---	--	---	----------------------------	---	--------	---

B 號

通知券 名宛人ハ此ノ券ヲ 切斷スルコトヲ得	差出局印	差出人ノ住所氏名
登記 番 號	送狀	小包箇數... 稅關告知書枚數...
郵便切手ノ貼附又 ハ徵收セシ料金指 示ノ欄	送國	宛 (名宛地) 宛 (町名番號)
稅關印	重 量	稅(一)
稅關	稅(二)	運送線路

(一) 陸入交換局又ハ名宛國稅關ニ於テ記入スヘキ部

C 號

差立地	稅關告知書	宛	差出國	名宛地
小包郵便物 箇數種類	包有品 ノ指示	價格	重量	附註
全體	正味			

千九百...年...月...日

差出人

D 號

四七五
東京

E 號

郵政廳	小包目錄ノ運次番號	郵船名	交換局ヨリ	交換局ニ差立テタル小包郵便物ノ小包目錄
日附印	千九百...年...月...日	千九百...年...月...日	千九百...年...月...日	分發(第...次便)
番 號	一次	運 記	二	物 數
局 名	三	出 名	四	五
諸料金ノ支拂額	六	差立郵政廳	係郵政廳	二
關係郵政廳	七	立郵政廳	二	七
附註	八			

差立局員... 本榎差立容器又ハ行囊數... 名宛局員... *小包カ小包目錄ト同一ノ局ニ宛テラルル場合ニハ記入セサルコト

F 號

郵政廳
..... 郵政廳及..... 郵政廳方前者二箇スル諸交換局ヨリ..... 郵政廳トノ關係
セル小包郵便物ニ對スル諸費用トシテ相互ニ支拂フヘキ金額ノ月次貸借表
千九百.....年.....月分

小包目録	附ノ目録
一名宛郵政廳ノ貸高	運ノ郵便局
(E) 號表第六欄	便ノ郵便局
	便ノ郵便局
	便ノ郵便局
	便ノ郵便局
	便ノ郵便局
	便ノ郵便局
	便ノ郵便局
	便ノ郵便局
	便ノ郵便局
	便ノ郵便局
二差立郵政廳ノ貸高	運ノ郵便局
(E) 號表第七欄	便ノ郵便局
	便ノ郵便局
	便ノ郵便局
	便ノ郵便局
	便ノ郵便局
	便ノ郵便局
	便ノ郵便局
	便ノ郵便局
	便ノ郵便局
	便ノ郵便局
附註	

名宛交換局長

名宛交換局長



G 號

郵政廳
..... 諸交換局ヨリ..... 諸交換局ニ宛テタル小包郵便物ノ小包目録ニ對スル月次貸借
表ヨリ集計シタル計算書
千九百.....年.....第.....期分

逐次番號	名宛交換局名	各月次貸借表ニ基キ ル金額	各月次貸借表ニ基キ 差立郵政廳ニ歸屬ス ル金額	附註
一				
二				
三				
四				
五				
六				
七				
八				
九				
十				
十一				
十二				
十三				
十四				
十五				
十六				
十七				
十八				
十九				
二十				
合計				
郵政廳ノ貸越差額				

H 號

郵政廳

小包郵便業務

正證明ニ爲ル點檢狀
千九百...年...月...日差立

日附印

小包ノ不著

番 號	差 出 地	支 拂 料 金	名 宛	附 註
大 記	名 (成ルヘク詳細)	額	局	點 檢

小包ノ毀損

番 號	差 出 地	名 宛	包 有 品	檢 査 重 量	價 格	指 示 (指 示 等)
大 記	差 出 人 名 宛 人	品 有 包	重 量	價 格	(指 示 等)	

毀損ノ状態及其ノ原因ト認ムヘキモノ其ノ他ノ附註

違例(目錄ノ不著包裝又ハ封緘ノ不完全等)

番 號	差 出 地	名 宛 人ノ住 所 氏 名	支 拂 料 金	名 宛
大 記	差 出 地	名 宛 人ノ住 所 氏 名	額	局

千九百...年...月...日...ニ於テ

右點檢承認ス

名宛局員

千九百...年...月...日...ニ於テ

差立局長

I 號

小包ノ返送又ハ他ノ名宛人ヘノ配達ヲ請求スル爲メノ申込書

申 込 書

何等ノ事由ヲ問ヘズ此ノ小包カ不能配達ト爲リタル場合ニ於テハ
甲(一) 下ニ署名スル差出人ノ危險ニ於テ即時返送セラレタシ
乙(一) ...氏ニ配達セラレタシ

差出人(住所及氏名又ハ屋號)

(一) 差出人ヘ自ラ不用ノ分ヲ塗抹スルコトヲ要ス

J 號

郵政廳 (小包郵便物) 不能配達通知書

別紙送狀ニ記載スル... 地發第... 號小包ハ左ノ事由ニ依リ當局ニ滞留中ナリ
甲 小包ハ名宛人ニ依リ拒絶セラレタリ(一)
乙 第...號小包ハ請求ナシ(一)
丙 名宛人不明不在、出發、死亡(一)
丁 名宛人不明(一)
戊 小包ノ名宛人送狀ノ名宛ニ符合セス(一)
己 名宛人開封ノ支拂ヲ拒絶ス(一)
仍テ差出人ニ其處方方ヲ問合セラレタシ尙... 月期間内ニ何等ノ通知ヲ受ケサルトキハ該小包ハ料金ヲ追徴スルコトトシテ同人ニ再發セラルヘキコトヲ同人ニ通知セラレタシ

日附印

署名

回 答

該小包ハ下ノ如ク取計フコトヲ要ス
甲 名宛人タル... 町... 番... 氏ニ再度呈示スルコト(一)
乙 町... 番... 氏ニ交付スルコト(一)
丙 ...町... 番... 氏ニ轉送スルコト(一)
丁 差出地ニ再發スルコト(一)
差出人ハ小包ヲ拋棄ス(一)
差出人ハ小包ノ買却ヲ請求ス(一)
差出人ハ同人ニ宛テタル處分方問合ニ對シ何等ノ回答ヲ爲ササルニ依リ小包ハ成規ノ期間満了ノ後當局ニ返送スルコトヲ要ス(一)

日附印

署名

(一) 不著ノ記載ハ之ヲ塗抹スルコト

○遞信省告示第七百十三號
 本年六月條約第一號日本帝國遞信省及墨西哥合衆國遞信工部省間ニ締結セル小包郵便物交換條約ハ
 來七月一日ヨリ之ヲ施行ス
 明治四十三年六月二十二日
 遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第七百十四號
 明治四十二年七月七號遞信省告示第六百三十號外國小包郵便料金表中左ノ通改正シ來七月一日ヨリ之ヲ
 施行ス
 明治四十三年六月二十二日
 遞信大臣 男爵後藤新平

第一 郵便料金ノ部中墨西哥ノ項ヲ左ノ如ク改ム

宛 國	遞送 線路	郵便 船立	郵 便 料		價格表記	代金 小包各 種ニ要 スル稅 引換 關稅 告知 枚數	附 註
			額	制限			
墨西哥 (Mexico)	直接交 換 由獨逸經 由佛國經 由英國經	日船其 他郵船	聯合條約 ニ依ルモノ	特別條約ニ依ルモノ	五百圓	三圓	計
			三百六十圓	三百六十圓	三圓		
山 英 國 經	(變)	(變)	聯合條約 ニ依ルモノ	特別條約ニ依ルモノ	五百圓	三圓	計
			三百六十圓	三百六十圓	三圓		
山 佛 國 經	(變)	(變)	聯合條約 ニ依ルモノ	特別條約ニ依ルモノ	五百圓	三圓	計
			三百六十圓	三百六十圓	三圓		
山 英 國 經	(變)	(變)	聯合條約 ニ依ルモノ	特別條約ニ依ルモノ	五百圓	三圓	計
			三百六十圓	三百六十圓	三圓		

第三 備考ノ部中
 第三號ヲ左ノ如ク改ム

三 墨西哥若ハ海峽殖民地トノ條約又ハ聯合條約ニ依リ墨西哥、海峽殖民地又ハ聯合條約加
 入國ニ宛テ差出ス小包郵便物ニ付テハ送狀ノ通知券面ニ其ノ小包ニ關スル通信文ヲ記載ス
 ルコトヲ得

第四號中聯合條約ニ依ルモノノ項ヲ左ノ如ク改ム
 聯合條約ニ依ルモノ 各面ノ寸尺一尺九寸八分容積二十五立方デシメートル(但シ幅
 日獨逸條約ニ依ルモノ 厚各六寸六分ヲ超過セザルモノハ長三尺三寸ニ達スルコトヲ得)

○遞信省告示第七百十五號
 明治四十一年十二月十二號遞信省告示第千二百六十一號帝國ト外國郵便爲替ヲ交換スル國等ヲ示ス表中左
 ノ通改正シ來七月一日ヨリ之ヲ施行ス
 明治四十三年六月二十二日
 遞信大臣 男爵後藤新平

第一 通幣爲替「一」直接交換國「乙」特別郵便爲替條約ニ依ルモノノ部中在清國英國(香港)郵
 便局ノ項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

墨西哥合衆國 (Mexico, the United States of)	圓 銀 二 百 圓
同「一」直接交換國郵政廳ノ媒介ニ依リ交換スル國「甲」羅馬約定加入國郵政廳ノ媒介ニ依ルモノノ 部中公衆獨立國ノ項ヲ左ノ通改メ墨西哥合衆國ノ項ヲ削ル	
白耳旗領 公衆 (Belgian Congo)	郵政廳 法 山 圓 銀 一 千 法 四 百 圓 引 去 ル 爲替金額ノ 四 百 分 一
白耳旗領 公衆 (Belgian Congo)	得 白耳旗領 中 央 郵 政 廳

爲替券ノ通知券ニ受
 取入ニ宛ツル通信文
 フ附記スルコトヲ得
 ス又該通知券ヲ請
 求スルコトヲ得ス

同乙 特別條約國郵政廳ノ媒介ニ依ルモノノ部中墨西哥合衆國ノ項ヲ削ル

○遞信省告示第七百十六號
本年六月條約第二號日本帝國遞信省及墨西哥合衆國遞信工部省間ニ締結セル郵便爲替業務條約ハ來

七月一日ヨリ之ヲ施行ス
明治四十三年六月二十二日
遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第七百十七號
日本帝國遞信省及墨西哥合衆國遞信工部省間ニ締結セル郵便爲替業務條約第二條第一項ノ交換局

ハ帝國ニ於テハ郵便貯金局トシ墨西哥合衆國ニ於テハ「メキシコ」郵便局トス
明治四十三年六月二十二日
遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第七百十八號
本月二十六日ヨリ左記郵便局ノ特設電話加入申請ヲ受理ス希望者ハ明治四十一年九月遞信省令第四十

三號特設電話規則ニ依リ加入申請書ヲ差出スヘシ但シ電話交換業務開始ノ日ハ追テ之ヲ告示ス
明治四十三年六月二十三日
遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第七百十九號
明治四十一年九月遞信省告示第九百十號特設電話加入區域中左ノ追加ス

監督局	開設局	長野縣	加	北佐久郡	東長倉村	入	大字	遞信大臣 男爵後藤新平
長野	輕井澤							字輕井澤ノ内發輕井澤、同高岡、同大塚山、同矢立山、同聖坂、同榎ノ澤、同益ノ澤、同南、同楠、同湯淺、同長尾、同西、同山、同行人家、同長尾、同山、同山、下同新輕井澤
大字	長倉							

○遞信省告示第七百二十號
明治三十一年九月遞信省告示第二百六十四號加入區域外通話區域及通常電話料中左ノ追加シ本月

二十六日ヨリ施行ス
明治四十三年六月二十三日
遞信大臣 男爵後藤新平

加入區域外	一、通話ノ通	加入區域外	一、通話ノ通
通話區域	常電話料	通話區域	常電話料
佐久山島山間	金 二十	佐久山島山間	金 十

○遞信省告示第七百二十一號
明治三十年十一月十二遞信省告示第三百五十七號中高知局電話加入區域ニ左ノ追加シ本月二十六日ヨリ施行ス

明治四十三年六月二十四日
遞信大臣 男爵後藤新平

特別加入區域
高知縣土佐郡潮江村字南ノ丸ノ下ニ同西孕、同小松谷

○遞信省告示第七百二十二號
來七月一日ヨリ左記郵便局ニ於テ和歌山市公金ニ對シ郵便振替貯金ノ特別取扱ヲ爲サシム

明治四十三年六月二十四日
遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第七百二十三號
和歌山市内ニ在ル各郵便局

現名稱	改稱	位	遞信大臣 男爵後藤新平
厚別郵便局	石狩厚別郵便局		
厚別郵便局	日高厚別郵便局		
	北海道石狩國札幌郡白石村		
	北海道日高國沙流郡厚別村		

○逓信省告示第七百二十四號
本月二十六日ヨリ左記三等郵便局ヲ設置ス但シ郵便物集配事務ヲ取扱ハス
明治四十三年六月二十四日
逓信大臣 男爵後藤新平

太田郵便局 北海道的路國厚郡太田村
後志太田郵便局 北海道後志國久遠郡久遠村
名 稱 太田郵便局 後志太田郵便局
位 置 北海道厚路郡太田村 北海道後志國久遠郡久遠村

○逓信省告示第七百二十五號
來七月一日ヨリ左記三等郵便局ヲ設置ス但シ郵便物集配事務ヲ取扱ハス
明治四十三年六月二十五日
逓信大臣 男爵後藤新平

大仁郵便局 大阪府西成郡龍洲村(龍洲) 西押立郵便局 滋賀縣愛知郡西押立村(龍洲)
名 稱 大仁郵便局 西押立郵便局
位 置 大阪府西成郡龍洲村(龍洲) 滋賀縣愛知郡西押立村(龍洲)

○逓信省告示第七百二十六號
明治四十一年九月逓信省告示第九百十號中下諏訪局特設電話加入區域ニ左記箇所ヲ追加シ來七月一日ヨリ施行ス
明治四十三年六月二十五日
逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第七百二十七號
本月二十六日ヨリ左記二等郵便局ヲ設置シ電信事務及電話通話事務ヲ取扱フ
當該郵便局開設期間ハ明年以降毎年六月十六日ヨリ十月十五日迄トス閉鎖後ハ下記郵便局其事務ヲ承繼ス
逓信大臣 男爵後藤新平

一長野縣諏訪郡長地村字東町同東郷
○逓信省告示第七百二十七號
逓信大臣 男爵後藤新平
承繼局名 神戶郵便局
名 稱 六甲山郵便局
位 置 兵庫縣武庫郡六甲村

○逓信省告示第七百二十八號
明治三十三年ハ逓信省告示第三百十四號電話呼出地域中左ノ通追加シ毎年六甲山郵便局ニ電話通話事務開始期間ニ限リ之ヲ施行ス
明治四十三年六月二十五日
逓信大臣 男爵後藤新平

〔攝津國西成郡西中島村大字淡路ノ項ノ次ニ〕
攝津國武庫郡六甲村ノ内高羽村字六甲山遊園地同篠原村字六甲山遊園地同水車新田字六甲山遊園地住吉村ノ内住吉東谷字六甲山遊園地 同住吉西谷字六甲山遊園地
攝津國有馬郡有馬町ノ内字六甲山遊園地 有馬村ノ内唐櫃村字六甲山遊園地

加入區域外
常一電話料ノ通

長六甲山東京間	金	一	圓	五	十	錢
長六甲山橫濱間	金	一	圓	五	十	錢
長六甲山名古屋間	金	一	圓	五	十	錢
長六甲山京都間	金	一	圓	五	十	錢
長六甲山大阪間	金	一	圓	五	十	錢
六甲山池田間	金	二	圓	十	五	錢
六甲山山崎間	金	二	圓	十	五	錢
六甲山和歌山間	金	二	圓	十	五	錢
六甲山奈良間	金	二	圓	十	五	錢
六甲山淡路島間	金	二	圓	十	五	錢
六甲山住吉間	金	二	圓	十	五	錢
六甲山神戶間	金	二	圓	十	五	錢

加入區域外
常一電話料ノ通

長六甲山御影間	金	一	圓	五	十	錢
長六甲山西宮間	金	一	圓	五	十	錢
長六甲山須磨間	金	一	圓	五	十	錢
長六甲山石井間	金	一	圓	五	十	錢
長六甲山明石間	金	一	圓	五	十	錢
長六甲山姫路間	金	一	圓	五	十	錢
長六甲山岡山間	金	二	圓	十	五	錢
長六甲山尾道間	金	二	圓	十	五	錢
長六甲山下關間	金	二	圓	十	五	錢
長六甲山門司間	金	二	圓	十	五	錢
長六甲山長崎間	金	二	圓	十	五	錢

○遞信省告示第七百三十號 帆船春日丸外三十九艘ニ左ノ信號符字ヲ照附ス

信號符字	番號	種類	船名	船籍	船主
L L L L L	七九六二	帆船	春日丸	中國	藤新平
M M M M	七九六三	帆船	...	中國	...
F D H H H	七九六四	帆船	...	中國	...
B W R P N	七九六五	帆船	...	中國	...
K R Q M K S	七九六六	帆船	...	中國	...
R W T T K J	七九六七	帆船	...	中國	...
S R Q S R Q	七九六八	帆船	...	中國	...
O O O O	七九六九	帆船	...	中國	...
O O O O	七九七〇	帆船	...	中國	...
O O O O	七九七一	帆船	...	中國	...
O O O O	七九七二	帆船	...	中國	...
O O O O	七九七三	帆船	...	中國	...
O O O O	七九七四	帆船	...	中國	...
O O O O	七九七五	帆船	...	中國	...
O O O O	七九七六	帆船	...	中國	...
O O O O	七九七七	帆船	...	中國	...
O O O O	七九七八	帆船	...	中國	...
O O O O	七九七九	帆船	...	中國	...
O O O O	七九八〇	帆船	...	中國	...
O O O O	七九八一	帆船	...	中國	...
O O O O	七九八二	帆船	...	中國	...
O O O O	七九八三	帆船	...	中國	...
O O O O	七九八四	帆船	...	中國	...
O O O O	七九八五	帆船	...	中國	...
O O O O	七九八六	帆船	...	中國	...
O O O O	七九八七	帆船	...	中國	...
O O O O	七九八八	帆船	...	中國	...
O O O O	七九八九	帆船	...	中國	...
O O O O	七九九〇	帆船	...	中國	...

○遞信省告示第七百三十一號

郵便局所ニ於テ外國爲替金ノ換算ニ適用スヘキ外國貨幣換算割合ノ如シ

明治四十三年六月二十八日

幣別	換算割合	船名	船籍	船主
墨西哥貨幣	一圓ニ付九十七セント	...	墨西哥	...
香港洋銀	一圓ニ付九十七セント	...	香港	...
銀	一圓ニ付九十七セント
...
...

遞信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第七百三十二號
來七月一日ヨリ左記三等郵便局ヲ設置ス但シ郵便物集配事務ヲ取扱ハス

明治四十三年六月二十九日

名 稱 位 置 名 稱 位 置
 澤入郵便局 群馬縣勢多郡東村(群馬縣)
 神保原郵便局 埼玉縣見玉郡神保原村(群馬縣)

○逓信省告示第七百三十三號

來七月一日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス

明治四十三年六月二十九日

名 稱 位 置 名 稱 位 置
 谷口郵便局 福井縣今立郡上池田村

○逓信省告示第七百三十四號

來七月一日ヨリ左記三等郵便局ヲ設置ス

明治四十三年六月二十九日

名 稱 位 置 名 稱 位 置
 白濁郵便局 千葉縣長生郡白濁村

○逓信省告示第七百三十五號

來七月一日ヨリ左記電信取扱所ヲ移轉ス

明治四十三年六月二十九日

名 稱 位 置 名 稱 位 置
 高松電信取扱所 香川縣香川郡宮原村
 高松市新湊町高松停車場(高松市)

○逓信省告示第七百三十六號

明治三十九年六月逓信省告示第二百六十四號加入區域外通話區域及通常電話料中左ノ通追加ノ來七月一日ヨリ施行ス

明治四十三年六月二十九日

逓信大臣 男爵後藤新平

加入區域外 通話區域	一通話ノ通 常電話料	加入區域外 通話區域	一通話ノ通 常電話料
豐岡斐鹿間	金二十五錢	高梁津井間	金二十錢
曾根北條間	金二十五錢	高梁下津井間	金二十錢
曾根龍野間	金十五錢	高梁福山間	金二十錢
曾根志方間	金十錢	高梁府中間	金二十五錢
曾根八木間	金五錢	日下松江間	金二十五錢
鄉内大取間	金五錢	日下安來間	金二十五錢
鄉内神戶間	金四十五錢	三朝米子間	金二十五錢
		高梁味野間	金二十錢

○逓信省告示第七百三十七號
來七月十一日ヨリ左記三等郵便局ヲ設置ス但シ郵便物集配事務ヲ取扱ハス

明治四十三年六月二十九日

名 稱 位 置 名 稱 位 置
 小山郵便局 大阪府南河内郡小山村(大阪府)

○逓信省告示第七百三十八號

來七月六日ヨリ左記郵便局ヲ改稱ス

明治四十三年六月二十九日

現名稱 朝倉下郵便局 改稱 朝倉郵便局 位 置 愛媛縣越智郡下朝倉村

○逓信省告示第七百三十九號

來七月十一日ヨリ左記郵便局ニ於ケル郵便物取扱種別及取扱時間ヲ左ノ通改ム

明治四十三年六月二十九日

名 稱 位 置 名 稱 位 置
 淺間山郵便局 長野縣北佐久郡小沼村淺間山頂字湯ノ平

一取扱種別 普通通常普通小包及書留小包郵便物ノ引受並交付
 一取扱時間 午前五時ヨリ午後十時迄

○遞信省告示第七百四十號
明治四十二年七月七號 遞信省告示第六百二十二號外國電報ノ取扱ニ關スル制限中「白露」ノ項第二節ヲ削除ス

明治四十三年六月三十日

遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第七百四十一號

明治三十九年六月六號 遞信省告示第二百六十四號加入區域外通話區域及通常電話料中左ノ通追加シ來七月一日ヨリ施行ス

明治四十三年六月三十日

遞信大臣 男爵後藤新平

加入區域外 一通話ノ通 加入區域外 一通話ノ通
普通電話料 金 十 五 圓 青木北風間 金 二 十 圓

○遞信省告示第七百四十二號

來七月一日ヨリ左記郵便局ノ特設電話加入申請ヲ受理ス希望者ハ明治四十一年九月遞信省令第四十三號特設電話規則ニ依リ加入申請書ヲ差出スヘシ但シ電話交換業務開始ノ日ハ追テ之ヲ告示ス

明治四十三年六月三十日

遞信大臣 男爵後藤新平

○遞信省告示第七百四十三號

明治四十一年九月遞信省告示第九百十號特設電話加入區域中左ノ通追加ス

明治四十三年六月三十日

遞信大臣 男爵後藤新平

監督局 開設局

入 宮川村
長野縣 取訪郡 宮川村

長野 茅野

永明村

字茅野同中河原同安國寺小町屋ヲ除ク同茅野ノ内西茅野坊堂高道ヲ除ク同新井ノ内上新井字横内同原原(山ノ根ヲ除ク)同矢ヶ崎(鬼場ヲ除ク)

○遞信省告示第七百四十四號

明治三十年七月十二號 遞信省告示第三百五十七號中德島局電話加入區域ニ左ノ通追加シ來七月一日ヨリ施行ス

明治四十三年六月三十日

遞信大臣 男爵後藤新平

特別加入區域

「德島縣名東郡加茂名村大字庄村」ノ下ニ同島田字東分同本願寺裏同下鮎喰筋同中鮎喰筋

○遞信省告示第七百四十五號

無集配三等郵便局ニ於テハ別ニ告示スルモノヲ除クノ外外國郵便物中小包郵便物價格表記箱物並代金引換ノ書留通常郵便物及價格表記書狀ノ取扱ヲ爲サス

明治四十年九月九號 遞信省告示第五百六十五號ハ之ヲ廢止ス

明治四十三年六月三十日

遞信大臣 男爵後藤新平

〔參照〕

明治四十年九月九號 遞信省告示第五百六十五號ハ本號ト同件ナリ

○遞信省告示第七百四十六號

來七月一日ヨリ帝國ホテル内郵便局ニ於テ外國宛小包郵便物價格表記箱物並代金引換ノ書留通常郵便物及價格表記書狀ノ取扱ヲ開始ス

明治四十三年六月三十日

遞信大臣 男爵後藤新平

○統監府告示第八十五號(官報六月四日)

明治四十三年五月二十一日左記學校組合ノ設立ヲ認可ス

明治四十三年五月二十八日

統監 子爵曾根荒助

名稱 中江鐵學校組合

地區

平安北道慈城郡同延面乾浦同郡同面下草間ニ於ケル鴨綠江沿岸一里以内ノ地